

FFG

ディスクロージャー誌

2016

財務データ・資料編



あなたのいちばんに。

ごあいさつ

皆さまには平素より格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

平成28年熊本地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興に向けて、当社グループも一丸となって地域金融機関としての使命を果たしてまいります。

平成25年度から取り組んできた第4次中期経営計画『ABCプランII』では、「お客さま起点」の構造改革に注力し、営業基盤の飛躍的拡大を図りました。その結果、業容の拡大を確かなものとし、連結当期純利益も4年連続で過去最高益を更新しました。

次に続く10年は「進化のステージ」と位置付け、長期ビジョンとして「持続的に高い競争力・成長力を実現する『ザ・ベスト リージョナルバンク』」を掲げます。地域に貢献し、地域と共に発展する、すべてのステークホルダーにとって最良の地域金融グループを目指します。

本年4月よりスタートした第5次中期経営計画は、長期ビジョン実現に向けた第1ステージとして、ビジネスモデル、人財力、グループ総合力、ブランド力の4つの“進化”を基本戦略とした各種施策に取り組んでまいります。皆さまには、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、このたび当社グループの経営方針や平成27年度の事業概況をまとめました「FFGディスクロージャー誌2016『財務データ・資料編』」を作成いたしました。当社グループをより深くご理解いただくためのご参考となれば幸いです。

平成28年7月
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長

紫 戸 隆 成



FFG ディスクロージャー誌 2016「財務データ・資料編」

CONTENTS

02	ふくおかフィナンシャルグループについて	39	企業集団の状況
04	FFGの長期ビジョン	41	主な業務の内容
06	第5次中期経営計画		福岡銀行
07	十八銀行との経営統合に関する基本合意について	42	店舗一覧
		46	店舗外自動サービスコーナー
		49	自動サービスコーナーのご利用時間と手数料
		50	ローンセンター・ローンプラザ
08	平成27年度の業績ハイライト		
09	ふくおかフィナンシャルグループ		
10	福岡銀行		熊本銀行
11	熊本銀行	51	店舗一覧
	親和銀行	53	店舗外自動サービスコーナー
		54	自動サービスコーナーのご利用時間と手数料
12	中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取組み	55	ローンセンター
18	CSRへの取組み		親和銀行
		56	店舗一覧
22	コーポレートガバナンス	59	店舗外自動サービスコーナー
		61	自動サービスコーナーのご利用時間と手数料
23	コンプライアンスへの取組み	62	ローンセンター
			財務データ編
25	リスク管理への取組み	63	ふくおかフィナンシャルグループ
26	リスク管理について	105	福岡銀行
27	統合的リスク管理	169	熊本銀行
28	自己資本管理	208	親和銀行
34	信用リスク管理	246	開示項目一覧
35	市場リスク管理		
36	流動性リスク管理		
	オペレーショナル・リスク管理		

会社概要

商 号	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（英文名称 Fukuoka Financial Group, Inc.）
本 社 所 在 地	福岡市中央区大手門1丁目8番3号
設 立 日	平成19年4月2日（月）
事 業 内 容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに附帯する業務
資 本 金	1,247億円
上場証券取引所	東京証券取引所および福岡証券取引所

■本誌は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
 ■本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境に関する前提条件の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

グループ経営理念

変化の中で、変わることのない志。
それがふくおかフィナンシャルグループの経営理念です。

ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最良な選択を後押しする、
すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する
金融グループを目指します。

高い感受性と失敗を恐れない行動力

様々な情報や世の中の動きにいつも好奇心のアンテナを張り、敏感に反応できる感受性と、様々な場面で失敗を恐れず行動を起こすチャレンジ精神を常に磨くことです。

未来志向で高品質を追求

意識をいつも少しでも未来に置きながら、着実に進化させる。人々の役に立つための真に良い商品やサービスを最良のマナーで提供することがFFGの使命です。

人々の最良な選択を後押しする

お客さまやパートナーと共に考え、悩み、選択のための後ろ盾となることが、FFGの目的であり、存在理由です。

グループブランド

当社グループは、お客さま、株主の皆さま、地域社会の皆さまにとって真に価値ある存在であり続けるための約束として『コアバリュー』を表明し、『ブランドスローガン』を展開してまいります。

●ブランドスローガン

あなたのいちばんに。

●シンボルマーク



ふくおかフィナンシャルグループ

●コアバリュー（ブランドスローガンに込めたお客さまへの約束）

- ・いちばん身近な銀行 —— お客さまの声に親身に心から耳を傾け、共に歩みます。
- ・いちばん頼れる銀行 —— 豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。
- ・いちばん先を行く銀行 —— 金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

広域展開型地域金融グループ

九州の経済規模は、43兆円余りで「日本の1割経済」と呼ばれています。基幹産業である自動車・半導体・農業の生産拠点が多数集積しているほか、最近では再生可能エネルギーやヘルスケアといった新たな産業の芽も育ち始めています。

また、域内経済の一体化が進むとともに、地理的に近いアジアとの経済交流も活発で、今後の成長が期待できる魅力あるマーケットです。

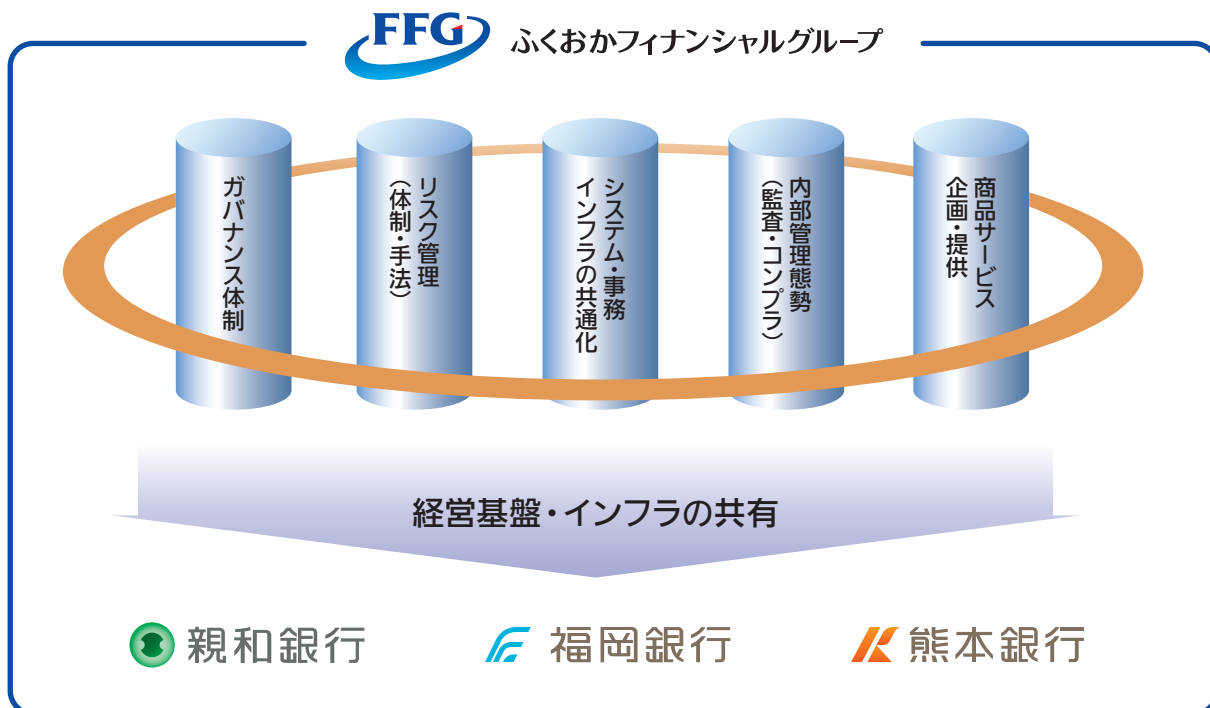
当社グループは、この九州を一つの経済圏として捉え、九州全域にネットワークを構築し、お客さまに高品質で充実した金融サービスをご提供する広域展開型地域金融グループです。



シングルプラットフォーム・マルチブランド

当社グループは、「シングルプラットフォーム・マルチブランド」という経営スタイルを構築しています。

これは、お客さまに対しては3つの顔（ブランド）を持ちながら、グループ内では一体の経営基盤・インフラ（プラットフォーム）を共有することで効率的な業務運営を行うものです。地域のお客さまとの強固なリレーションを維持しながら、スケールメリットの追求による競争力の強化を図ることが可能となります。



■取り巻く経営環境

FFGはこれまでの9年間で、経営インフラの整備に取り組んだ「助走ステージ」、構築したインフラを徹底活用し成長への反転を実現した「加速ステージ」を経て、第4次中期経営計画で飛躍的な成長を実現するとともに、シングルプラットフォーム・マルチブランドをはじめとする、FFGの基本的な経営スタイルを確立しました。

一方で、地域金融機関を取り巻く経営環境は、少子高齢化の進展、低金利環境の長期化、情報通信技術（ICT）の革新、銀行業務への異業種参入等により、今後、一層の厳しさを増していくことが想定されます。こうした社会構造の変化を背景として、地域金融機関に対しては地域の金融システムを安定的に維持することはもとより、地域の経済活動発展を後押しする取組みが求められています。

2007

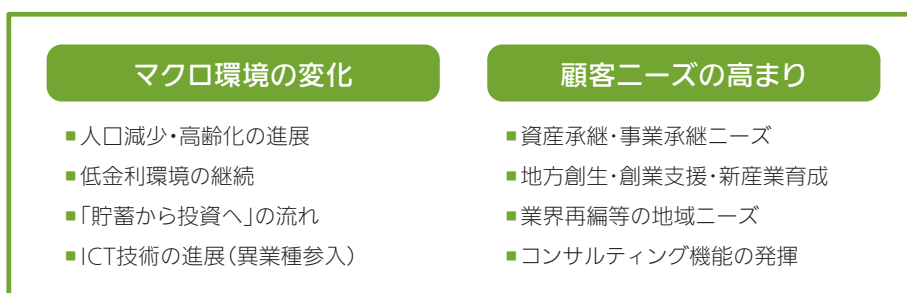
2016

これまでの成長軌道

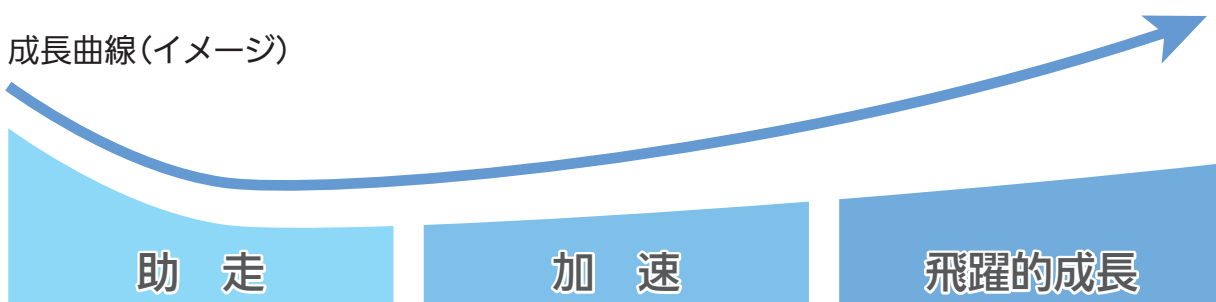


FFGの基本的な経営スタイルを確立 (シングルプラットフォーム・マルチブランド)

●FFGを取り巻く外部環境



成長曲線（イメージ）



FFG設立以降の歩み

FFG長期ビジョン

■FFGの“次の10年”

そこで、地域金融機関の最大の使命である地域経済の活性化と発展への貢献と、そのための安定した地域金融システムによる支援に向けて、「広域経済圏をカバーする安定的な金融システムの構築」と「地域経済を発展・活性化させる取組みの展開」の2つをFFGの長期戦略と位置付けます。

また、急速に変化する経営環境の中で長期戦略を展開していくためには、FFG自身が様々な経営環境の変化を先取りしながら即応していく“進化”を続けていく必要があります。こうした点を踏まえ、これから次の10年間で“進化”のステージと位置付け、“すべてのステークホルダーから支持を獲得する最良の地域金融グループ”との想いを込めた「ザ・ベスト リージョナルバンク」を新たに長期ビジョン(目指す姿)に掲げます。

次の10年間へ

第5次中期経営計画
～「ザ・ベスト リージョナルバンク」を目指して～

第6・7次…
中期経営計画

これまで築いてきた経営基盤を礎とした「“進化”のステージ」

“進化”の「第1ステージ」

第2・3ステージ

“広域経済圏をカバーする安定的な金融システムの構築”
“地域経済の発展・活性化への取組み”

持続的に高い競争力・成長力を実現
(“地域経済発展への貢献”と“FFG企業価値の向上”との好循環サイクル)

“進化”

長期ビジョン

非連続な新しい取組みへの
チャレンジ

+

コア事業の磨き上げ

ザ・ベスト
リージョナル
バンク

■基本方針と重点取組み

平成28年度からスタートした第5次中期経営計画は、進化のステージの第一弾として、『「地域経済発展への貢献」と「FFG企業価値の向上」との好循環サイクル』を生み出して、共に成長していくことを基本方針に掲げます。ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」をすべての企業活動の機軸に据え、将来的な経営環境の変化にも揺るがない強固な経営基盤とビジネスモデルを確立するべく、金融サービス、営業スタイル、人財、組織などのあらゆる面において「進化」に向けた取組みを加速させ、持続的な成長を実現していきます。

第5次中期経営計画 ～「ザ・ベスト リージョナルバンク」を目指して～

計画期間	平成28年4月～平成31年3月(3年間)										
長期ビジョン (目指す姿)	持続的に高い競争力・成長力を実現する「ザ・ベスト リージョナルバンク」 高品質な金融サービスを提供することで、地域に貢献し、地域と共に発展する、 すべてのステークホルダーにとって最良の地域金融グループ										
基本方針	経営環境の変化を先取りしながら、たゆまぬ“進化”を続け、 「地域経済発展への貢献」と「FFG企業価値の向上」との 好循環サイクルを実現										
基本戦略 (4本柱)	<table><tr><td>● ビジネスモデルの進化</td><td> • 全てのお客さまを対象とした「総合営業」の展開 • 営業活動へのデジタル技術の活用 • 新しい事業領域へのチャレンジ(FinTech活用等) </td></tr><tr><td>● 人財力の強化</td><td> • 総合営業人財の育成強化 • 人財投資の積極化(専門人財の採用・育成等) • グループ人財の効果的な活用 </td></tr><tr><td>● グループ総合力の発揮</td><td> • シングルプラットフォーム・マルチブランドの追求 • グループ生産性の向上 • 収益構造改革への取組み </td></tr><tr><td>● 強固なブランド力の構築</td><td> • 「あなたのいちばんに。」を機軸とした企業活動展開 • FFGブランド発信力の強化 • お客さまや地域社会とのコミュニケーションの強化 </td></tr></table>			● ビジネスモデルの進化	• 全てのお客さまを対象とした「総合営業」の展開 • 営業活動へのデジタル技術の活用 • 新しい事業領域へのチャレンジ(FinTech活用等)	● 人財力の強化	• 総合営業人財の育成強化 • 人財投資の積極化(専門人財の採用・育成等) • グループ人財の効果的な活用	● グループ総合力の発揮	• シングルプラットフォーム・マルチブランドの追求 • グループ生産性の向上 • 収益構造改革への取組み	● 強固なブランド力の構築	• 「あなたのいちばんに。」を機軸とした企業活動展開 • FFGブランド発信力の強化 • お客さまや地域社会とのコミュニケーションの強化
● ビジネスモデルの進化	• 全てのお客さまを対象とした「総合営業」の展開 • 営業活動へのデジタル技術の活用 • 新しい事業領域へのチャレンジ(FinTech活用等)										
● 人財力の強化	• 総合営業人財の育成強化 • 人財投資の積極化(専門人財の採用・育成等) • グループ人財の効果的な活用										
● グループ総合力の発揮	• シングルプラットフォーム・マルチブランドの追求 • グループ生産性の向上 • 収益構造改革への取組み										
● 強固なブランド力の構築	• 「あなたのいちばんに。」を機軸とした企業活動展開 • FFGブランド発信力の強化 • お客さまや地域社会とのコミュニケーションの強化										

■目標経営指標

長期ビジョンの実現に向けて、第5次中期経営計画最終年度(平成30年度)における各種経営指標を設定し、総貸出金・総資金はいずれも約1兆円を積み上げるとともに、投信・保険は各々残高1兆円を目指します。

配当性向は30%程度を維持し、新たに当期純利益450億円以上ゾーンの配当額を設定いたします。

※本指標には、株式会社十八銀行との経営統合に関する基本合意、また、それによる影響・効果等(利益・計数等)は考慮していません。なお、同行との経営統合が決定・実現した場合には見直しを行い改めて公表する予定です。
(注)連結当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

	平成27年度	最終年度目標 (平成30年度)	備 考
当期純利益(連結)(注)	447億円	450億円	+3億円
ROE	5.8%	5%以上	—
総貸出金平残(3銀行合算)	10.4兆円	11.5兆円	+約1兆円
総資金平残(3銀行合算)	12.9兆円	13.9兆円	+約1兆円
個人預り資産残高 (3銀行+ふくおか証券合算)	1.3兆円	2兆円	+約0.7兆円
自己資本比率	8.75%	9%程度	—
OHR(連結)	63.7%	60%程度	—

平成28年2月26日、当社と株式会社十八銀行（以下、「十八銀行」という）は、平成29年4月を目処に経営統合の実現を目指すため協議・検討を進めていくことについて基本合意いたしました。

■経営統合の経緯・理念

●経緯

地域経済が抱える、人口減少や高齢化社会といった構造的な課題は「九州」においても例外ではなく、将来的な市場規模の縮小が見込まれます。一方で、九州をひとつの広域経済圏として捉え、第一次産業から第三次産業まで多種多様な産業が集積するとともに、長崎県をはじめとして多くの観光資源を有するなど、魅力的なマーケットです。また、アジアの玄関口としての顔も持ちあわせています。

そうした九州・長崎の持つポテンシャル（魅力）を最大限に引き出すためには、九州経済の一体化の更なる進展が重要であり、そのためには地域のブランドを維持しつつも、より強固な経営基盤の確立と広域かつ木目細かなネットワークの構築が必要であるという共通認識の下、両社は地域と共に発展できる新しい地域金融グループの可能性について検討してきました。

その結果、両社は下記認識を共有するに至ったことから、本件経営統合の実現を目指すため協議・検討していくことを決議いたしました。

- ①それぞれの経営・事業ノウハウを相互かつ有効に活用することが、地域金融システムの維持・安定と地域経済発展に貢献することに繋がること
- ②九州を地盤とする確固たる金融グループを形成することがお客さまにより高品質なサービスを提供する源泉となり、企業価値の向上に資すること



●理念

九州が一体となって魅力あるマーケットを形成していくために、広域経済圏においてスケールメリットを活かした業務の効率化を推進し、将来にわたり地域金融システムを安定させることで、「地域経済活性化と企業価値向上の同時実現」を目指していきます。

地域経済活性化と企業価値向上の同時実現

- ・両社の有する充実したネットワークの活用による業務の効率化向上
- ・グループ内銀行における地域活力創造への主体的取組み
- ・より質の高い金融サービスを永続的に提供できる体制の構築

長崎県内企業の成長への貢献

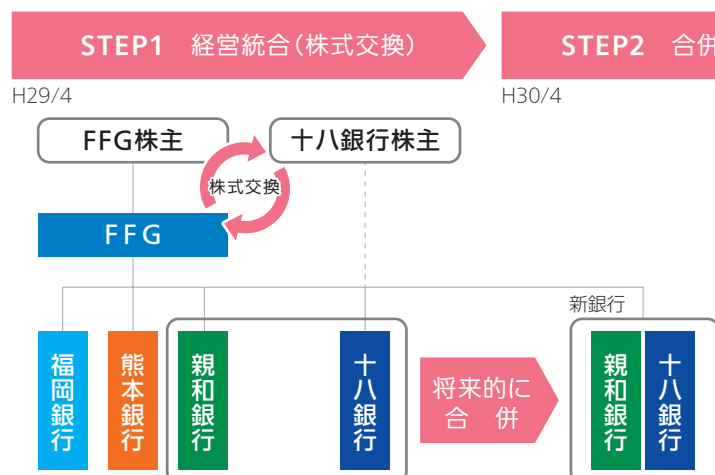
- ・十八銀行と親和銀行の将来的な合併による長崎県全域のサポート強化
- ・九州最大の経済圏である福岡との連携強化
- ・アジア進出や商流づくりの支援強化

顧客満足度 No.1の金融グループ

- ・お客さまとのリレーションを維持・深化
- ・広域かつ木目細やかなネットワークの活用

■経営統合の形態・スケジュール

本件経営統合は、既に持株会社体制となっている当社を新しい金融グループの持株会社として活用する前提で、協議・検討を進めていきます。具体的には、必要な株主総会における承認および本件経営統合を行うにあたり必要な関係当局の許認可等が得られることを条件として、平成29年4月を目処に、当社を完全親会社とし、十八銀行を完全子会社とする株式交換を行うことを協議・検討してまいります。



（株式交換比率）

デューデリジェンスの結果及び第三者機関による株価算定の結果等を踏まえて、本件経営統合に関する最終合意締結までに決定します。

（経営統合後の再編）

十八銀行と当社傘下の親和銀行は、本件経営統合による効果を最大限に発現させるため、本件経営統合から1年後を目処に合併することについて、協議・検討を進めていきます。

損益状況

●3行単体合算

(単位:億円)

	平成26年度	平成27年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,742	1,789	47
資 金 利 益	1,496	1,500	4
役 務 取 引 等 利 益	209	219	10
特 定 取 引 利 益	1	0	▲ 1
そ の 他 業 務 利 益	35	69	34
経費(除く臨時処理分)▲	998	1,000	2
業 務 純 益	744	789	45
コ ア 業 務 純 益	742	764	22
信 用 コ ス ト ▲	▲ 25	▲ 36	▲ 11

■コア業務純益【3期ぶり増益】

資金利益、役務取引等利益、その他業務利益が揃って増加した結果、前年比+22億円増加の764億円となりました。なお、資金利益は平成19年のFFG設立以来、初めて増加反転しております(国内資金利益も同様に増加反転)。

■連結経常利益【過去最高益】

コア業務純益の増加に加え、債券・株式関係損益の増加および信用コストの減少(戻り益増加)等により前年比+107億円増加し、714億円となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益【4期連続過去最高益】

前年比+81億円増加の447億円となりました。

●FFG連結

経 常 利 益	608	714	107
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	366	447	81

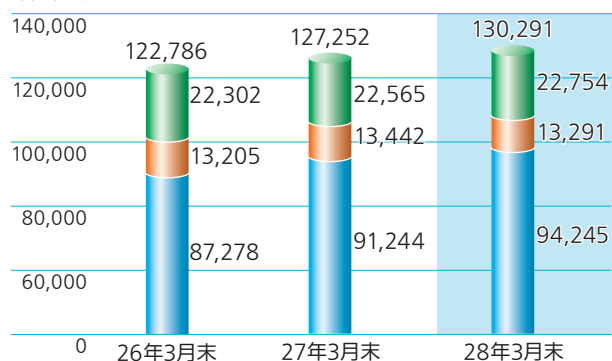
総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、個人預金を中心に堅調に推移した結果、前年度末比3,039億円増加し、13兆291億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

総資金残高(期末残高) 福岡銀行 熊本銀行 親和銀行

(単位:億円)

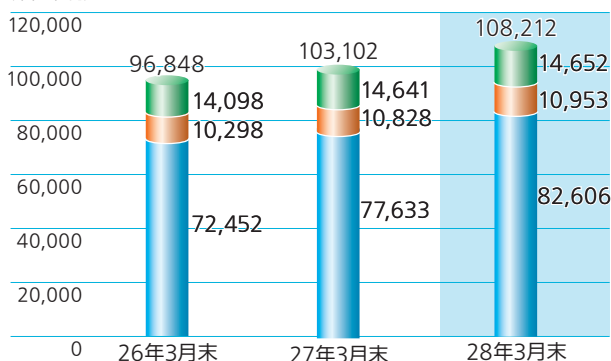


貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的に対応した結果、前年度末比5,109億円増加し、10兆8,212億円となりました。

貸出金残高(期末残高) 福岡銀行 熊本銀行 親和銀行

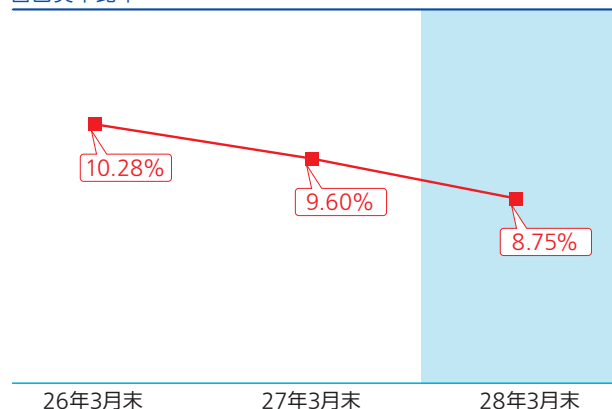
(単位:億円)



自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.85%低下し、8.75%となりました。

自己資本比率

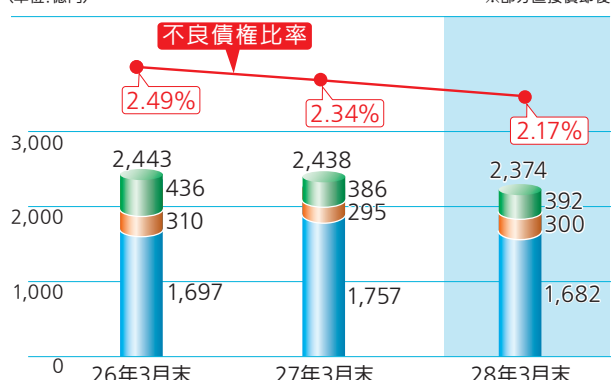


不良債権の状況(3行単体合算・部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比64億円減少し、2,374億円となりました。不良債権比率は同0.17%低下し、2.17%となりました。

不良債権残高・比率

(単位:億円)



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成26年度	平成27年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,245	1,295	49
資 金 利 益	1,068	1,077	9
国 内 部 門	997	1,009	12
国 際 部 門	71	68	▲ 3
役 務 取 引 等 利 益	148	157	9
特 定 取 引 利 益	1	0	▲ 1
そ の 他 業 務 利 益	28	60	32
経費(除く臨時処理分)▲	658	661	3
業 務 純 益	588	634	46
コ ア 業 務 純 益	586	614	28
経 常 利 益	590	668	78
当 期 純 利 益	363	456	93
信 用 コ ス ト ▲	▲ 19	▲ 18	1

■コア業務純益

資金利益、役務取引等利益、その他業務利益が揃って増加した結果、前年比+28億円増加の614億円となりました。

■経常利益

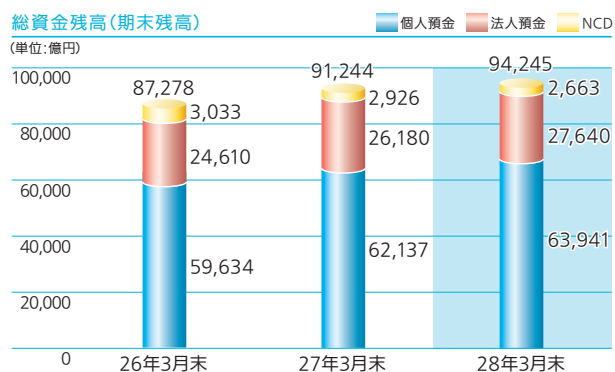
コア業務純益の増加に加え、債券・株式関係損益の増加等により、前年比+78億円増加の668億円となりました。

■当期純利益

前年比+93億円増加の456億円となりました。

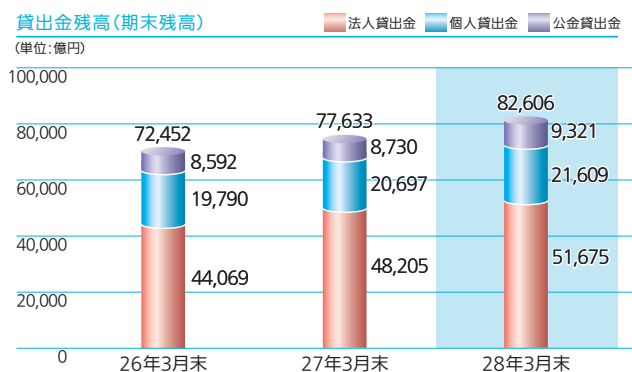
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに順調に増加した結果、前年度末比3,001億円増加し、9兆4,245億円となりました。



貸出金の状況

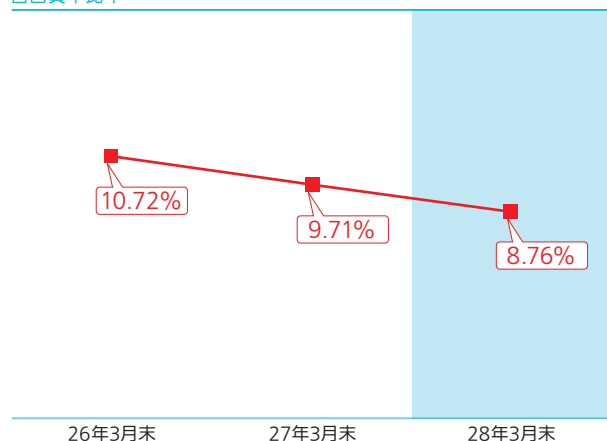
法人貸出金・個人貸出金ともに順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比4,973億円増加し、8兆2,606億円となりました。



自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.95%低下し、8.76%となりました。

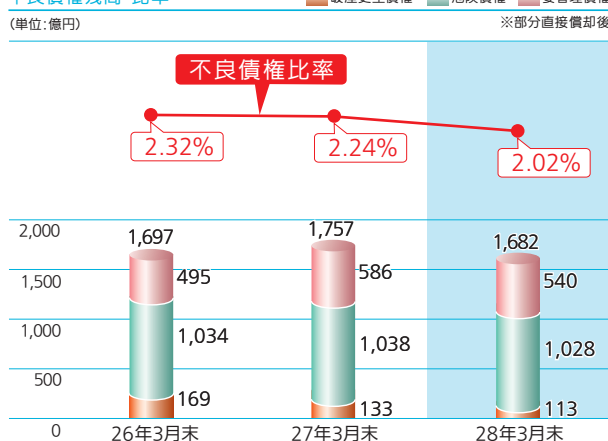
自己資本比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比75億円減少し、1,682億円となりました。不良債権比率は同0.22%低下し、2.02%となりました。

不良債権残高・比率



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成26年度	平成27年度	前年比
業 務 粗 利 益	203	208	5
資 金 利 益	182	182	▲0
国 内 部 門	182	181	▲0
国 際 部 門	0	0	0
役 務 取 引 等 利 益	18	24	6
そ の 他 業 務 利 益	3	2	▲1
経費(除く臨時処理分)▲	136	138	2
業 務 純 益	67	70	3
コ ア 業 務 純 益	67	69	2
経 常 利 益	66	74	7
当 期 純 利 益	80	53	▲27
信 用 コ ス ト ▲	▲6	▲10	▲4

■コア業務純益

資産運用商品などの役務取引等利益の増加等により、前年比+2億円増加の69億円となりました。

■経常利益

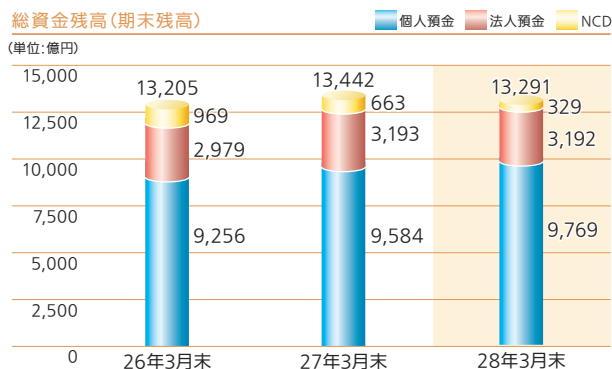
コア業務純益の増加に加え、信用コストの減少(戻り益増加)等により、前年比+7億円増加の74億円となりました。

■当期純利益

前年比▲27億円減少の53億円となりました。

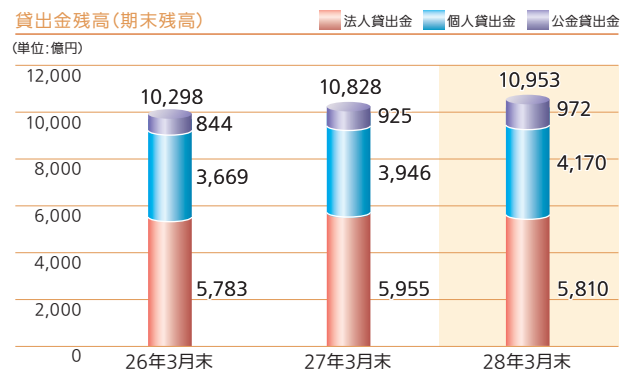
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金が順調に増加したものの、NCDが減少した結果、前年度末比150億円減少し、1兆3,291億円となりました。



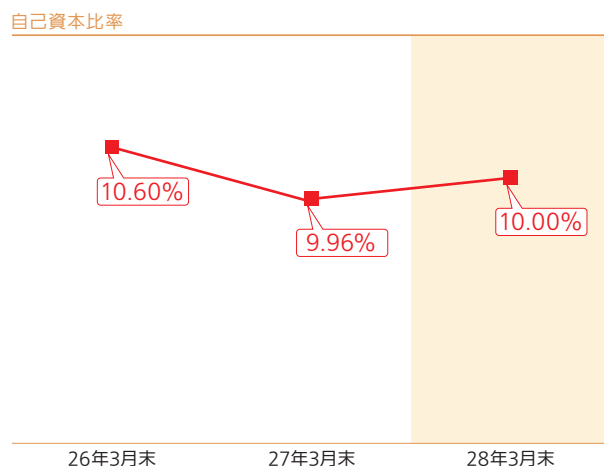
貸出金の状況

住宅ローンを中心とする個人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比125億円増加し、1兆953億円となりました。



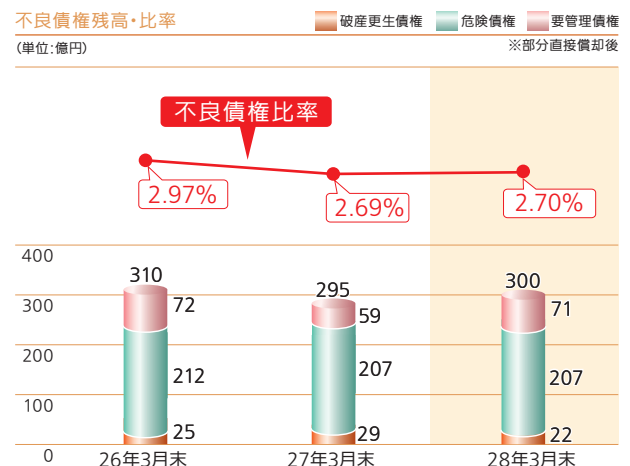
自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.04%上昇し、10.00%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比5億円増加し、300億円となりました。不良債権比率は同0.01%上昇し、2.70%となりました。



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成26年度	平成27年度	前年比
業 務 粗 利 益	294	287	▲ 7
資 金 利 益	246	241	▲ 5
国 内 部 門	246	241	▲ 5
国 際 部 門	0	0	▲ 0
役 務 取 引 等 利 益	43	39	▲ 4
そ の 他 業 務 利 益	5	7	2
経費(除く臨時処理分)▲	204	201	▲ 3
業 務 純 益	77	85	8
コ ア 業 務 純 益	89	81	▲ 8
経 常 利 益	87	77	▲ 10
当 期 純 利 益	36	52	17
信 用 コ ス ト ▲	0	▲ 8	▲ 9

■コア業務純益

貸出金利回りの低下による資金利益の減少および資産運用商品などの役務取引等利益の減少等により前年比▲8億円減少の81億円となりました。

■経常利益

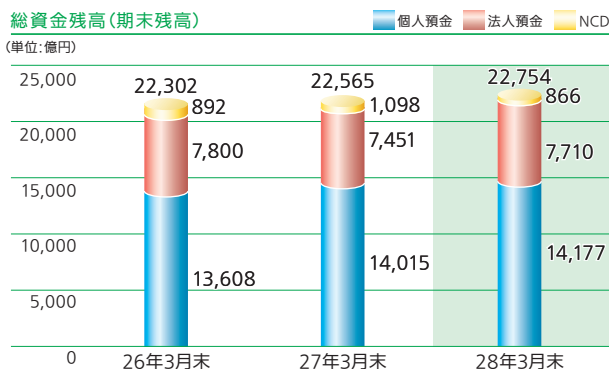
コア業務純益の減少等により前年比▲10億円減少の77億円となりました。

■当期純利益

前年比+17億円増加の52億円となりました。

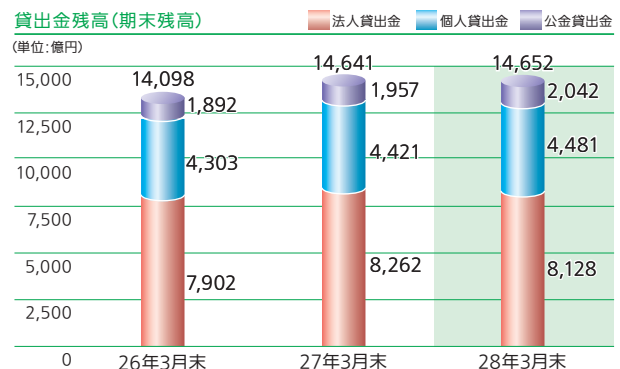
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金が順調に増加した結果、前年度末比189億円増加し、2兆2,754億円となりました。



貸出金の状況

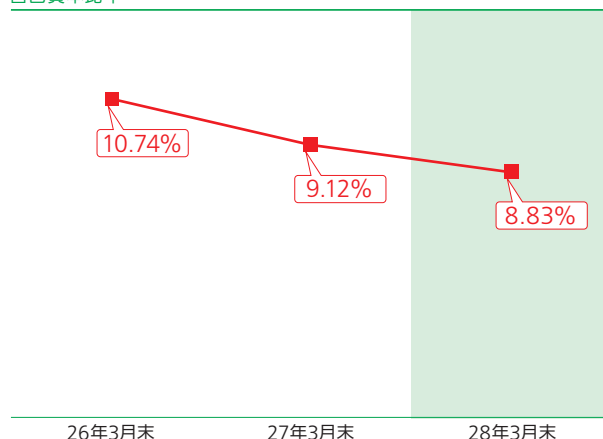
個人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比10億円増加し、1兆4,652億円となりました。



自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.29%低下し、8.83%となりました。

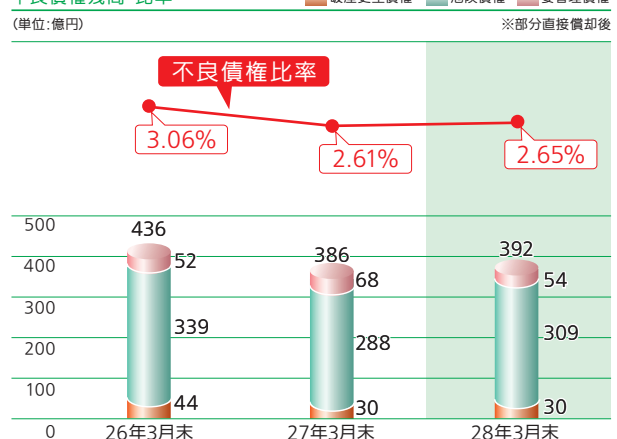
自己資本比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比6億円増加し、392億円となりました。不良債権比率は同0.04%上昇し、2.65%となりました。

不良債権残高・比率



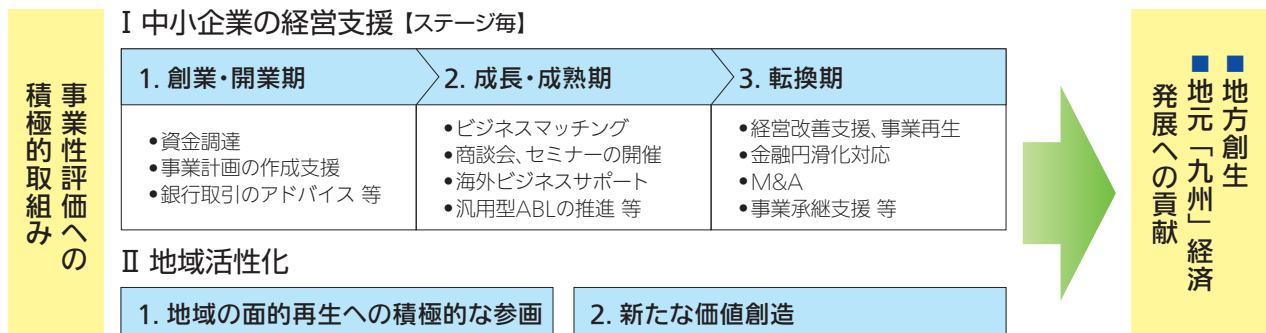
中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取組み

中小企業の経営改善および地域活性化に関する取組み方針

当社グループは、地域金融機関として、地域経済の活性化・発展に貢献することが最大の使命であると考えています。これを実現するため、とりわけ中小企業のお客さまに対しては、グループ全社を挙げて、資金等の円滑な供給はもちろんのこと、お客さまの事業の内容や成長可能性の適切な評価に基づく最適なソリューションの提供（事業性評価）に積極的に取り組んでいます。

具体的には、「第5次中期経営計画～『ザ・ベスト リージョナルバンク』を目指して～」において、これまで培ってきた目利き力・ノウハウ・体制・人財・関係会社機能等といったグループ総合力を発揮し、各ステージに応じた様々なニーズや経営課題の解決に取り組み、お客さまの中長期的な成長を支援してまいります。

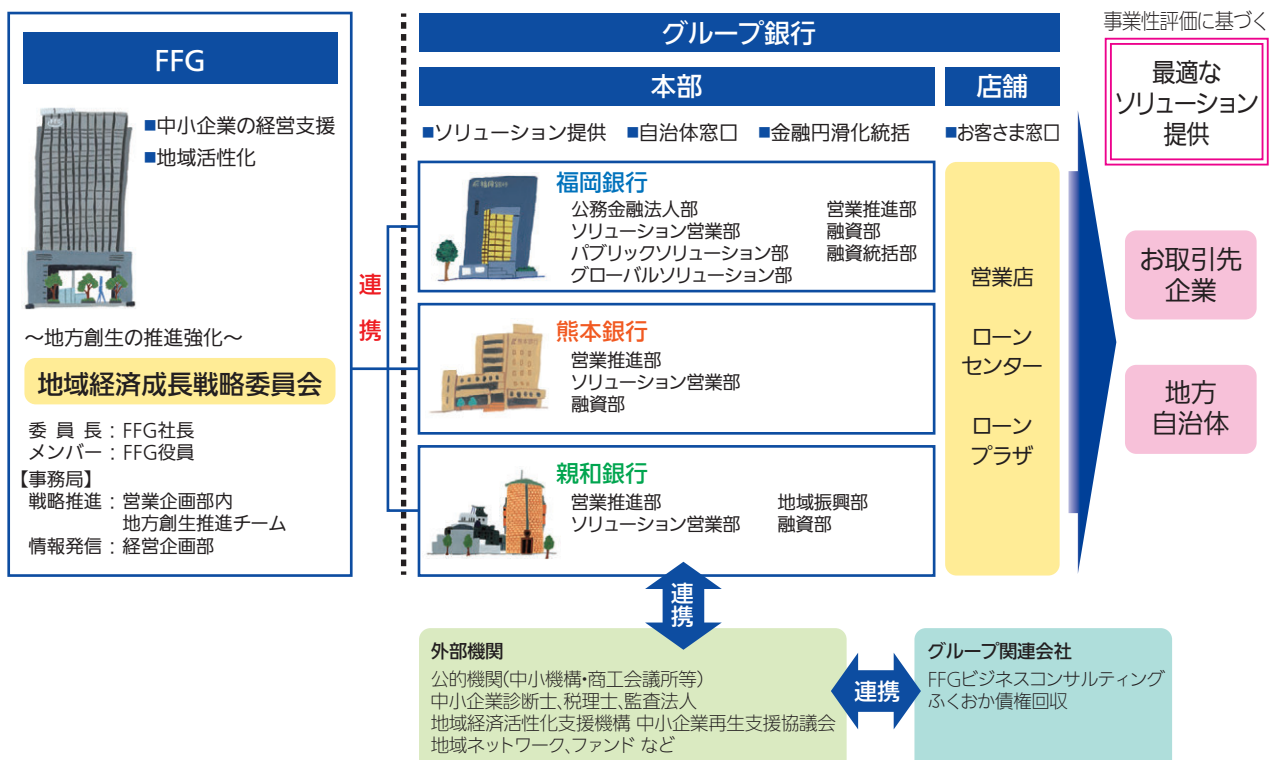
全体像



取組み体制

当社グループでは、グループ3行およびグループ関連会社、さらには外部専門家・外部機関との幅広いネットワークを活かしながら、事業性評価を実践することにより、お客さまの成長ステージ・経営課題・様々なニーズに応じた最適なソリューションを提供する体制を構築しています。

また、地域金融機関に期待される役割をこれまで以上に果たすべく、「地方創生推進チーム」を中心に本部・営業店・グループ各社が一体となって、当社グループが持つ知見やネットワークを地方自治体などと連携しながら活用するサポート体制を強化しています。



中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取り組み

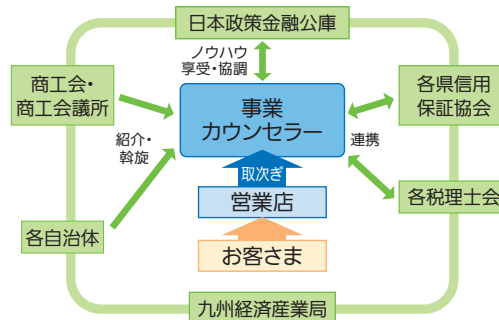
I 中小企業の経営支援に向けた取り組み状況

1. 創業・開業期

■事業カウンセラー

当社グループは、日本政策金融公庫や信用保証協会との業務連携をはじめ、関係団体等とのネットワークを活用し、創業・開業期企業の様々なニーズに対応します。

また、福岡銀行ではこれまで蓄積してきた経験・スキルを活かして、資金調達や事業計画の作成、銀行取引にかかるあらゆる不安をベテランがサポートする「事業カウンセラー」を設置しています。



◇事業カウンセラー（福岡銀行）

各種相談受付件数	384件
(平成27年度中)	

◇創業・新事業支援融資の実績

福岡銀行	130件／545百万円
熊本銀行	77件／299百万円
親和銀行	24件／117百万円
(平成27年度中)	

2. 成長・成熟期

■産学官連携

お客さまの研究開発・技術支援等を行うため、主要営業基盤である福岡県・熊本県・長崎県の行政機関や大学などと連携協定を締結し、産学官連携のネットワークを構築しています。大学研究機関等において生み出された技術やノウハウなどの「シーズ(SEEDS)」と、企業の「事業ニーズ(NEEDS)」とを結びつける役割を果たしています。

また、行政機関等の各種施策(補助金等)の活用をサポートすることで、新規事業の創出や研究開発における課題解決等をお手伝いしています。

◇産学官連携の協定締結先

福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
北九州市、九州大学、福岡大学、佐世保市、福岡工業大学、長崎市、熊本大学、長崎大学	合志市、熊本大学、崇城大学、東海大学、水俣市	長崎県、長崎市、佐世保市、長崎大学、佐世保工業高等専門学校、長崎総合科学大学、長崎県立大学、九州文化学園長崎国際大学

◇産学官連携の実績（福岡銀行）

相談件数：165件

〈実績〉

- 共同研究：12件 ●技術指導：6件 ●技術相談：11件
- コンサルティング：3件 ●企業・他機関紹介等：26件

【平成19年5月～28年3月】

■ビジネスマッチング

ビジネスマッチングに対するお客さまの強いニーズに応えるため、グループ関連会社のFFGビジネスコンサルティングを通じて、お客さまに業務提携先や取引先をビジネスパートナーとしてご紹介し、様々なニーズへの対応および課題解決をお手伝いしています。

◇ビジネスマッチングの成約件数

福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
294件	159件	50件

(平成27年度中)

～商談会・セミナーの開催～

お客さまの販路や調達先の開拓を支援するため、商談会やセミナーを積極的に開催しています。

◇平成27年度中／国内商談会開催実績

商談会
●首都圏バイヤー&シェフチャレンジ(27年7月) ●「食の祭典2015in 福岡」(27年11月)
●地方創生 食の祭典フェアinふくぎん本店広場(27年11月)

◇平成27年度中／経営セミナー開催実績

主なセミナー・研修会	
●FFGヘルスケアフォーラム2015	●マネジメント力向上セミナー
●新入社員研修会	●戦略立案能力養成セミナー
●新入社員フォローアップ研修会	●実践!プロジェクトマネジメント研修
●中堅社員ステップアップセミナー	●事業戦略セミナー
●接遇マナーブラッシュアップセミナー	●提案営業力向上セミナー
●ポジティブ心理学コーチング	●財務会計セミナー(初級編)、(中級編)
●メンタルヘルスセミナー	●グレース対応セミナー
●実践!リーダーシップ研修	●交通事故防止セミナー
●ファシリテーショントレーニングセミナー (基礎編)、(応用編)	●マイナンバー制度対策セミナー



食の祭典2015in 福岡

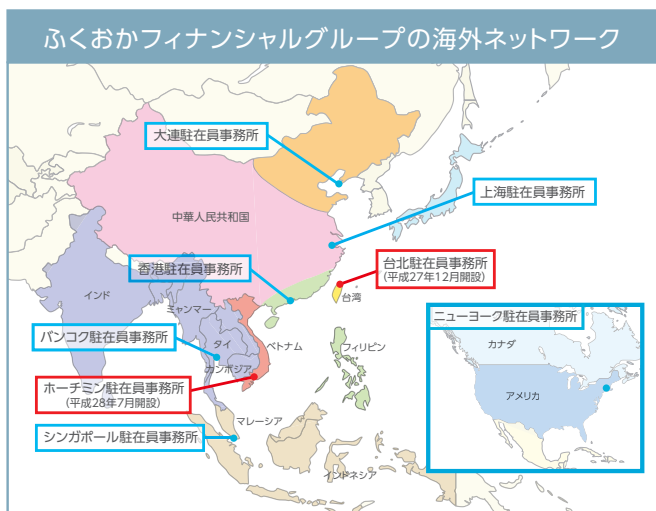


FFGヘルスケアフォーラム2015

中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取り組み

■海外ビジネスサポート

現地進出、販路・仕入先開拓等の海外ビジネスに関するお客さまの諸課題に対して、アジアを中心とする福岡銀行の海外駐在員事務所や現地ネットワークを活用し、有効な解決策をご提案しています。また、増加するご相談に素早く対応できるよう、福岡銀行では本部専門部署へ直接お電話いただける「海外サポート専用フリーダイヤル」を設置しています。



■海外拠点の拡充

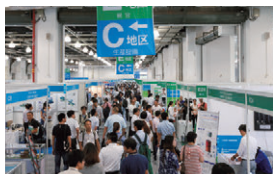
企業のお客さまのビジネスニーズが拡大するアジアに向けて、新たに台北(全国地方銀行初・平成27年12月)とホーチミン(九州の地方銀行初・平成28年7月)の2拠点を開設し、海外8拠点体制とします。

◇平成27年度／海外商談会・経営セミナー開催実績

(当社取引先参加企業数 67社)

商談会・セミナー

- 大連・地方銀行合同企業交流会2015(27年6月)
- 第7回香港・華南地区日系企業ビジネス交流会(27年6月)
- 第2回Mfair バンコク2015 ものづくり商談会(27年6月)
- 中国主要都市ビジネスセミナー(27年7月)
- FBC上海2015ものづくり商談会(27年9月)
- 第4回海外駐在員が語る「アジアの「今」」(27年10月)
- 2015 大連ー地方銀行合同ビジネス商談会(27年11月)
- インドネシア・九州インバウンドPJ(27年12月)
- 地銀合同ビジネス商談会@広島2015(27年12月)



FBC上海2015
ものづくり商談会



インドネシア・九州インバウンドPJ

海外進出や海外ビジネス展開に関するサポート内容
専門スタッフが、皆さまの海外に関するご相談に対応いたします。

●ご相談事例

- ・海外子会社の資金調達に関して相談したい
- ・海外で自社製品のマーケティングをしたい
- ・海外取引先(販売先、調達先)を紹介して欲しい
- ・海外子会社を設立するための、現地法制度を知りたい など

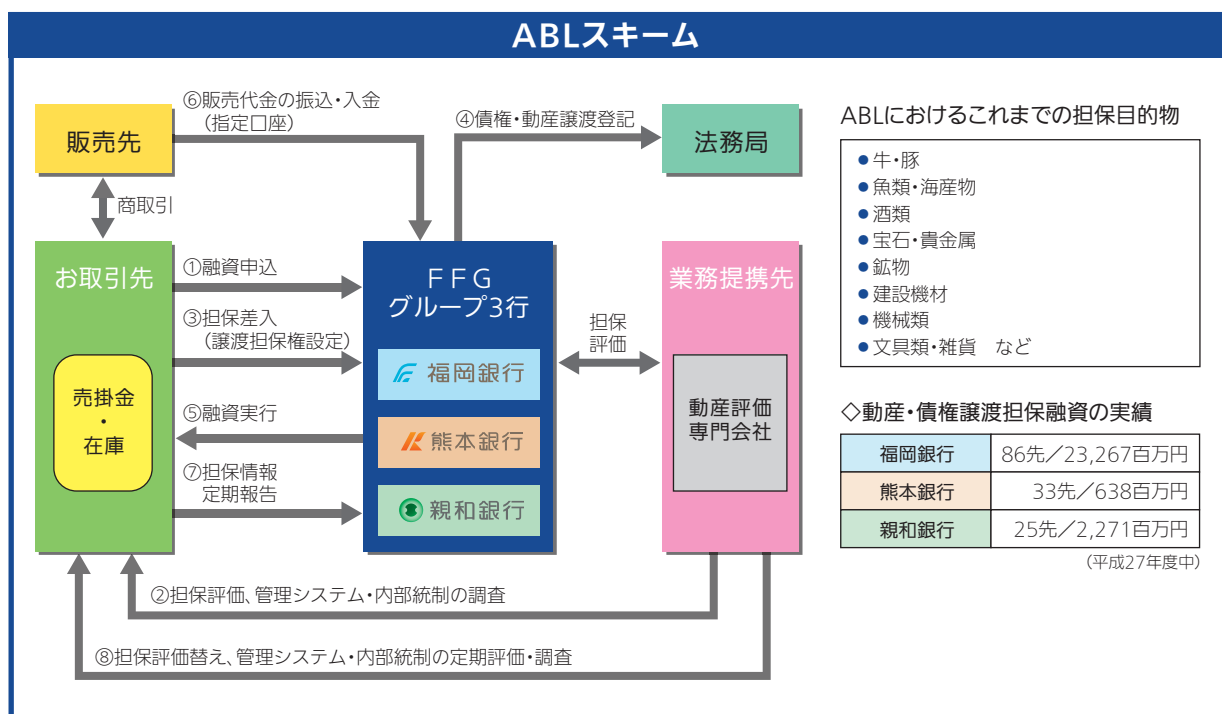
《海外サポート専用フリーダイヤル》

いいな グローバル
0120-17-9686

※受付時間:9:00~17:45(但し、銀行休業日は除きます) ※日本国外からは繋がりません。

■動産・債権譲渡担保融資の取組み

売掛金や在庫などお客さまが保有する資産に着目した、動産・債権譲渡担保融資(ABL)にも取り組んでいます。なお、福岡県・熊本県・長崎県・佐賀県の各県信用保証協会の「流動資産担保融資保証制度」を活用し、提携評価会社の簡易評価サービスを組み合わせることで、動産評価コストの引下げを実現したスキームも構築しています。

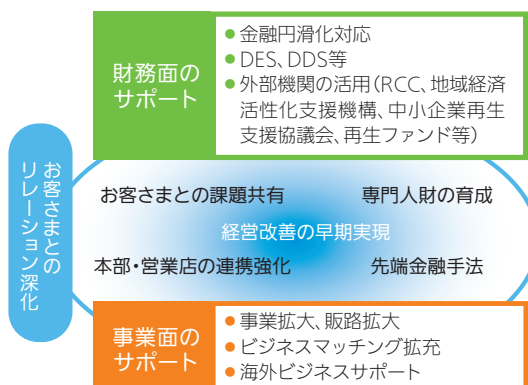


中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取り組み

3. 転換期

■事業再生・経営改善支援

当社グループでは、お客さまの事業再生・経営改善のための支援については、お客さまとの十分な話し合いを通じて、営業店と本部専門部署や外部専門家と密に連携を図りながら、課題解決に向けた取り組みを行っています。財務面からの各種サポートに加え、事業面においても経営課題の発見から改善策の策定・実施まで支援します。



◇経営改善支援先および実抜計画認定先の取り組み実績

	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
期初債務者数	33,517先	12,620先	12,202先
経営改善支援取組み先等 (経営改善支援等取組み率)	711先 (2.1%)	231先 (1.8%)	306先 (2.5%)
期末に債務者区分が ランクアップした先数 (ランクアップ率)	49先 (6.9%)	4先 (1.7%)	27先 (8.8%)
再生計画を策定した先数 (再生計画策定率)	387先 (54.4%)	142先 (61.5%)	163先 (53.3%)

※実抜計画：実現可能性の高い抜本的な計画

(平成27年度中)

金融円滑化に関する対応

(全文は各銀行ホームページにて閲覧可能です)

当社グループは、業務の健全かつ適切な運営の確保に留意しつつ、中小企業者および住宅ローンをご利用のお客さまからご返済条件の変更等のお申込みなどがあった場合には、適時適切に対応していきます。

特に、中小企業者のお客さまからの経営改善・事業再生に関するご相談をいただいた場合は、他金融機関、政府系金融機関、信用保証協会など中小企業再生支援協議会が関係している場合には、当該機関と緊密な連携を図りながら、お客さまの事業についての可能性その他の状況を勘案しつつ、経営改善計画の策定支援ならびに進捗管理、助言を行うよう努めます。

また、お客さまと保証契約を締結する場合、お客さまから既存の保証契約の見直しのお申し入れがあった場合、および保証人のお客さまが経営者保証に関するガイドライン研究会が定める「経営者保証に関するガイドライン」(以下、ガイドライン)に則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めていきます。

※ご相談に迅速かつきめ細かく対応するため、営業店および本部に「金融円滑化対応責任者」と「金融円滑化対応担当者」を設置し、実務対応の管理を行っています。

「経営者保証に関するガイドライン」に係る取組み状況(対象期間：平成27年4月～平成28年3月)

(単位：件)

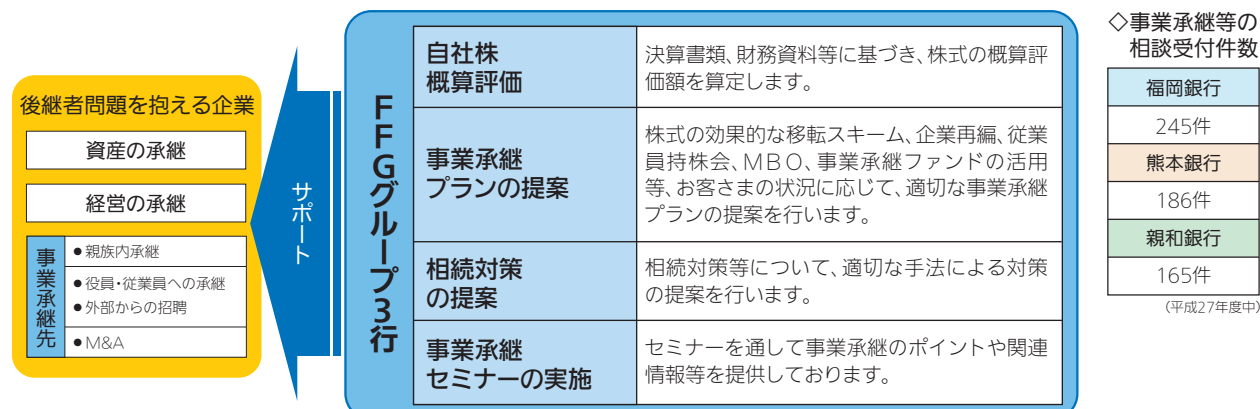
	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
新規に無保証で融資した件数	6291	1061	1586
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	17%	10%	13%
保証契約を変更した件数※	118	64	53
保証契約を解除した件数	533	123	124
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	2	2	0

※保証契約を変更した件数には、担保預金を考慮した結果、保証金額を減額した件数を計上しております。

■事業承継支援

近年、中小企業経営者の高齢化が進むなか、事業承継問題は企業や地域社会にとって非常に重要な課題です。

当社グループでは、事業承継の課題解決に向けた体制を構築し、外部専門家等と連携して、各種の事業承継支援メニューを提供しています。後継者問題、自社株対策、相続税対策等のお客さまの様々な悩みに、税理士・公認会計士等の専門家やグループ関連会社のFFGビジネスコンサルティングと連携してお応えします。



中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取組み

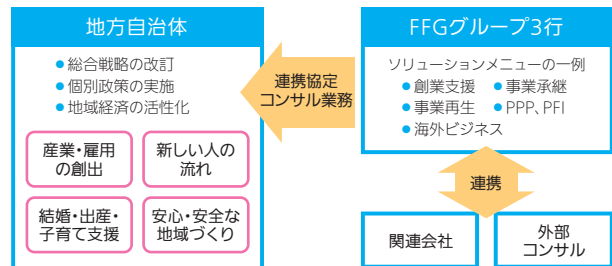
Ⅱ 地域活性化に向けた取組み状況

1. 地域の面的再生への積極的な参画

■ 地方創生への取組み

現在、各地方自治体は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく「地方創生」の取組みを推進していますが、当社グループは地域金融機関に期待される役割をグループ一体となって発揮していくため、サポート体制を強化しています。

これまで以上に各地方自治体と連携を強化し、各種施策や取組みに積極的に参画することで、「地域活性化」に向けた地域金融機関としての役割を果たしていきます。



■ FFGのアクション

～連携協定締結・コンサルティング業務～

各自治体の諸会議に参加し、ノウハウの提供や具体的事業の提案を行う「連携協定」や、地方発のプロジェクト組成・遂行に向けた「コンサルティング業務」を実施しています。

〈実績〉 連携協定: 10市 コンサルティング業務受託: 7自治体(平成28年6月末現在)

～九州観光活性化ファンド～

九州7県を投資範囲とする、広域の観光産業の面的活性化を目指す「九州観光活性化ファンド」にグループ3行で出資しています。経済波及効果や雇用創出効果の高い新たな取組みに対し、リスクマネーの供給や行政等への働きかけをサポートします。

～U/Iターン創業セミナー～

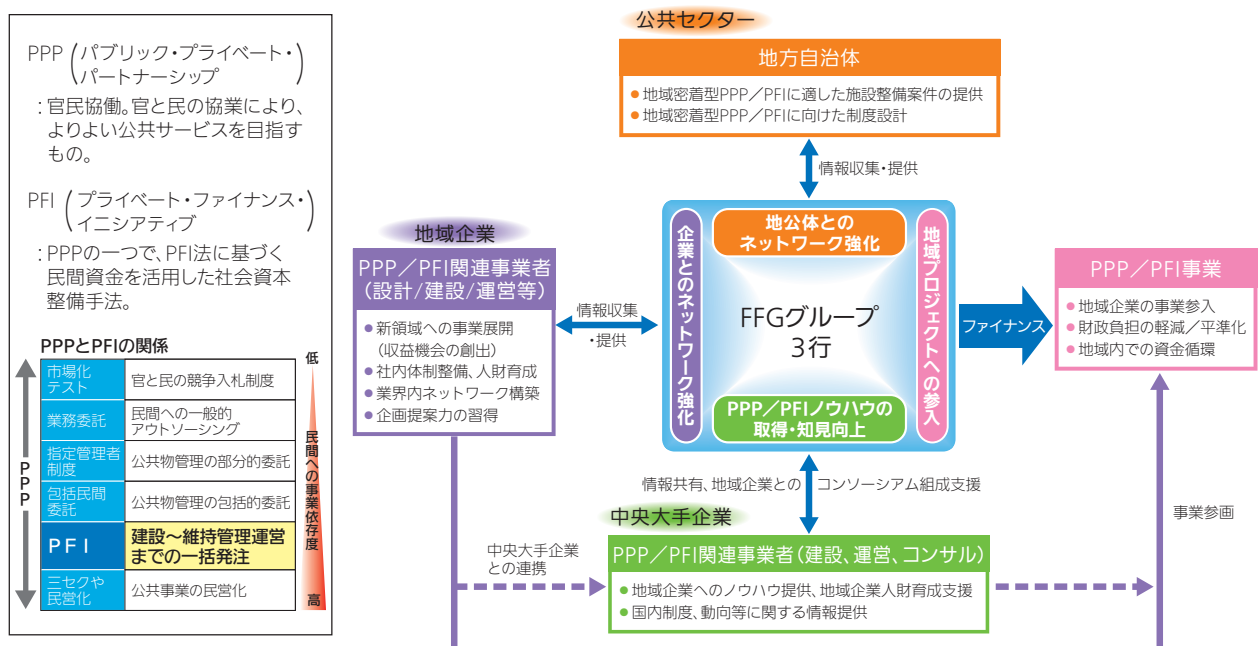
地方創生の取組みの一環として、平成28年1月「U/Iターン創業セミナー」を東京都内で初めて開催し、クラウドファンディング活用事例の紹介や、FFGが主催したビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2015」の受賞企業による講演を行いました。首都圏から福岡への「移住・起業」をお考えのお客さまを全力で応援していきます。



■ PPP/PFIへの取組み

政府は、日本再興戦略に基づき、民間の事業機会の拡大による経済成長を実現していくため、新たな官民連携(PPP/PFI)事業に係る具体的な案件の形成等を推進しています。これを受けて、地方公共団体でも、PPP/PFIのノウハウの共有・習得、関係者間のネットワークの構築等、具体的な動きが始まっているところです。

上記に対応する取組みとして、地域金融機関である当社3行は、「公共セクター」「地域企業」「中央大手企業」と連携し地域密着型PPP/PFIの実現に向けて取り組んでいます。特に、「地域企業」がPPP/PFI事業に参画できるような環境づくりやサポートを積極的に行っています。



中小企業の経営改善および地域活性化に向けた取組み

2. 新たな価値創造

当社グループでは、法人・個人全てのお客さまが抱える幅広いニーズにワンストップでお応えする総合営業の実践に取り組んでおります。その中で、さまざまな経営課題やビジネスニーズに直面する中小企業・オーナーのお客さまに対して、地方銀行間の広域ネットワークの活用や情報共有などを通じて最適なソリューションを提供するとともに、中小企業の経営改善および活性化・地域経済への貢献に資する、新たな価値の創造を目指します。

■新会社・サービスの立上げ

【投資専門子会社の設立】

近年、情報通信技術の急速な発達に伴い、金融業界においてもテクノロジーを駆使した金融サービス「FinTech（フィンテック）」の取組みが活発化しており、優れた技術・アイデアを有するFinTech企業が様々な商品・サービスを提供しています。

FFGではFinTech企業への投資・支援を通じて、地域経済の活性化と地方創生に貢献するとともに、FFGのサービスの高度化を実現することを目的に、平成28年4月、投資専門子会社「株式会社ふくおかテクノロジーパートナーズ（FTP）」を設立しました。

【FinTech企業の子会社化】

FTPによる投資を通じて、平成28年4月「iBankマーケティング株式会社」を子会社化しました。同社が7月から提供するマネーサービス「iBank」では、スマートフォンを活用した、より“便利”で“身近”な金融サービスプラットフォームを構築し、ご利用いただくお客さまにスマホ/モバイルファースト時代に即した新しい顧客体験・価値を提供していきます。

【iBankの提供プロダクト群】



平成28年7月以降、順次展開

●Wallet+(ウォレットプラス)

夢をinspireするお金管理アプリ。日常の収支管理や目標、夢のための貯蓄がスマートフォンで簡単に行えます。お得に利用できる限定クーポンもお見逃しなく！

●mymo+(マイモプラス)

賢い暮らしをinformする、情報コンテンツ。ちょっと“お得”でちょっと“賢い”情報が詰まっています。

●Debit+(デビットプラス)

買い物をinnovateする、決済カード。Wallet+との連携で、利用可能額や利用明細も確認できます。

■地域再生・活性化ネットワーク

FFG傘下の福岡銀行は、地方銀行8行（北海道銀行、七十七銀行、千葉銀行、八十二銀行、静岡銀行、京都銀行、広島銀行、伊予銀行）と『地域再生・活性化ネットワークに関する協定書』を締結しています。経営基盤・営業エリアが異なる地方銀行が連携し、各行の保有する様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、従来単一の銀行ではできなかったサービスの機会、スピード、質（クオリティ）を最適なソリューションとしてご提供します。

1. 目的

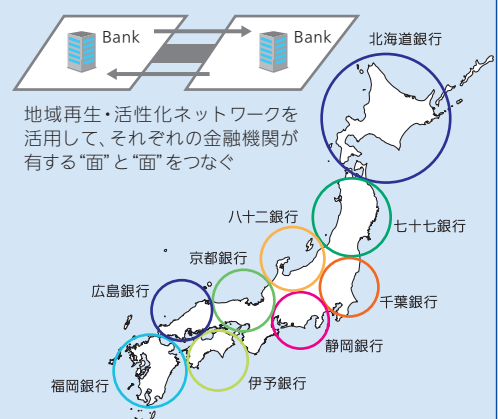
～広域連携による新たな価値共創から、
地域経済の再生・活性化を促進～

お取引先が県境・地域を越えて、企業活動を展開していく中で生じるさまざまな経営課題やニーズに対し、各参加銀行が「地域のコーディネーター」として情報・ネットワークを共有・活用し、企業同士や事業を繋ぐお手伝いをする事で、お取引先と銀行双方にとっての新たな価値を共創します。

2. 具体的内容

県境・地域を越えて活躍するお取引先（広域展開企業）のビジネスニーズや、地域の再生・活性化に資するさまざまな個別案件に対して、
①各種金融手法を活用した資金供給（シンジケートローン、協調融資など）
②M&Aや事業承継にかかる相手方（売り先・買い先）情報のご提供、アドバイザーサービス
③ビジネスマッチング業務にかかる各種情報のご提供
などを中心に、連携・協力して対応しています。

日本全国をカバーする 地域金融機関の広域連携



当社グループは、『CSR』を「ステークホルダー（利害関係者：地域社会・お客さま・株主・従業員）とのよりよい関係を構築することにより、企業および社会の持続的成長を実現すること」と考え、法令遵守・リスク管理態勢の強化といった企業経営に関する取り組みはもとより、ステークホルダーに対するさまざまな取り組みを行っています。

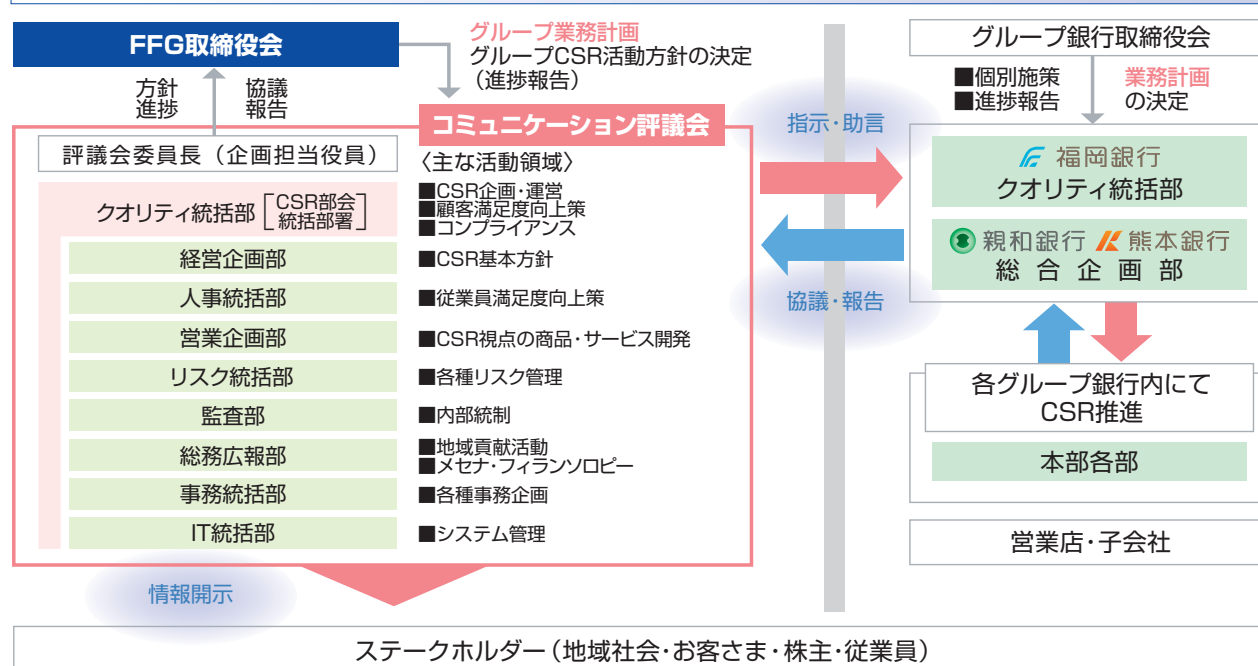
また、当社グループは、グループ経営理念の実践とも言うべき事業活動そのものが『CSR』であると考え、地域金融機関に期待される地域社会の信用を維持するとともに金融の円滑を図り、地域経済の健全な発展に貢献する『社会の公器』（公共の機関）としての社会的責任はもとより、地域金融グループとしての役割・特性を活かして持続可能な社会を実現するため、最も貢献できる分野において、さまざまな変革と価値創造に寄与する活動を展開しています。

FFGにおけるCSRの定義

CSRとは、全てのステークホルダーがFFGに抱く経済的、法的・倫理的、若しくは心情的な期待に対して、バランスのとれた意思決定を行い、さまざまな価値を提供することで、ステークホルダーの持続可能な成長を促進し、FFGの持続的な発展を実現していくこと。



■FFGのCSR経営/推進体制



当社グループで取り組むCSR活動は、その時々、社会的課題や要請に対し、受動的に應えるのではなく、持続可能な活動として自発的かつ継続的に実施していくことが基本となります。

具体的には、活動方針として『3つの活動領域』と『3つの活動層』を設定しています。これは、「環境共生活動」・「生涯学習支援」・「ユニバーサルアクション」の3つの活動層を重点分野として設定した上で、「銀行業務プロセス」・「商品・サービス」・「本業外の社会貢献」の3つの活動領域でそれぞれバランスをとりながら様々な活動にチャレンジするものです。

CSR活動を通じて、当社グループの「広域展開型地域金融グループ」としての役割・特性を活かしながら、良き企業市民・良き企業人としての責務を果たすとともに、社会の変革と新たな価値創造に挑戦していきます。

■3つの活動領域(Activity Area)

銀行業務プロセスにおけるCSR

コーポレートガバナンス、法令遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる態勢構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動等といった、銀行業務の全プロセスに係る取り組み

銀行の商品・サービスによるCSR

銀行のもつ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取り組みおよび金融ビジネス

本業外の社会貢献におけるCSR

本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取り組み（ボランティア、文化芸術活動等含む）

■3つの活動層(Activity Layer)

活動層Ⅰ 環境共生活動

地球に負の影響をおよぼす環境問題は、当社グループが共生を図っていく『地域』にとっても看過できない重要課題です。

当社グループは、自らの環境負荷の抑制・軽減に努めるとともに、『金融』が持つ役割・機能を介して、環境保全に資する商品・サービスを積極的にステークホルダーの皆さまへ提供していきます。

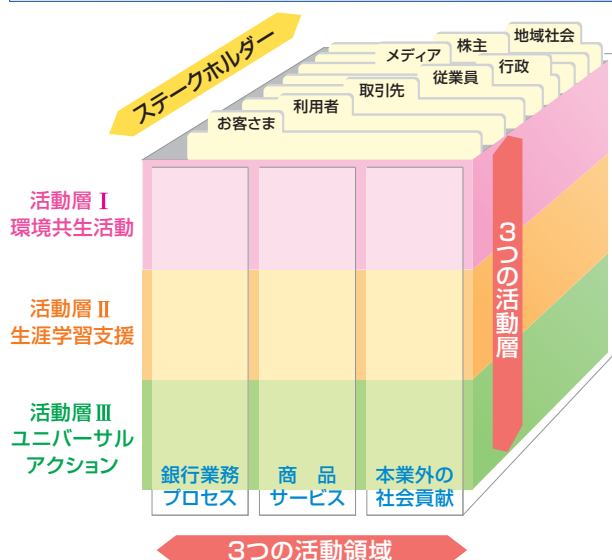
活動層Ⅱ 生涯学習支援

次世代を担う子どもの豊かな感受性、人間性の形成はもちろんのこと、すべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援していきます。また、企業市民としての『法人』を対象とした各種啓蒙活動にも取り組みます。

活動層Ⅲ ユニバーサルアクション

店舗チャネルなどのハード面や、商品・サービスなどのソフト面、従業員一人ひとりの対応といったヒューマン面において、高齢者、障がい者、子ども、女性などに特定しない『みんなに優しい』をキーワードにした、デザイン、機能、サービスを充実させる活動を展開します。

■3つの活動領域と3つの活動層の組み合わせ(CSR CUBE)



3つの活動領域と3つの活動層の最適な組み合わせ＝バランスのとれたCSR経営を展開することで、社会の変革と新たな価値創造に挑戦していきます。

また、社会のCSRに対する関心の高まりを踏まえ、事業活動を通じたステークホルダーへの価値提供に係る各種情報をCSR視点で収集・体系化のうえ、正確かつ分かり易い内容で積極的に開示していきます（ホームページ、ディスクロージャー誌等で情報開示を行います）。

■環境共生活動

環境への取り組み

当社グループでは、平成21年4月にグループ共通の環境方針を策定し、環境問題に対して、自らの環境負荷の抑制・軽減に努めるとともに、「金融」が持つ役割・機能を通じて、環境保全につながる商品やサービスを積極的に提供しています。

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」

オリジナリティと地域密着を目指し、地元九州の環境に配慮した経営を行う企業の取り組みをFFG独自の「環境格付」で評点化、金利優遇を行う商品を取り入れています。

エコ活動

当社グループ独自の節電プログラムを展開し、電力使用量の削減に努めています。また、太陽光発電や営業店のATMコーナーへのLED照明の採用など、エコオフィス化も推進しています。

あわせて、社員一人ひとりの環境保全への意識向上を目指し、新入行員による植林ボランティアや支店独自の取り組みも積極的に実施しています。

FFGの環境方針4つの柱

(1)環境マネジメントシステム(EMS)の継続的实施

- 地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
- 活動を評価し、必要な見直しを行うなど、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

(2)本業を通じた環境面への取り組み

- 本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。

(3)環境配慮活動の実施

- 省エネ・省資源活動への取り組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。

(4)全役職員への周知と徹底

- 本方針を当グループ全役職員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

■生涯学習支援

金融を通じてのライフサポート

金融についての正しい知識を身につけ、合理的な判断をしていただけるよう、各種金融教育支援活動を展開しています。

平成27年度下半期は新たに、専門学校卒業生を対象とした貯蓄の難しさやお金のお客を学ぶマネーセミナー(熊本銀行)や、親子で参加できる教育資金に関する「子どもの未来応援セミナー」(福岡銀行)を開催しました。

次世代を担う子どもたちへ

子どもたちに「働くこと」の意義や「金融・銀行」の社会的な役割などを身近に楽しく学ぶ機会を提供しています。

グループ3行で、大学生・大学院生向け「FFGインターンシップ」を開催しています。就業体験機会の提供はもちろん、レクチャー・課題解決・コミュニケーションを通じて、「銀行の仕事・働くことの意義」を伝えています。

また、活字離れが進む中、子どもたちへ豊かな感受性や人間形成に役立つ「学び」を提供することを目的に、グループ3行で計747冊の図書を9校へ寄贈しました。

文化芸術・スポーツ活動

さまざまなイベントを通じて、地域の文化芸術・スポーツ活動を応援しています。

小学生から70代まで総勢約160名が参加した「テニス教室」(熊本銀行)では、レベルに応じた指導や試合で気持ちのよい汗を流しました。

2回目となる「親和銀行5時間リレーマラソン」では全354チーム・2826名が参加し、大盛況となりました。

生き物や生態環境に触れる「自然学習」の機会を提供するため、児童養護施設の子どもたち約800名を水族館へ招待しました(福岡銀行)。



専門学校卒業生向けマネーセミナー



インターンシップ



テニス教室



水族館貸切招待イベント

■ ユニバーサルアクション

「みんなに優しい」銀行を目指して

障がいのある方や高齢の方などに特定せず、誰もがもっと利用しやすい銀行を目指して、バリアフリー機能を備えた店舗への建替えリニューアルを進めるとともに、全店に「車椅子」「助聴器」「コミュニケーションボード」など各種ユニバーサルツールを配置しています。

また、全店配置の「お客様責任者（サービス介助士2級保有）」、「ユニバーサルマナー検定導入」などにより、知識・技術の習得に努めています。グループ3行で視聴している朝礼DVDでは、手話トレーニングに加え、外国語でのあいさつやお声かけのマナーなどを取り入れて、応対力の向上を目指しています。

「みんなに優しい」店舗づくり

店舗のバリアフリー化
お客様責任者・サービス介助士の
全店配置
普通救命講習受講者の配置
認知症サポーターの配置
下記ユニバーサルツールの
全店設置

(AED・車椅子・老眼鏡・視覚障がい者対応ATM・コミュニケーションボード(聴覚障がいがある方・外国人)・耳マーク案内板(筆談でのご案内)・助聴器・貸傘)



多目的トイレ



座ったままご利用いただける記帳台



手話トレーニング



ユニバーサルマナー検定の導入

ユニバーサルマナー検定

社員一人ひとりが自分とは違う誰かのことを思いやり、相手の立場に立って適切な対応ができる「心遣い」を身に付けることを目的に、日本ユニバーサルマナー協会が運営する「ユニバーサルマナー検定3級」を全国地銀で初めて本格導入しました。平成28年3月末現在で、FFG従業員約600名が取得しています。

ほじょ犬ステッカー

グループ銀行の全店が「盲導犬・聴導犬・介護犬」を受け入れる施設であることを明示する「ほじょ犬ステッカー」を店頭に貼付しています。社員の補助犬についての理解を通じて、より多くのお客さまへのサポートを目指しています。



ほじょ犬ステッカー

ユニバーサル対応ATM

ご高齢の方やさまざまな色覚特性があるお客さまなどでも視認しやすい「カラーユニバーサルデザイン」を採用し、色・形・大きさ・レイアウト等に配慮しています。また、外国人のお客さまの利便性向上のため、平成28年4月以降、グループ3行の全ATMに多言語対応機能(英語・韓国語・中国語)を導入しています。



多言語選択画面

地域貢献活動

ふるさと振興基金

地域の産業・文化支援を目的に、助成金事業「ふるさと振興基金」を実施しています。優れた町おこし活動、県産品の開発、学校教育活動、学術研究活動などに対して、平成27年度下半期は、22先へ総額557万4千円を助成しました。

中小企業育成支援

ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団(略称:キューテック)は、地域の技術指向型中小企業に対して、研究開発および人材育成に対する助成、企業戦略についての講演会の開催などの各種事業を実施しています。

また、中小企業が行う優れた新技術や新製品等の研究開発の支援策として毎年「キューテック助成金」の交付も行っていきます。

当社は、グループ全体のガバナンス態勢の強化及びリスクコントロール態勢の確保、ならびに内部管理態勢の構築をはじめとした持株会社としての機能（子銀行及びその子会社の経営管理）を適時適切に発揮するため、以下の経営機構・業務機構態勢で運営にあたります。

コーポレートガバナンス体制

■取締役会及び取締役

取締役会は14名以内（社外取締役を含む）とし、法令・定款で定める事項のほか、グループ経営に係る基本方針の協議・決定や、子銀行の経営管理、業務執行等における重要な事項についての意思決定を行っております。

■監査役及び監査役会

監査役は5名以内（社外監査役を含む）とし、グループ全体の監査に係る基本方針及び監査計画に基づき、取締役の職務執行状況の監査のほか、グループ全体の業務及び財産の状況等についての調査を行っております。

■監査役室

監査役制度を有効に機能させるため、監査役をサポートする専属スタッフを配置しております。

■グループ経営会議

取締役会で定める基本方針や委嘱された事項に基づき、グループ経営計画やグループ業務計画等の業務執行に関する重要な事項を協議しております。

■グループリスク管理委員会

グループ全体の各種リスク管理態勢に係る協議のほか、資産ポートフォリオ管理、コンプライアンスに関する事項等についての協議・報告を行っております。

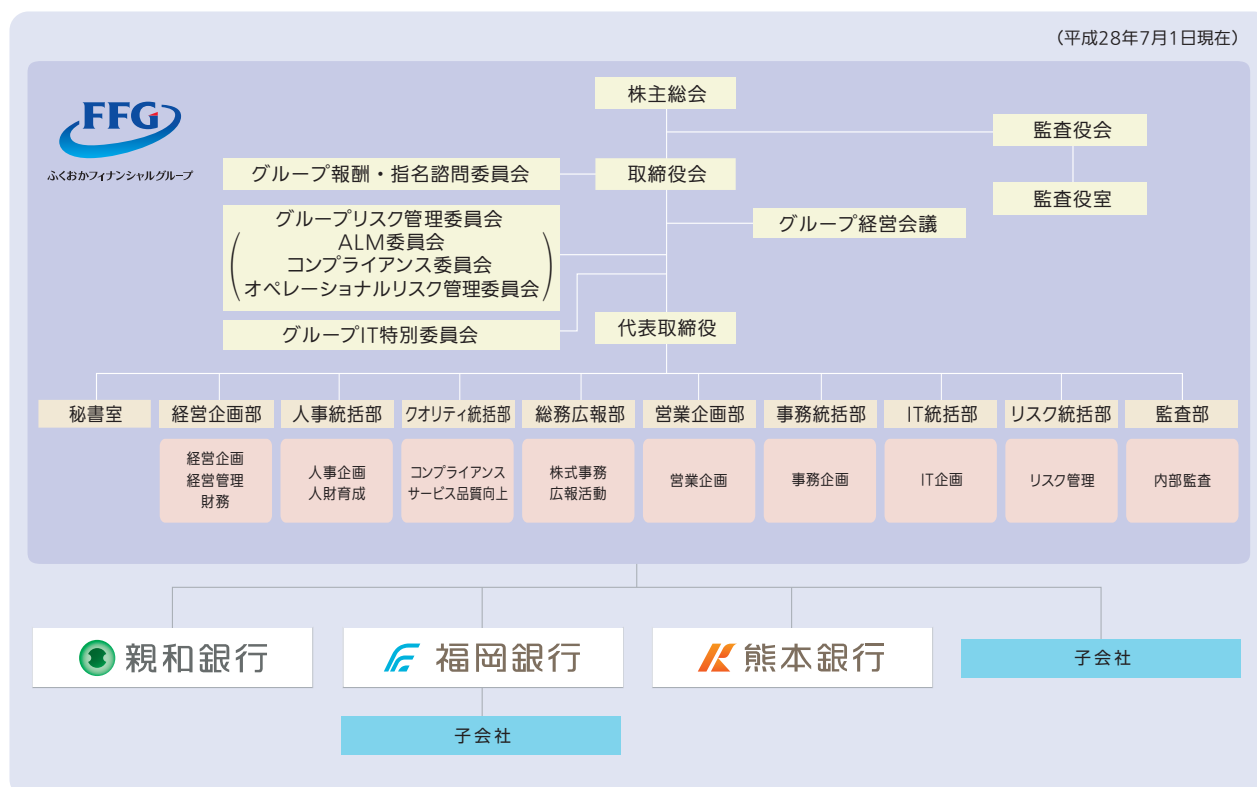
■グループIT特別委員会

グループ全体のITガバナンスの強化を図るため、IT戦略やシステムリスク管理強化及びシステム投資等について、協議を行っております。

■グループ報酬・指名諮問委員会

経営の透明性と公正性を高めるため、取締役会の諮問機関として、取締役等の選解任に関する事項や取締役等の報酬に関する事項等を審議しております。

●コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンス(法令等遵守)は、信用が最大の財産ともいえる金融機関にとって最も重要なテーマのひとつであり、当社グループでは、コンプライアンスを経営の最重要課題のひとつと位置づけ、コンプライアンス態勢の充実と強化に取り組んでいます。

コンプライアンス憲章

■信頼の確立

社会的責任と公共的使命の重要性を常に認識し、健全かつ適切な業務運営を通じて、お客さまや社会からの長期にわたる揺るぎない信頼の確立を図ります。

■地域社会への貢献

お客さまの満足をお客さまの目線で考え、お客さまのニーズに適合した質の高い金融サービスの提供を通して、地域社会・経済の発展に貢献いたします。

■法令等の厳格な遵守

あらゆる法令やルールを厳格に遵守することはもとより、社会的規範に則り、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

■情報の適切な管理

お客さまに関する情報および業務上の機密情報について、適切な管理と保護を徹底いたします。

■社会とのコミュニケーション

適時適切な情報開示を積極的かつ公正に行い、経営の信頼性・透明性の確保に努めるとともに、環境への取り組みをはじめ、広く社会とのコミュニケーションを行います。

■人権の尊重

全ての人の基本的人権を尊重するとともに、日々の研鑽により人権感覚を醸成し、人間尊重を基本とした企業活動を行います。

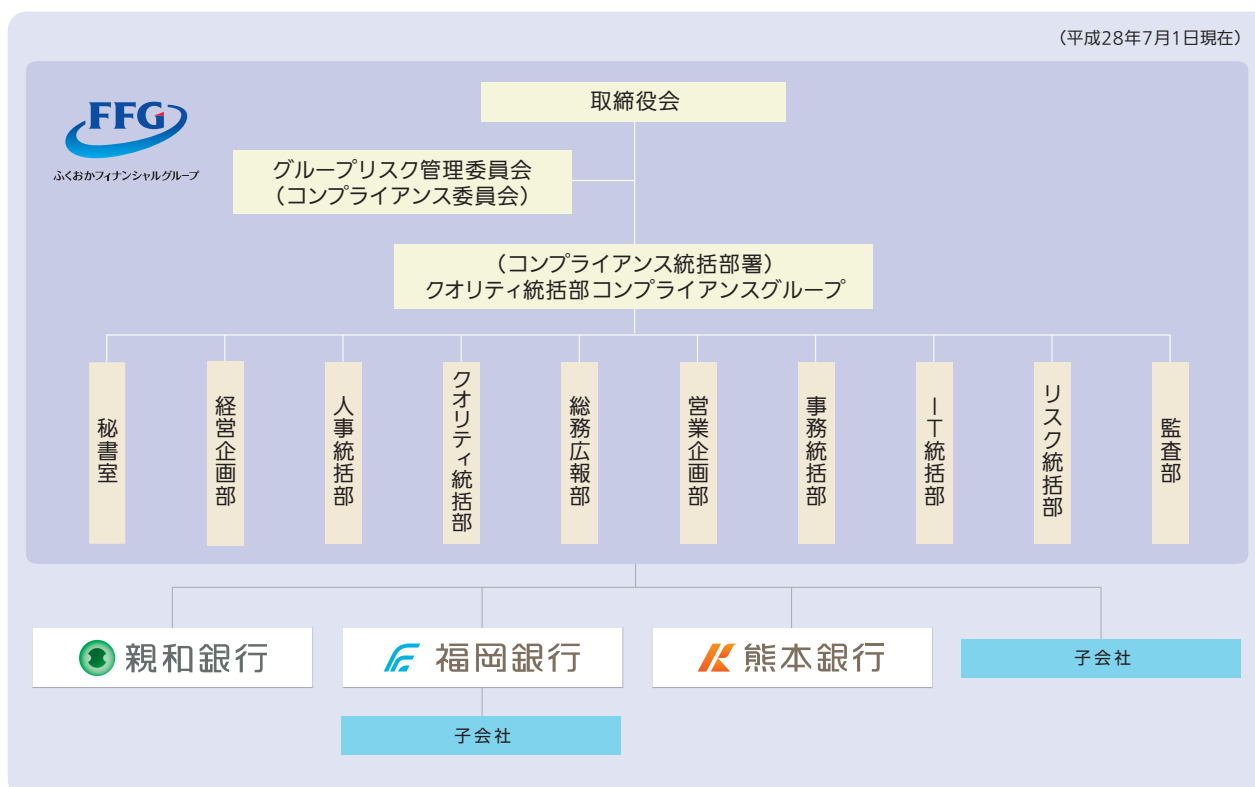
■反社会的勢力に対する対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対しては、毅然とした態度を貫きます。

■経営陣の率先垂範

経営陣および各部門の責任者は、本憲章の精神を実現することの重要性を認識し、率先垂範のうえ、グループ内に周知徹底します。本憲章に反するような事態が発生した場合は、自ら問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明、再発防止に努めます。

●コンプライアンス体制



基本方針

コンプライアンスに関するグループ共通の基本的な価値観、精神、行動基準を示した「コンプライアンス憲章」を制定するとともに、倫理規程・行内ルールおよび法令等を集大成した「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、研修指導等により周知徹底しています。また、コンプライアンス等を確実に実践していくための具体的な実践計画として「コンプライアンス・プログラム」を年度毎に策定し、コンプライアンス等に関わる規程の一層の整備等に取り組んでいます。

コンプライアンス運営体制

「ふくおかフィナンシャルグループ」「福岡銀行」「熊本銀行」「親和銀行」それぞれにコンプライアンス統括部署を設置し、関係各部と連携して各種法令や社会常識に則った業務処理が行われているかをチェックする態勢を整備しています。また、取締役会の下部組織として、「コンプライアンス委員会」を設け、コンプライアンス態勢および顧客保護等管理態勢の評価・チェックを定期的に行っています。

顧客保護・個人情報保護

当社および当社グループ会社は、法令やルールを厳格に遵守し、社会規範に則った、誠実かつ公正な企業活動を遂行するとともに、お客さまの正当な利益の保護や利便性の向上に向けた継続的な取り組み（金融円滑化の観点や金融ADR制度の観点からの顧客保護を含む）を行っています。また「顧客保護等管理方針」を制定する等、顧客保護等管理態勢の整備を行っています。

特に、金融商品販売における利用者保護に関しては、当社および子銀行それぞれに金融商品管理部署を設置し、金融商品取引法への対応はもちろんのこと、金融商品全般の管理とそれぞれの取引についてのモニタリングを行い、顧客保護等管理態勢強化にグループ全体で取り組んでいます。

お客さまからの相談、要望および苦情等については、公正・迅速・誠実に対応し、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めるとともに、お客さまの正当な利益が保護されるよう努めています。お客さまから頂きましたご意見・ご要望は、当社および子銀行全体で真摯に受け止め、取り組みの改善に役立てています。

個人情報につきましても、お客さまの個人情報の適切な保護と利用を図るため「個人情報保護宣言」を制定・公表しています。また、各種規程を整備し、各部署内に個人情報管理者を配置するとともに、従業員に対し、個人情報の取扱いに関する研修を継続的に行い、適切な取扱いに努めています。

反社会的勢力の排除

当社および当社グループ会社は、反社会的勢力の対応所管部署を定めるとともに、警察、弁護士等外部専門機関とも連携し、反社会的勢力からの不当要求や介入等に対しては、毅然とした態度で取引防止に努めています。また、具体的な規定および「コンプライアンス・マニュアル」を定めるとともに、従業員向けの研修を定期的実施しています。

指定紛争解決機関制度への対応

当社グループ3行は、公正中立な立場で苦情および紛争の解決を図るため、以下の指定紛争解決機関と手続実施基本契約を締結しています。

	福岡銀行・熊本銀行・親和銀行	福岡銀行
指定紛争解決機関の名称	一般社団法人全国銀行協会	一般社団法人信託協会
連絡先	全国銀行協会相談室	信託相談所
電話番号	0570-017109 または 03-5252-3772	0120-817335 または 03-6206-3988

リスク管理について

金融の自由化・グローバル化やIT技術の発展につれ、銀行にとってのビジネスチャンスが拡がりを見せる一方で、銀行が直面するリスクは一段と多様化・複雑化しています。こうした環境下、リスクを特定し、把握・分析した上で、適切にコントロールしていくリスク管理の重要性は従来にも増して高まっています。

当社グループでは、業務遂行上のさまざまなリスクを可能な限り統一的な尺度で計測し、統合的に把握した上で、「健全性の維持」と「収益力の向上」を両立させるバランスの取れた経営を目指して、グループ全体のリスク運営を行っています。

また、当社グループでは地域に根ざした「福岡銀行」「熊本銀行」「親和銀行」の3ブランドを活かした広域展開を図りながら、共通化した経営インフラによるシングルプラットフォーム型の効率的な経営展開を行っています。

リスク管理に関しても、各種リスク管理手法の高度化やインフラ整備を共通のリスク管理プラットフォームにおいて水平的に展開する態勢としています。

規程体系の面では、リスク管理に係るグループ内の共通規範として『リスク管理方針』を制定するとともに、年度毎にリスク管理施策上のアクションプランとして『リスク管理プログラム』を策定し、グループ全体でリスク管理態勢の強化・高度化を推進しています。

■リスクの分類と定義

当社グループでは、業務遂行から生じるリスクを可能な限り網羅的に洗い出し、下表のリスク種別に分類したうえで、それぞれのリスクの性質に応じた管理を行っています。

また、各リスクの管理手法に関しては、リスク計測技術の高度化などに応じて継続的な見直しを行い、より実効的な運営に努めています。

■管理対象リスクの区分

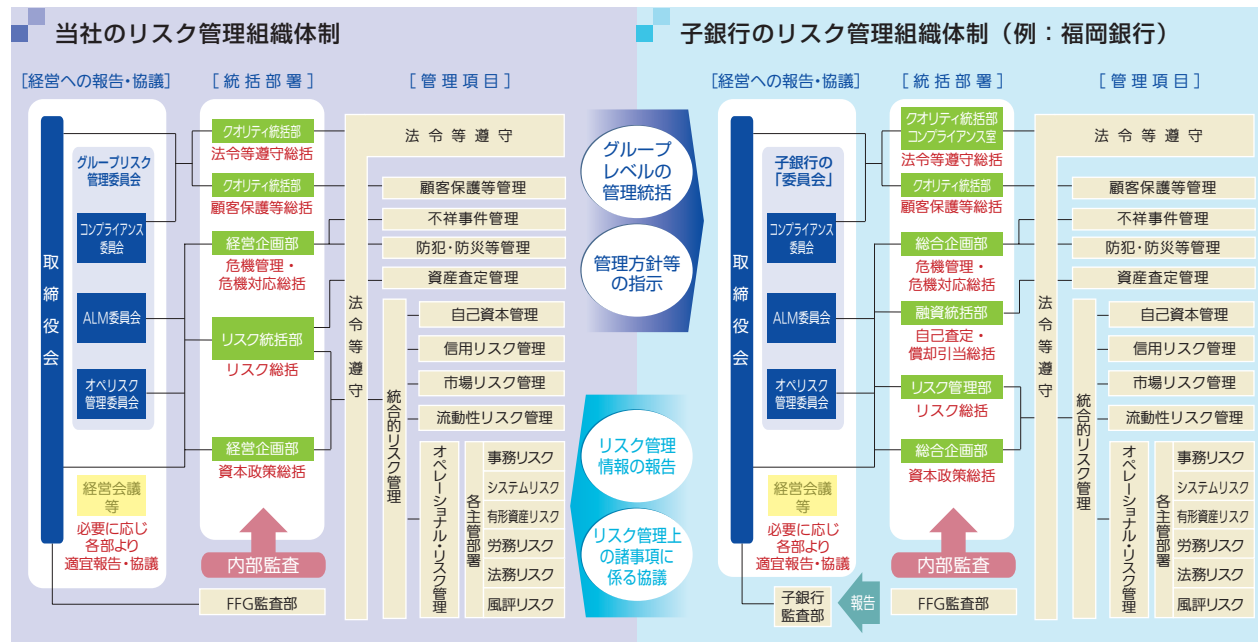
リスクカテゴリー	定 義	管理手法
信用リスク	信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し損失を被るリスク	V a r 統 合 リ ス ク 管 理
市場リスク	金利、為替、株式等のさまざまな市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、および資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスク	
金利リスク	資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で、金利が変動することにより利益が減少するないし損失を被るリスク	
価格変動リスク 為替変動リスク	有価証券等の価値が変動し損失を被るリスク 外貨建資産・負債についてネット・ベースで資産超または負債超のポジションを有する場合に、為替の変動により損失を被るリスク	
オペレーショナル・リスク	業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること、または外生的な事象により損失を被るリスク 下記のサブ・カテゴリーに分類して管理	一 定 の 定 量 的 尺 度 に よ る 管 理
事務リスク	役職員およびその他組織構成員（パートタイマー、派遣社員等）が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクおよびこれに類するリスク	
システムリスク	コンピューターシステムのダウンまたは誤作動等、システムの不備等に伴い損失を被るリスク、さらにコンピューターが不正に使用されることにより損失を被るリスクおよびこれに類するリスク（災害や社会インフラの事故等によるものも含む）	
有形資産リスク	災害、犯罪または資産管理の瑕疵等の結果、有形資産の毀損により、損失を被るリスク	
労務リスク	労務慣行の問題（人事処遇の問題、勤務管理上の問題および組合活動の問題をいう）、並びに職場の安全衛生環境の問題に起因して損失を被るリスク、および役職員の不法行為により使用者責任を問われるリスク	
法務リスク	法令や契約等に違反すること、不適切な契約を締結すること、その他の法的原因により、損失を被るリスク	
風評リスク	顧客やマーケット等において、事実と異なる風説、風評で評判が悪化することにより損失を被るリスク、および不適切な業務運営等が明るみに出ることにより、信認が低下し、業務運営に支障をきたすリスク	定 性 的 評 価 に よ る 管 理
流動性リスク		
資金繰りリスク	運用と調達の間隔のミスマッチや予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク	
市場流動性リスク	市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク	

リスク管理について

■当社グループにおけるリスク管理体制

当社グループは、当社および各子銀行により構成される「グループリスク管理委員会」を設置し、グループが抱えるさまざまなリスクの状況をモニタリングするとともに、内部環境や外部環境の変化に即したリスク運営施策を協議しています。

また、グループ子銀行においても、当社と同様のリスク管理体制を設け、当社と緊密に連携しながらグループとして統合的なリスク管理を行っています。



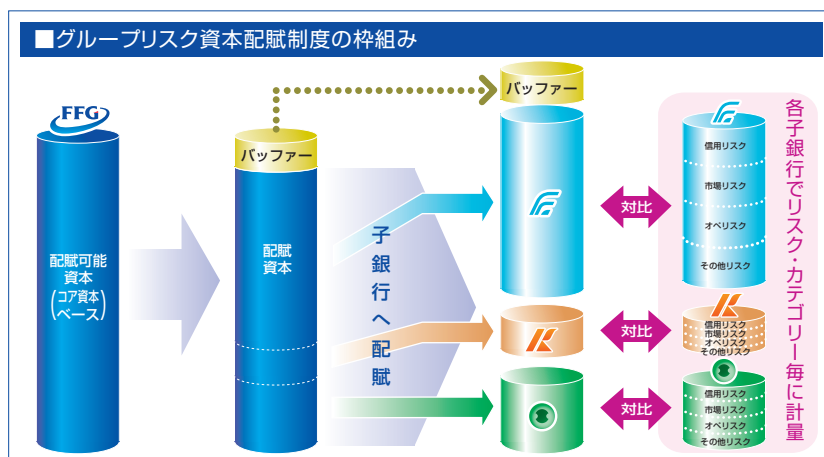
統合的リスク管理

■統合的リスク管理とは

- 「統合的リスク管理」とは、金融機関の直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれない与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク等のリスクも含めて、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等のリスク・カテゴリー毎に評価したリスクを統合的に捉え、金融機関の自己資本と対比することによって管理を行うことをいいます。
- 当社グループは、「金融機関の業務が多様化・複雑化する中で、銀行の健全性・適切性を確保しつつ限られた資本を有効活用することで経営の効率性や収益性を高めるため、銀行のリスク・プロファイルを踏まえた適切な統合的リスク管理態勢を整備・確立する」という方針のもと、各種リスクをVaR等の統一的な尺度で計り、各種リスクを合算して、当社グループの連結自己資本と対比することによって統合的リスク管理を行っています。

■リスク資本配賦制度

- 当社グループでは統合的リスク管理の枠組みのもとで、リスク資本配賦制度を導入しています。
- 具体的には、当社グループの連結自己資本(コア資本)をベースに、「配賦資本」を設定し、残余部分については定量的に計測困難なリスク等に対するバッファとして確保する枠組みです。
- 「配賦資本」は、福岡銀行、熊本銀行および親和銀行へそれぞれ配賦され、月次でのモニタリング・管理を行います。



自己資本管理

- 当社グループでは、自己資本充実度を適切に管理し、リスクに見合った十分な自己資本を確保することにより、グループ全体の業務の健全性・適切性を維持するよう努めています。
- 具体的には、「規制資本」（自己資本比率規制上の所要自己資本）と、「経済資本」（統合的リスク管理に基づく所要リスク資本）の両面から、当社グループの自己資本充実度をモニタリングし、資本健全性に問題が生じない形で業務運営を行っています。
- また、自己資本充実度の検証の一環として、定期的にストレス・テストを実施しています。これは、企業倒産や担保価値の下落などによる信用コストの増大や、金利や為替等の相場変動による保有有価証券の損失発生などに関し、複数のシナリオを設定したうえで、ストレス状況下での資本健全性を確認するもので、規制資本、経済資本の両面で実施しています。

■リスク・アセット計測手法

自己資本比率規制におけるリスク・アセット計測手法については複数の選択肢が設けられており、適用状況は右表のとおりです。

信用リスク	オペレーショナル・リスク
基礎的内部格付手法 	粗利益配分手法
標準的手法 	

※ふくおかフィナンシャルグループの連結自己資本比率算出上は、熊本銀行および親和銀行についても基礎的内部格付手法により算定した計数を使用します。

◇リスク・ウェイト判定に使用する適格格付機関

標準的手法のリスク・ウェイト判定には下記の適格格付機関を統一的に使用しています。

- ・株式会社格付投資情報センター (R&I)
- ・株式会社日本格付研究所 (JCR)
- ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス (Moody's)
- ・S&Pグローバル・レーティング (S&P)

◇当社および福岡銀行において基礎的内部格付手法を部分的に適用していないエクスポージャーの性質、適切な手法に完全に移行させるための計画

基礎的内部格付手法を適用している当社および福岡銀行において、一部の資産および関連会社について、標準的手法を適用しています。

1. 基礎的内部格付手法の適用を除外する資産・関連会社

当社および福岡銀行では、下記の資産および関連会社について、残高が極めて僅少であること、個々の債権の信用リスクの詳細な把握に向けた取組みがリスク管理の観点から極めて重要性に乏しいこと、信用供与を主要業務としていない事業単位であること等の理由から、基礎的内部格付手法の適用除外とし標準的手法により信用リスク・アセットを算出しています。

また、今後につきましても、継続的に標準的手法で算出する予定です。

(資産)

- ・与信性を除く仮払金
- ・受入手数料等にかかる未収収益
- ・預金に内包されているデリバティブ取引
- ・トラベラーズ・チェックおよび外貨小切手の買取等

(関連会社)

- ・福銀事務サービス株式会社
- ・福岡コンピューターサービス株式会社
- ・ふくおか証券株式会社
- ・成長企業応援投資事業有限責任組合
- ・iBankマーケティング株式会社(※)
- ・福銀不動産調査株式会社
- ・株式会社FFGビジネスコンサルティング
- ・株式会社FFGカード
- ・株式会社ふくおかテクノロジーパートナーズ(※)

※平成28年6月期より、基礎的内部格付手法の適用を除外する関連会社としています。

2. 基礎的内部格付手法を段階的に適用する資産・関連会社

該当ありません。

信用リスク管理

信用リスクとは、「信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し損失を被るリスク」をいいます。

信用リスクは当社グループが保有する主要なリスクであり、資産の健全性を維持しつつ適正な収益をあげるうえで、適切な信用リスク管理を行うことは銀行経営における最も重要な課題のひとつとなっています。

当社グループの信用リスク管理は、福岡銀行で培った信用リスク管理の手法やノウハウを当社グループ共通のプラットフォーム上で、格付制度・審査手法・信用ポートフォリオ管理手法等を、熊本銀行および親和銀行でも導入・活用する形で、マルチブランド、シングルプラットフォームという当社グループの経営展開に即した態勢としています。

当社グループでは、グループ全体の信用リスク管理に関する基本方針を「リスク管理方針」に定め、その方針に基づき与信業務を適切に運営するための基本的な考え方、判断・行動の基準を明記した「与信の基本方針（クレジット・ポリシー）」をグループ3行毎に定めています。

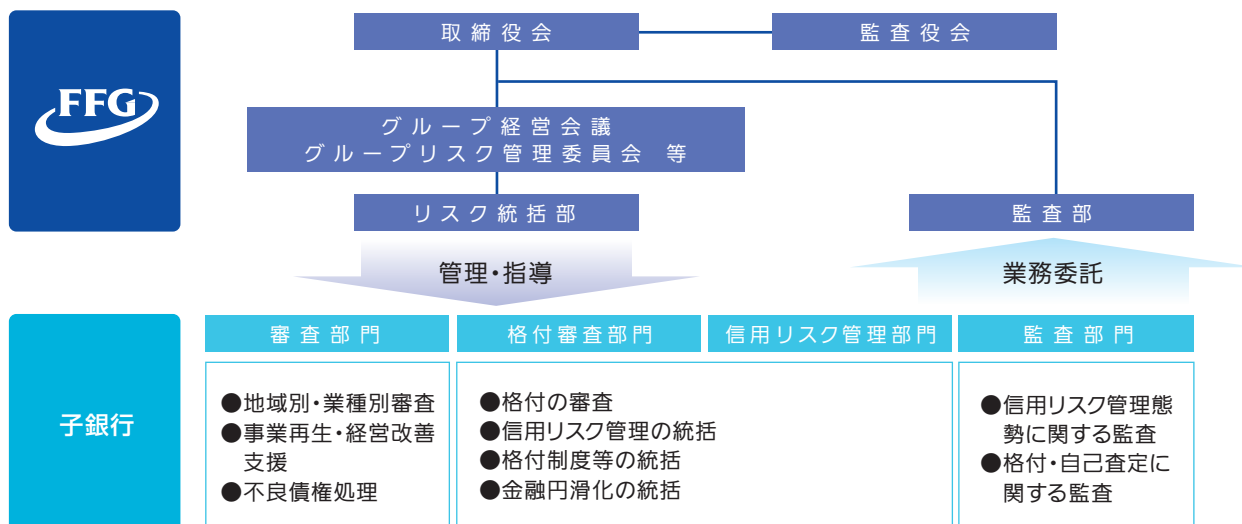
また、信用リスクに関するアクションプランを定めた「リスク管理プログラム」では、グループの信用リスク管理態勢の強化、グループの信用ポートフォリオ運営の高度化等を掲げています。

■信用リスク管理体制

信用リスク管理体制として、当社のリスク統括部がグループ全体の信用リスク管理方針の策定、格付制度の管理等、信用リスクの管理・運営を統括しています。

個別案件の審査はグループ3行の審査所管部が、格付制度に基づく格付審査はグループ3行の格付審査部門が中心となって、営業店とともに実施し、並行与信先等に関するグループレベルの管理を当社のリスク統括部が行います。

監査業務は、グループ3行からの業務委託契約に基づき、グループ3行の各監査部署から独立した立場の当社監査部が格付・自己査定の正確性、信用リスク管理態勢の適切性等の監査を行います。経営への報告として、当社監査部は当社の取締役会に、グループ3行の各監査部署は当社監査部からの監査結果報告を受け各行の取締役会に報告しています。



■信用リスク評価・信用リスク計量化

個別与信および与信ポートフォリオ全体の信用リスクを適切に管理するため、格付制度等に基づき与信先および案件毎の信用リスクの程度を適切に評価するとともに信用リスクの計量化を行い、信用リスクを定量的に把握・管理しています。

(1) 内部格付制度

当社グループの内部格付制度は、大きくは①債務者格付、②案件格付、③リテール・プール管理および④パラメータ推計から構成されています。

信用リスク管理

■内部格付制度体系

格付手法	資産区分	エクスポージャーの種類	パラメータ推計
債務者格付	事業法人向けエクスポージャー	法人や個人事業主に対する事業性の貸出金や債券等	PD
	ソブリン向けエクスポージャー	国、地方公共団体等に対する貸出金や債券等	
	金融機関等向けエクスポージャー	銀行に対する預け金、コールローン等 証券会社に対する貸出金等	
	株式等エクスポージャー	株式、出資金等	
	特定貸付債権	不動産ノンリコースローン、プロジェクトファイナンス等	
	証券化エクスポージャー	CMBS、小口多数の金銭債権プールを裏付けとしたABL・信託受益権等	
リテール・プール管理	居住用不動産向けエクスポージャー	住宅ローン	PD LGD EAD
	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	カードローン、キャッシング、ショッピング	
	その他リテール向けエクスポージャー(事業性)	事業性の与信残高が一定未満の先に対する貸出金(アパート・ローン、小口事業貸出商品等)	
	その他リテール向けエクスポージャー(消費性)	消費性ローン(オートローン、学資ローン等)	

①債務者格付

与信先の債務履行の確実性を表すもので、財務内容の情報をスコアリングした結果等に基づいて事業法人等を対象に付与します。債務者格付は少なくとも年1回は定期的に見直すほか、与信先の信用状況に変化があれば随時見直しを行うことで、個々の与信先やポートフォリオの状況を適時に把握できるようにしています。

また、この債務者格付は、法令等に基づく「債務者区分」(注1)や「債権区分」(注2)等とリンクしているほか、自己査定および償却・引当の基礎としても使用するもので、信用リスク管理の中核として位置付けています。

■債務者格付と債務者区分、債権区分、内部格付手法のデフォルト区分との対応関係

格付ランク	債務者格付		債務者区分 (注1)	債権区分 (注2)	デフォルト区分	
	リスクの程度	定義			償却・引当	内部格付手法
1	リスク無	債務償還の確実性は最高水準であり、かつ安定している	正常先	正常債権	非デフォルト	非デフォルト
2	リスク僅少	債務償還の確実性は極めて高く、かつ安定している				
3	リスク小	債務償還の確実性は高く、かつ安定している				
4	平均比良好	債務償還の確実性は十分であるが、将来低下する可能性が存在する				
5	平均的水準	債務償還の確実性は当面問題ないが、将来低下する可能性がある				
6	許容範囲	債務償還の確実性は当面問題ないが、将来低下する可能性が高い				
7	平均比低位	債務償還の確実性は現状問題ないが、将来低下する懸念がある				
8	要注意1	債務償還上問題が顕在化しており、今後の管理に注意を要する	要注意先	要管理債権	非デフォルト	デフォルト
9	要注意2	債務償還上重大な問題が顕在化しており、今後の管理に細心の注意を要する (以下のいずれかに該当 ・3ヵ月以上延滞している貸出債権がある先 ・貸出条件緩和債権がある先)				
10	破綻懸念	経営難の状況にあり、今後経営破綻に陥る可能性が大きい				
11	実質破綻	法的・形式的な破綻には至っていないが、実質的に経営破綻の状態にある				
12	破綻	法的・形式的な破綻となっている	破綻先	危険債権 破産更生債権 およびこれらに準ずる債権	デフォルト (注3)	

(注1) 金融庁が公表している金融検査マニュアルで定められている、与信先の債務返済能力等に応じた区分です。

(注2) 「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」第6条の規定により、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に定める資産の査定の基準に基づき定められている、債務者の財政状態および経営成績等を基礎とする区分です。

(注3) 破綻懸念先は、その一部をデフォルトとして認識しています。

信用リスク管理

②案件格付

事業法人等を対象に、保全状況等に基づいて案件格付を付与し、与信案件ごとの回収確実性を把握します。

③リテール・プール管理

リテール向けエクスポージャーについて、リスク特性が類似したプール区分を設定し、各エクスポージャーをプール区分に割当てることにより、プール単位での信用リスク管理を行うものです。

具体的には、4つの資産区分等（居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー、その他リテール向けエクスポージャー（事業性）、その他リテール向けエクスポージャー（消費性））ごとに、リスク特性に応じてPD・LGD・EADの似通ったプール区分を設定した上で、各エクスポージャーを当該プールに割当て、リテール・ポートフォリオの信用リスクの状況を把握します。

■リテール・プール区分の概要

資産区分 プール区分	居住用不動産向け エクスポージャー	適格リボルビング型 リテール向け エクスポージャー	その他リテール向けエクスポージャー	
			事業性	消費性
PDプール区分	延滞の状況、取引先の属性や取引状況、商品の種類等により、デフォルトの可能性に応じたプールに区分しています。			
LGDプール区分	担保の状況、商品の種類、残高等により、損失の可能性に応じたプールに区分しています。			
EADプール区分		商品の種類、延滞の状況、極度枠の利用状況等により、デフォルト時の追加引出の可能性に応じたプールに区分しています。		

④パラメータ推計

債務者格付ごとにPDを、リテール・プール区分ごとにPD・LGD・EADを推計し、自己資本比率計算での利用以外に、同一のパラメータ値によりリテールポートフォリオの信用リスク計量を行っています。

また、事業法人等については、同一のデータソースを用いて償却・引当、信用リスク計量等に用いるPD値を算定しています。

各パラメータは、原則として過去5年以上の実績データを基に、推計誤差や景気変動を勘案した値を算定しています。パラメータの推計値は、原則として年1回以上のサイクルで検証を行い、必要に応じて見直しを行う態勢としています。

(2) 内部格付制度の管理と検証手続

当社グループでは、内部格付制度の管理と検証について以下の態勢を構築しています。

①債務者格付

規程に則った格付制度の運用が、格付審査部門や営業店において行われていることを適宜検証しているほか、格付制度や格付モデル等の客観性、有意性、適切性等について定期的に検証を行い、格付制度やモデルの調整・改定の要否などについての必要な対応を検討する態勢としています。

②案件格付

デフォルト案件の回収実績データを継続的に蓄積することで、案件格付と回収実績を比較し、案件格付の検証を実施できる態勢としています。

③リテール・プール管理

リテール・プール区分の精度、およびプールの序列やプールごとのパラメータ推計値の安定性、リテール・プール区分の調整・改定の要否など、必要な対応を検討する態勢としています。

④パラメータ推計

パラメータ推計値の正確性や一貫性等についてバック・テスト（二項検定、正規検定等）により検証を行い、パラメータ推計値の調整や推計手法の改定の要否など、必要な対応を検討する態勢としています。

(3) 信用リスク計量化

信用リスクを合理的に把握し、自己資本政策の効率的運用と適切な与信条件の提示のために、信用リスクの計量化を実施しています。この計算結果を基に、リスク資本の配賦や与信ポートフォリオ管理を実施しています。

信用リスク管理

■個別与信管理の枠組み

個別案件の審査にあたっては、事業計画の妥当性や資金使途の確認、返済財源の把握、技術開発力・商品等の競争優位性、経営管理など幅広い観点から分析・評価を行い、併せて担保等による債権保全の妥当性を検証するなど営業店および本部審査部門双方の段階において、的確かつ厳正な与信判断を行っています。さらに、与信後においても、各種信用情報の収集、業界動向の分析、財務データの更新・分析、格付判定による業態の把握、担保評価の定期的な洗い替え、延滞管理の強化などのフォロー管理を徹底し、不良債権発生についての予防的な管理、発生時の迅速かつ適切な対応に努めています。

本部審査部門では、業種や信用状況に応じた担当割りを行い、きめ細かな案件審査や営業店指導を行うとともに、本部・営業店間の情報交換を緊密に行い、与信先の業態の変化などに即応できる体制をとっています。

また、人財の育成とノウハウの蓄積を進めるとともに、外部機関等との連携体制を構築するなど、経営改善の早期実現に取り組んでいます。

■担保・保証による信用リスクの削減

当社グループでは、与信取組みに際し担保・保証に安易に依存することなく、お取引先の経営状態、資金使途、返済能力等を総合的に勘案した与信判断を行っています。お取引先の業況変化等を完全に予測することは不可能であり、不測の事態への備えとして担保・保証による信用リスクの削減を補完的に行うことは重要であると考えています。

自己査定や償却引当、基礎的内部格付手法による自己資本比率算出における主要な信用リスク削減効果は、国、地方公共団体、信用保証協会等の信用リスクが低い先による保証、および不動産等の担保によるものです。

不動産担保については、営業部門から独立した当社グループ会社の福銀不動産調査株式会社が評価を行っています。同社では、原価法・取引事例比較法・収益還元法などを物件特性等に応じ適用し、定期的な評価見直しによる不動産価格変動等の反映、ゴルフ場など特殊大型物件についての不動産鑑定士の評価取得など、精度の高い評価を行っています。

また、自己資本充実度管理を行う上で、地価下落等による担保価値変動リスクを織り込んだストレス・テストのシナリオを設定し、不動産担保へのリスク集中の影響を勘案しています。

◇自己資本比率計算における信用リスク削減手法の適用

1. 標準的手法

以下の信用リスク削減手法を勘案しています。

いずれも、契約書を締結し、対象物件の占有や登記等による法的有効性を確保しています。

- ・ 貸出金との相殺が可能な自行預金（一定要件を満たした定期預金などが対象で、貸出金、預金とも残高、期日等を日次で把握しています）
- ・ 適格金融資産担保（預金、国債、上場株式・債券等で、価格変動が生じる上場株式・債券等については、日次での評価見直しが可能なものに限定しています）
- ・ 保証（主な保証人は、国、地方公共団体、信用保証協会です。そのほか、適格格付機関が格付を保証人に付与している場合も、信用リスク削減効果を勘案しています）
- ・ 派生商品取引（外国為替関連取引、金利関連取引等）およびレポ形式の取引（現金担保付債券貸借取引等）における相対ネットリング契約

2. 基礎的内部格付手法

上記に加え以下の信用リスク削減手法を勘案しています。

- ・ 適格資産担保（不動産担保、船舶担保等）
- ・ 保証（債務者格付ランクを付与している場合）

信用リスク管理

■与信ポートフォリオ管理の枠組み

信用リスクは、景気の変動等により、業種など共通の特性を持つグループに集中して顕在化する場合があります。このため、与信のポートフォリオが特定の業種や地域等に偏っていると、経済社会の循環的・構造的な変動により予想外に多額の損失を被る可能性があります。

こうした潜在的な損失リスクは、個別の与信先に対する管理のみでは捕捉することが困難であり、業種別のデフォルトの変動特性などを加味してリスクを計量化する等により、ポートフォリオとしての管理を行う必要があります。

(1) 自己資本の範囲内での適切なリスクコントロール

「リスク資本配賦制度」において、信用リスクに対するリスク量の枠（配賦リスク資本）を設定し、月次でリスク資本の使用状況をモニタリングし、適切なリスクコントロールに努めています。

(2) 集中リスクの抑制

特定先や特定業種への与信集中を制御するために、大口与信先（グループ）に対する与信残高アラームラインの設定、与信が比較的集中している業種に対する与信集中業種の指定の他、危険度が比較的高いと認められた業種を特定業種として指定し、特段の注意をもって与信管理を行っています。

派生商品取引および長期決済期間取引にかかるリスク管理

■リスク資本および与信限度枠の割当方法に関する方針

派生商品取引等のリスク管理については、統合的リスク管理の枠組みに従い、派生商品取引等の種類に応じたリスクを適切に把握した上で、リスク量の上限を設定しています。なお、統合的リスク管理の状況については、月次でグループリスク管理委員会に報告しています。

また、派生商品取引等の経常的な取引相手となる金融機関には、その信用力に応じた取引限度額（カレント・エクスポージャー方式により算出した信用リスク相当額）を設定し、その遵守状況を月次でグループリスク管理委員会に報告しています。

■担保による保全および引当金の算定に関する方針

経常的に派生商品取引等の相手先となる主要な金融機関との間でCSA契約（デリバティブ担保契約）を締結しており、相手先の信用力や取引状況に応じて担保を徴求することにより保全の強化を図っています。（外部格付の低下や取引状況の変化等により、同契約に従って担保を追加的に提供することが必要となる可能性もありますが、影響は限定的と認識しています）

なお、派生商品取引等についても、貸出金と同様の枠組みで自己査定を実施しており、必要に応じてその他の偶発損失引当金を計上しています。

証券化エクスポージャー

■リスク管理の方針およびリスク特性の概要、体制の整備状況

当社グループは、投資家として証券化商品への投資を行っています。なお、オリジネーターとしての証券化エクスポージャーはありません。具体的な取組状況は下表記載のページをご覧ください。

グループ3行における取組状況	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
オリジネーター	該当なし	該当なし	該当なし
投資家	P.156、P.166	該当なし	該当なし

投資家としての証券化取引は、証券化商品を保有することにより、信用リスク、市場リスクおよび一定の環境の下で売却が困難になるなどの流動性リスク(市場流動性リスク)を有していますが、当社グループではこれらのリスクを次のとおり管理しています。

まず、証券化商品への投資を行う際の投資基準として、他の商品との合算または必要に応じて商品単位で信用リスク、市場リスクおよび市場流動性リスクといった特性を踏まえて投資限度枠等を定めた「市場取引運用基準」や、投資できる証券化商品の種類や投資対象の内部格付の下限等の投資条件を定めた「投資要領」等を制定し、これらの基準の範囲内で投資を行っています。

次に証券化取引では、信用リスクを資産の保有者(オリジネーター)から切り離すことを目的にさまざまな仕組み(ストラクチャー)が組み込まれているため、個々の投資に際しては、「仕組みの分析」、「裏付資産の分析」および「補完機能の確認」等を含め、取引に内在する諸リスクを適切に把握・評価した上で、担当役員等の決定を受けて取り組んでいます。なお、再証券化取引については、原則として当面の間、取り組まない方針です。

取組後についても、フロントおよびミドル部門が、証券化エクスポージャーの構造上の特性を把握し、証券化エクスポージャーやその裏付資産について、包括的なリスク特性やパフォーマンスに係る情報を適時かつ継続的に把握するための体制を整備しています。また、現在保有しているリスク特性等が通常の証券化取引より複雑な再証券化エクスポージャーを含め、定期的に格付変動の有無や時価の変動状況、トリガー条項(含む償還方法の変更)や誓約事項(コベナント)への抵触状況、裏付資産の状況および商品の市場流動性の状況といった諸リスクをモニタリングし、定期的にまたは必要に応じてALM委員会等に報告するなど、適切なリスク管理態勢を整備しています。

■証券化取引に関する会計方針

当社グループは、「金融商品会計に関する実務指針」等に則り、適正な会計処理を行っています。

◇自己資本比率計算における信用リスク・アセット額の算出に使用する方式の名称

投資家となっている証券化取引については「外部格付準拠方式」により信用リスク・アセット額を算出しています。

市場リスク管理

当社グループでは、市場リスクを「金利、為替および株式等のさまざまな市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスク」と定義しています。

当社グループの市場リスクは、以下のように統括して管理しています。

■当社グループの市場リスク管理

当社グループでは、取締役会が市場リスク管理にかかる基本方針を制定しています。この基本方針を踏まえ、グループリスク管理委員会においてALM運営を含めた市場リスクの管理方針を決定し、施策の実施状況およびリスクの状況に関するモニタリングを通じて、グループ全体のリスクをコントロールする体制としています。

また、当社のリスク管理部門は、グループ3行の市場リスク管理部門からの報告に基づき、グループ全体の市場リスクおよび市場リスク管理の状況を把握・分析し、グループ3行の市場リスク管理部門へのリスク管理態勢にかかる助言、取締役会等に対する定期報告を実施する体制としています。

具体的には、グループ3行のリスク・プロファイルを勘案して配賦したリスク資本と整合させて設定した各種リスク限度枠の運用状況をモニタリングするなどして、市場リスクを管理しています。このリスク限度枠の設定については、トレーディング部門、バンキング部門ともVaR(注)を共通の尺度としています。

(注) VaRは、一定の確率のもとで発生し得る予想最大損失額を表しています。

■グループ3行の市場リスク管理

グループ3行の取締役会は、当社が定めた「市場リスク管理方針」を踏まえた基本方針および具体的管理方法を定めた管理規則を制定し、行内の関連部署に周知させ遵守する態勢を整えています。

グループ3行では、ALM委員会においてマーケット環境の変化に対する機動的かつ具体的な対応策を協議し、グループリスク管理委員会に諮ります。

グループ3行のリスク限度枠等については、当社から配賦されたリスク資本額やその他市場リスク管理に必要な限度枠を常務会等で設定し、半期に一度、見直しを行っています。

市場取引にかかる組織は、市場取引部門（フロント・オフィス）、リスク管理部門（ミドル・オフィス）、事務管理部門（バック・オフィス）の3部門を明確に分離することで、相互牽制の徹底を図っています。

リスク管理部門は、VaRや10BPV（ベース・ポイント・バリュー）(注)を用いたリスクの計測および規程の遵守状況のモニタリングを行い、当社のリスク管理部門、グループ3行のリスク管理部門担当役員に対しトレーディング取引およびバンキング取引の状況について月次で報告するとともに、グループリスク管理委員会およびグループ3行の取締役会に対しても定期的に報告する等、リスク管理態勢の強化に努めています。

たとえば、金利リスクについては、10BPV等の指標にアラーム・ポイントを設定した上でモニタリングを行っており、アラーム・ポイントを超過した場合には、ALM委員会やグループリスク管理委員会等に報告され、今後の運営方針を協議することになります。

(注) 10BPVは、金利が0.1%変動した場合の評価損益変動額を表しています。

銀行勘定における出資等または株式等エクスポージャーに関するリスク管理

■リスク管理の方針および手続の概要

当社グループでは、政策投資に関する基本方針に基づき、お取引先の株式等を保有しており、購入・管理・売却・報告等について適切なリスク管理を行っています。

購入については、投資先の成長性、取引状況、公共的位置づけ等、総合的な観点から投資の可否を判断しています。

管理については、投資先の取引状況および業態管理を行い、継続保有あるいは売却について協議、決定しています。

報告態勢としては、株価下落率の高い銘柄の報告に加え、購入および売却銘柄について四半期ごとにグループリスク管理委員会に報告しています。なお、購入および売却時は、投資先に関するインサイダー情報の有無確認等の法令遵守を徹底しています。

また、価格変動リスクについては、月次でグループリスク管理委員会に報告し、リスク量が配賦リスク資本額内に収まっているかモニタリングしています。

流動性リスク管理

当社グループでは、流動性リスクを「運用と調達の間隔のミスマッチや予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク（資金繰りリスク）および市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク（市場流動性リスク）」と定義しています。

当社グループの流動性リスクは、当社が以下のように統括して管理しています。

■当社グループの流動性リスク管理

当社グループでは、流動性リスクの軽視が経営破綻や、ひいては金融機関全体の連鎖的破綻（システム・リスク）の顕在化につながりかねない重要なリスクであるとの認識のもと、取締役会が流動性リスク管理にかかる基本方針を制定しています。この基本方針を踏まえ、グループ3行のALM委員会での協議を経て、グループリスク管理委員会において流動性リスクの管理方針を決定し、施策の実施状況およびリスクの状況のモニタリングを通じて、グループ全体のリスクをコントロールする体制としています。

また、当社のリスク管理部門は、グループ3行の流動性リスク管理部門からの報告に基づき、当社グループの流動性リスクおよび流動性リスク管理の状況を把握・分析し、グループ3行の流動性リスク管理部門へのリスク管理態勢にかかる助言、取締役会等に対する定期報告を実施する体制としています。

具体的には、グループ3行のリスク・プロファイルを勘案して、グループ3行において資金繰りの状況に応じた管理区分および管理区分に応じた対応方法等の制定および資金繰りにかかる各種リスク限度枠を設定し、管理を行っています。

■グループ3行の流動性リスク管理

グループ3行の取締役会は、当社が定めた「流動性リスク管理方針」を踏まえた基本方針、具体的管理方法を定めた管理規則および流動性危機時の対応方針を定めた規則を制定し、グループ3行ではこれらに則り流動性リスク管理を行っています。

グループ3行では、ALM委員会においてマーケット環境の変化に対する機動的かつ具体的な対応策を協議し、グループリスク管理委員会に諮ります。

グループ3行のリスク限度枠等については、リスク・プロファイルに応じて資金繰りリミットや担保差入限度額等を常務会等で設定し、半期に一度、見直しを行っています。

グループ3行の資金繰りの状況について、状況に応じた管理区分（平常時、懸念時、危機時等）および状況に応じた対応方針を定め、資金繰り管理部門が月次で管理区分を判断し、グループリスク管理委員会が必要に応じて対応方針を協議する体制としています。

流動性リスクにかかる組織は、資金繰り管理部門、リスク管理部門、内部監査部門の3部門を明確に分離することで、相互牽制の徹底を図っています。

リスク管理部門は、規程の遵守状況のモニタリング等を行い、当社のリスク管理部門、グループ3行のリスク管理部門担当役員に対し流動性リスクおよびリスク管理の状況について月次で報告するとともに、グループリスク管理委員会およびグループ3行の取締役会に対しても定期的に報告する等、リスク管理態勢の強化に努めています。

オペレーショナル・リスク管理

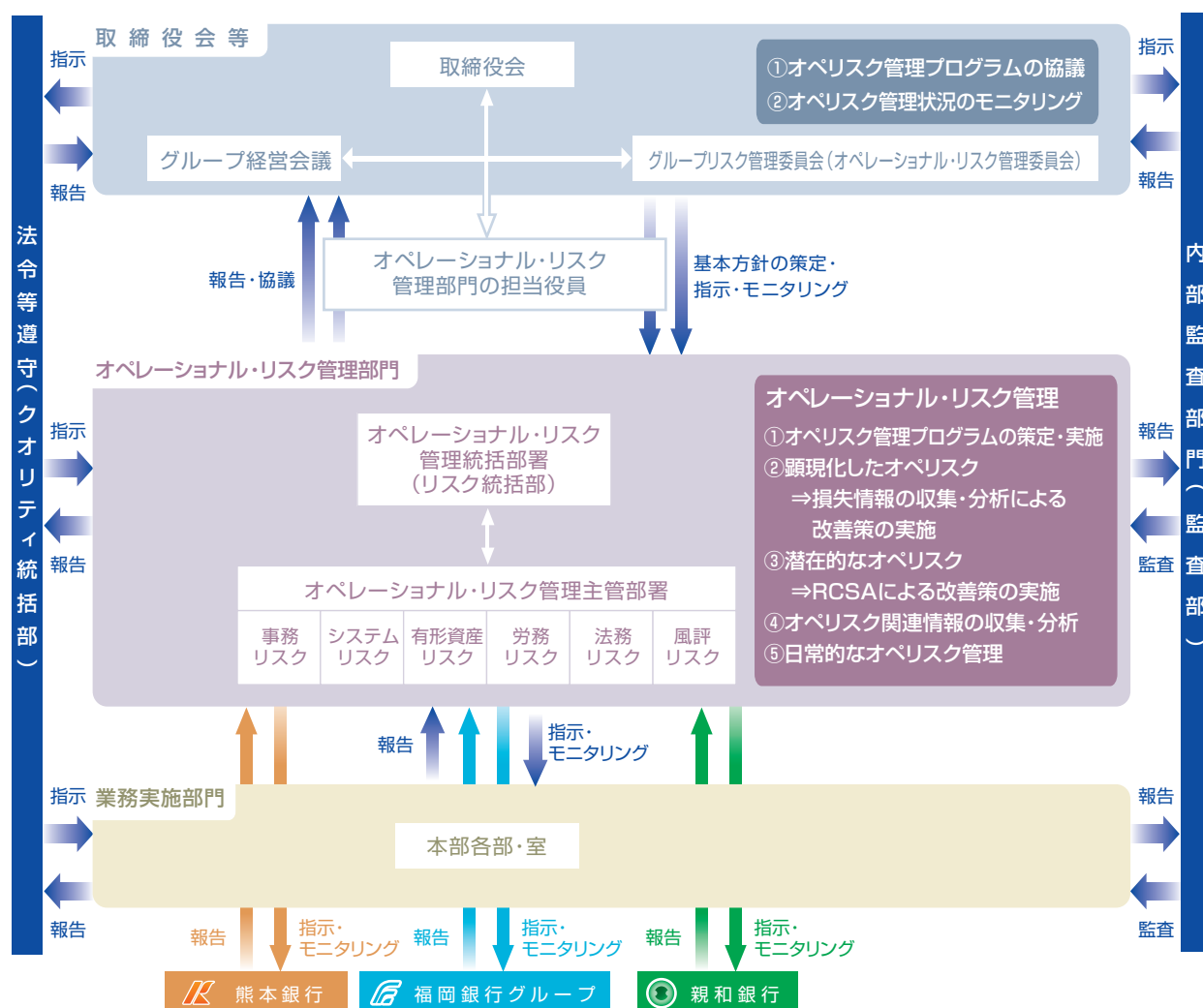
オペレーショナル・リスクとは、当社グループの業務において内部プロセスの不備や役職員のミス、システムの不具合、または災害等の外的要因により損失が発生するリスクをいい、事務リスク・システムリスク・有形資産リスク・労務リスク・法務リスク・風評リスクに分類して管理しています。

金融技術の高度化や規制緩和の進展による商品や取扱業務の多様化、システム・ネットワークの拡大に伴い、事務ミス・不正事故・災害等による大規模損失の発生可能性は高まっており、こうした環境変化に対応し、予防的なリスク管理態勢を構築するためにも、オペレーショナル・リスク管理の重要性は、ますます高まっています。

当社グループでは、取締役会において、オペレーショナル・リスクを適切に管理するための組織体制および仕組みを整備し、リスク顕現化の未然防止と発生時の影響を極小化するための基本事項を定めた「オペレーショナル・リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「オペレーショナル・リスク管理プログラム」を制定し、オペレーショナル・リスクを総合的に管理しています。

さらに、オペレーショナル・リスクを適切に特定・評価・把握・管理・削減するために、顕現化したリスクに関しては関連する損失情報を収集・分析し、潜在的なリスクに関してはリスク・コントロールセルフアセスメント（RCSA⇒リスクとコントロールの有効性に関する自己評価）により、適切な対応策を実施するとともに、取締役会やオペレーショナル・リスク管理委員会を通して適時・適切なモニタリング・コントロールを実施しています。

■当社グループのオペレーショナル・リスク管理体制



オペレーショナル・リスク管理

■事務リスク

事務リスクとは、当社グループの役職員が正確な事務を怠ったり、不正を起こしたりすることによって、経済面あるいは信用面の損失を被るリスクをいいます。

当社グループでは、全ての業務に事務リスクが内在するとの認識のもと、取締役会において、事務リスクの適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「事務リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取組むべき事項を定めた「事務リスク管理プログラム」を制定し、事務リスクの総合的な管理を行っています。

また、事務に内在するリスクやコントロールの分析・評価を行い、潜在的な事務リスクへの対策を講じるとともに、顕現化した事務リスクについては幅広く情報の収集・分析を行い、事務ミス・事務事故の再発防止に努めています。

このほか、グループ3行では、ますます多様化・複雑化する業務に適切に対処していくため、業務のシステム化や集中化を推し進めるとともに、集合研修や臨店指導を通じて役職員の事務レベル向上に取組むなど、事務リスク低減に向けたさまざまな取組みを行っています。

■システムリスク

システムリスクとは、当社グループのコンピューターシステムの停止や誤作動、または不正利用等により損失が発生するリスクをいいます。

当社グループでは、進化し続けるIT（情報技術）の動向を的確に捉えながら、グループ全体のサービス品質の向上、厳正なリスク管理、業務の効率化、システムの安全稼働等を最優先の課題とし、取締役会において、情報資産を適切に保護し管理するための基本方針を定めた「セキュリティポリシー」、システムリスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「システムリスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取組むべき事項を定めた「システムリスク管理プログラム」を制定し、システムリスクを総合的に管理しています。

グループ3行では、システムの安全稼働に万全を期すために、コンピューター機器をはじめコンピューターセンターと営業店・ATM等を結ぶ通信回線や預貸金情報を蓄積している元帳データ等の二重化、情報の暗号化および不正アクセス・情報漏洩を防止するシステムを導入しています。

また、地震等の大規模災害等、不測の事態に備えてビジネスコンティニュイティプラン（BCP）による定期的な訓練を実施するとともに、グループ3行とも広島センター・福岡センターの2拠点でシステムを運営する体制としており、不測の事態が発生した場合においても継続して金融サービスが提供できるバックアップ体制となっています。

さらに、近年のサイバーセキュリティに対する脅威の深刻化等を踏まえ、サイバー攻撃動向や脆弱性等の情報を収集・把握し、迅速な対応を実施するため、情報セキュリティ部会（FFG-CSIRT）^{（注）}を設置するなど、セキュリティ管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

（注）CSIRT（Computer Security Incident Response Team）…サイバーセキュリティ事案の迅速な対応を目的とした組織

■有形資産リスク

有形資産リスクとは、当社グループにおいて災害、犯罪または資産管理の瑕疵等の結果、有形資産の毀損により損失が発生するリスクをいいます。

当社グループでは、自然災害や外部からの脅威等の増加により有形資産が毀損するリスクが増加しているとの認識のもと、取締役会において、有形資産リスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「有形資産リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取組むべき事項を定めた「有形資産リスク管理プログラム」を制定し、有形資産リスクを総合的に管理するとともに軽減するための適切な方策を講じています。

なお、グループ3行においては、バリアフリーの充実などお客さまへのサービス拡充および耐震強化のため、引き続き店舗建替え・改修工事を計画的に進めています。

オペレーショナル・リスク管理

■労務リスク

労務リスクとは、当社グループの労務慣行（役職員の人事処遇や勤務管理上の問題等）および職場の安全衛生環境上の問題により損失が発生するリスク、並びに役職員の不法行為により使用者責任を問われるリスクをいいます。

当社グループでは、労務リスクは重要なオペレーショナル・リスクの一つであるとの認識のもと、取締役会において、労務リスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「労務リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「労務リスク管理プログラム」を制定し、労務リスクを総合的に管理するとともに軽減するための適切な方策を講じています。

また、人権啓発に関する研修を定期的実施するとともに、外部の人権啓発行事への積極的な参加により、グループ役職員の人権に関する意識向上に取り組んでいます。

■法務リスク

法務リスクとは、当社グループが法令や契約等に違反すること、不適切な契約を締結すること、その他の法的原因により損失を被るリスクをいいます。

当社グループでは、事務リスクと同様に全ての業務に法務リスクが内在するとの認識のもと、取締役会において、法務リスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「法務リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「法務リスク管理プログラム」を制定し、法務リスクを総合的に管理しています。

さらに、グループ3行との協議・報告を通して、法務リスク管理態勢に必要な指導・助言を行うとともに、法務リスクに関連する情報を集中的に一元管理し、法務リスク管理態勢の強化に努めています。

なお、グループ3行においては、法務リスクに関連する情報を日常的に収集・把握することを通して、法務リスク管理態勢の充実と強化に取り組んでいます。

■風評リスク

風評リスクとは、マーケット等において、噂や憶測といった曖昧な情報や、事件事故等の発生に伴う風評から当社グループの評判が悪化すること等により、直接、間接を問わず損失を被るリスクをいいます。

当社グループでは、取締役会において、風評リスクに関する基本事項を定めた「風評リスク管理規則」を制定し、風評リスクの管理に取り組んでいます。また、風評リスクが顕現化した場合には、迅速かつ適切に風評リスクを回避するための危機管理体制を構築し、事態の収拾・沈静化を図り、影響を最小限に止めるよう努めています。

さらに、グループ3行との協議・報告を通して、風評リスク管理態勢に必要な指導・助言を行うとともに、風評リスクに関するモニタリング等により、関連情報の収集を行うことで、風評リスク管理態勢の強化に取り組んでいます。

企業集団の事業内容

当社グループは、当社および子会社17社で構成され、銀行業を中心に保証業務、事業再生支援・債権管理回収業務、銀行事務代行業務等の金融サービスを提供しています。

企業集団の事業系統図

平成28年7月1日現在



当社の主要グループ会社

平成28年7月1日現在

会 社 名	住 所	主な事業の内容	設 立	資本金 又は出資金 (注1) (百万円)	議決権の所有割合(%) ※()内は間接所有			
					ふくおか フィナンシャルグループ	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・銀行業	昭和20年 3月31日	82,329	100	—	—	—
株式会社熊本銀行	熊本市中央区水前寺 6丁目29番20号	・銀行業	昭和4年 1月19日	33,847	100	—	—	—
株式会社親和銀行	佐世保市島瀬町 10番12号	・銀行業	昭和14年 9月1日	36,878	100	—	—	—
株式会社ふくおか テクノロジーパートナーズ	福岡市中央区大手門 1丁目8番3号	・投融資業務	平成28年 4月1日	1,000	100	—	—	—
iBankマーケティング株式会社	福岡市中央区西中洲 6番27号	・情報処理・ 情報通信サービス業務	平成28年 4月1日	100 (注2)	80 (80)	—	—	—
〈福岡銀行子会社〉								
ふくおか証券株式会社	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・証券業務	昭和19年 7月7日	2,198	100 (100)	100	—	—
福銀事務サービス株式会社	福岡市早良区百道浜 1丁目7番7号	・事務代行業務	昭和51年 10月9日	100	100 (100)	100	—	—
ふくぎん保証株式会社	福岡市西区姪浜駅南 1丁目7番1号	・借入債務の保証業務等	昭和53年 6月1日	30	100 (100)	100	—	—
福岡コンピューターサービス株式会社	福岡市博多区博多駅前 2丁目6番6号	・計算受託業務等	昭和54年 10月1日	50	100 (100)	100	—	—
株式会社FFGカード	福岡市西区姪浜駅南 1丁目7番1号	・クレジットカード業務	平成元年 6月22日	50	100 (100)	100	—	—
福銀不動産調査株式会社	福岡市東区箱崎 1丁目4番13号	・事務代行業務	平成12年 3月27日	30	100 (100)	100	—	—
ふくおか債権回収株式会社	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・事業再生支援・ 債権管理回収業務	平成15年 5月20日	500	100 (100)	100	—	—
株式会社FFGビジネスコンサルティング	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・コンサルティング業務	平成20年 8月1日	50	100 (100)	100	—	—
成長企業応援 投資事業有限責任組合	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・投融資業務	平成19年 3月30日	650	—	—	—	—
一般社団法人 ふくおか・アセット・ホールディングス	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・投融資業務	平成17年 7月1日	25	—	—	—	—
有限会社マーキュリー・ アセット・コーポレーション	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・ファクタリング業務	平成12年 6月22日	6	—	—	—	—
有限会社ジュピター・ アセット・コーポレーション	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	・ファクタリング業務	平成17年 7月14日	3	—	—	—	—

(注1) 資本金又は出資金は単位未満を切り捨てて表示しております。
(注2) 資本準備金を含みます。

業 務		内 容	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
預金業務	預 金	当座預金	●	●	●
		普通預金	●	●	●
		決済用普通預金	●	●	●
		総合口座	●	●	●
		貯蓄預金	●	●	●
		通知預金	●	●	●
		定期預金	●	●	●
		財形預金	●	●	●
		別段預金	●	●	●
		納税準備預金	●	●	●
		非居住者円預金	●	●	●
		外貨預金等	●	●	●
	譲 渡 性 預 金	譲渡可能な定期預金	●	●	●
貸出業務	貸 付	手形貸付、証書貸付および当座貸越	●	●	●
	手 形 の 割 引	銀行引受手形	●	●	●
		商業手形	●	●	●
商 品 有 価 証 券 売 買 業 務		国債等公共債の売買業務	●	●	●
有 価 証 券 投 資 業 務		預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券への投資	●	●	●
内 国 為 替 業 務		送金為替、振込および代金取立等	●	●	●
外 国 為 替 業 務		輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務	●	●	●
受 託 業 務		社債、地方債の受託および一般債振替制度における発行、支払代理人の業務	●	●	●
信託業務	特別障がい者扶養信託（特定贈与信託）	相続税法の規定に基づき、特別障がい者の生活の安定を図ることを目的として、個人が特別障がい者を受益者として設定する金銭信託	●		
	公 益 信 託	教育助成、国際研究協力、自然環境の保全等の公益を目的として設定する金銭信託	●		
確 定 拠 出 年 金 業 務		確定拠出年金法における運営管理業務・商品提供業務	●		●
附帯業務	代 理 業 務	日本銀行代理店業務	●		●
		日本銀行歳入代理店業務	●	●	●
		国債代理店業務	●	●	●
		地方公共団体の公金取扱業務	●	●	●
		勤労者退職金共済機構等の代理店業務	●	●	●
		株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務	●	●	●
		日本政策金融公庫等の代理貸付業務	●	●	●
		信託代理店業務	●	●	●
		住宅金融支援機構代理店業務	●	●	●
	保護預りおよび貸金庫業務		●	●	●
	有価証券の貸付		●	●	●
	有価証券の私募の取扱い		●	●	●
	債務の保証（支払承諾）		●	●	●
	金の売買および保護預り		●		
	国債等公共債、証券投資信託の振替決済口座管理		●	●	●
	国債等公共債の引受		●	●	●
	国債等公共債および証券投資信託の窓口販売		●	●	●
	金融商品仲介業務		●	●	●
	保険商品の窓口販売		●	●	●
	クレジットカード業務		●		
	短期社債等の取扱い		●		
	金利・通貨等のデリバティブ取引		●	●	●
	ビジネスマッチング業務		●	●	●
M&Aに関する業務		●	●	●	

福岡県

福岡市中央区

信託 外資 住構 証券	★本	店	〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1	092-723-2131
信託 外資 住構 証券	福岡市庁内		〒810-0001 福岡市中央区天神1-8-1	092-723-2100
信託 外資 住構 証券	★天神	町	〒810-0001 福岡市中央区天神1-6-8	092-723-2001
信託 外資 住構 証券	★黒	門	〒810-0055 福岡市中央区黒門5-28	092-781-7731
信託 外資 住構 証券	★湊	町	〒810-0075 福岡市中央区港2-6-8	092-751-5183
信託 外資 住構 証券	★中央市場		〒810-0072 福岡市中央区長浜3-11-3	092-711-6461
信託 外資 住構 証券	★赤坂	門	〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-31	092-771-2861
信託 外資 住構 証券	★けやき通り		〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-1-3	092-722-5678
信託 外資 住構 証券	★六本	松	〒810-0044 福岡市中央区六本松2-14-3	092-781-0731
信託 外資 住構 証券	★笹	丘	〒810-0034 福岡市中央区笹丘1-30-2	092-406-2481
信託 外資 住構 証券	★小	笹	〒810-0033 福岡市中央区小笹1-1-3	092-406-2621
信託 外資 住構 証券	★渡	辺通	〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82	092-781-2231
信託 外資 住構 証券	★平	尾	〒810-0015 福岡市中央区那の川2-9-22	092-531-0861
信託 外資 住構 証券	★薬	院	〒810-0022 福岡市中央区薬院3-16-21	092-531-2031

福岡市博多区

信託 外資 住構 証券	★博	多	〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20	092-291-2131
信託 外資 住構 証券	★奈良屋	町	〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町1-11	092-281-2233
信託 外資 住構 証券	県庁内		〒812-0045 福岡市博多区東公園7-7	092-641-7531
信託 外資 住構 証券	★博多駅前		〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-2-1	092-441-3821
信託 外資 住構 証券	★博多駅東		〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1	092-431-3036
信託 外資 住構 証券	★住	吉	〒812-0017 福岡市博多区美野島2-15-10	092-431-3161
信託 外資 住構 証券	★吉	塚	〒812-0041 福岡市博多区吉塚1-15-13	092-611-2431
信託 外資 住構 証券	★比	恵	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-1-31	092-411-4738
信託 外資 住構 証券	★博多南		〒812-0893 福岡市博多区那珂5-8-47	092-431-2961
信託 外資 住構 証券	★福岡空港		〒812-0003 福岡市博多区大字下臼井767-1	092-611-5961
外資	★国際線ターミナル(出)		〒812-0851 福岡市博多区大字青木739	092-477-0377
信託 外資 住構 証券	★筑紫通		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-1-3	092-441-6101
信託 外資 住構 証券	★月	隈	〒812-0854 福岡市博多区東月隈4-1-5	092-503-1311
信託 外資 住構 証券	★雑餉隈		〒812-0878 福岡市博多区竹丘町2-2-21	092-581-1531

福岡市早良区

信託 外資 住構 証券	★西	新町	〒814-0002 福岡市早良区西新4-9-28	092-821-2231
信託 外資 住構 証券	★藤	崎	〒814-0014 福岡市早良区弥生1-1-21	092-821-1231
信託 外資 住構 証券	★荒	江	〒814-0021 福岡市早良区荒江2-9-5	092-821-4231
信託 外資 住構 証券	★野	芥	〒814-0171 福岡市早良区野芥2-7-1	092-862-3611
信託 外資 住構 証券	★有	田	〒814-0033 福岡市早良区有田4-37-24	092-862-2125
信託 外資 住構 証券	★田	町	〒814-0175 福岡市早良区田村1-1-2	092-863-6331
信託 外資 住構 証券	★	原	〒814-0022 福岡市早良区原3-15-17	092-831-2000

福岡市城南区

信託 外資 住構 証券	★樋	井川	〒814-0151 福岡市城南区堤1-1-41	092-864-6111
信託 外資 住構 証券	★七	隈	〒814-0133 福岡市城南区七隈4-2-27	092-871-0001

福岡市西区

信託 外資 住構 証券	★姪	浜	〒819-0006 福岡市西区姪浜駅南1-7-1	092-881-0731
信託 外資 住構 証券	★野	方	〒819-0042 福岡市西区孝峯団地76-2	092-811-3731
信託 外資 住構 証券	★周	船寺	〒819-0373 福岡市西区周船寺2-14-35	092-807-0111
信託 外資 住構 証券	★今	宿	〒819-0168 福岡市西区今宿駅前1-2-16	092-807-8441

福岡市南区

信託 外資 住構 証券	★大	橋	〒815-0033 福岡市南区大橋1-20-7 (平成27年9月仮店舗)	092-551-2131
信託 外資 住構 証券	★高	宮	〒815-0083 福岡市南区高宮5-2-5	092-531-4938
信託 外資 住構 証券	★長	住	〒811-1362 福岡市南区長住2-21-13	092-541-0638
信託 外資 住構 証券	★井	尻	〒811-1302 福岡市南区井尻5-4-10	092-591-3831
信託 外資 住構 証券	★屋	形原	〒811-1364 福岡市南区中尾2-2-23	092-511-3111

福岡市東区

信託	外両	住構	★箱	崎	〒812-0053 福岡市東区箱崎1-4-13	092-641-0331
信託	外両	住構	★香	椎	〒813-0013 福岡市東区香椎駅前2-12-13	092-681-1231
信託	外両	住構	★美和	台	〒811-0201 福岡市東区三苫3-2-47	092-607-3131
信託	外両	住構	★福岡流通センター		〒813-0034 福岡市東区多の津4-9-7	092-622-2430
信託	外両	住構	★千	早	〒813-0041 福岡市東区水谷2-51-10	092-671-7631
信託	外両	住構	★新	宮	〒811-0213 福岡市東区和白丘1-21-8	092-608-0101
信託	外両	住構	★土	井	〒813-0032 福岡市東区土井1-8-20	092-692-7681

福岡市近郊

信託	外両	住構	★志	免	〒811-2202 糟屋郡志免町志免2-2-1	092-935-1221
信託	外両	住構	★宇	美	〒811-2101 糟屋郡宇美町宇美3-1-1	092-932-1000
信託	外両	住構	★糸	島	〒819-1116 糸島市前原中央3-19-36	092-322-2331
信託	外両	住構	★二	日市	〒818-0072 筑紫野市二日市中央2-5-1	092-924-2131
信託	外両	住構	★春日	原	〒816-0802 春日市春日原北町3-16-6	092-581-8532
信託	外両	住構	★太宰	府	〒818-0117 太宰府市宰府1-7-15	092-924-5061
信託	外両	住構	★下	大利	〒816-0952 大野城市下大利1-9-22	092-582-7373
信託	外両	住構	★南	ヶ丘	〒816-0964 大野城市南ヶ丘3-1-22	092-596-5951
信託	外両	住構	★昇	町	〒816-0851 春日市昇町3-2	092-573-8761
信託	外両	住構	★筑	紫	〒818-0024 筑紫野市原田7-4-6	092-926-2131
信託	住構	★朝倉街道(出)			〒818-0083 筑紫野市針摺中央2-4-1	092-924-7711
信託	外両	住構	★那珂	川	〒811-1254 筑紫郡那珂川町道善1-33	092-953-1931
信託	外両	住構	★春	日	〒816-0855 春日市天神山5-10-2	092-586-6725
信託	外両	住構	★古	賀	〒811-3101 古賀市天神1-3-35	092-943-3361
信託	外両	住構	★千	鳥	〒811-3114 古賀市舞の里3-1-2	092-944-0202
信託	外両	住構	★福	間	〒811-3217 福津市中央3-8-6	0940-42-1246
信託	外両	住構	★宗	像	〒811-3436 宗像市東郷5-4-5	0940-36-2017
信託	外両	住構	★赤	間	〒811-4183 宗像市土穴1-1-20 (平成27年11月新店舗)	0940-33-7211
信託	外両	住構	★粕	屋	〒811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1-8-8	092-939-1151
信託	外両	住構	★篠	栗	〒811-2405 糟屋郡篠栗大字篠栗4784-13	092-948-1100

北九州市 小倉北区 小倉南区

信託	外両	住構	★北	九	州	〒802-0005 北九州市小倉北区堺町2-2-18	093-533-8013
信託	外両	住構	★北九州市庁内			〒803-0813 北九州市小倉北区内1-1	093-582-4195
信託	外両	住構	★小	倉		〒802-0007 北九州市小倉北区船場町2-1	093-521-3131
信託	外両	住構	★南	小	倉	〒803-0841 北九州市小倉北区清水3-9-4	093-561-3731
信託	外両	住構	★三	萩	野	〒802-0084 北九州市小倉北区香春口1-15-1	093-921-8284
信託	外両	住構	★城	野		〒802-0062 北九州市小倉北区片野新町2-13-26	093-921-3486
信託	外両	住構	★徳	力		〒802-0974 北九州市小倉南区徳力1-14-1	093-961-3081
信託	外両	住構	★北九州卸市場			〒803-0801 北九州市小倉北区西港町94-9	093-583-2050
信託	外両	住構	★曾	根	北	〒800-0229 北九州市小倉南区曾根北町4-9 (平成27年12月新店舗、吉田支店から改称)	093-473-4481
信託	外両	住構	★守	恒		〒802-0972 北九州市小倉南区守恒1-11-5	093-962-0881
信託	外両	住構	★曾	根		〒800-0226 北九州市小倉南区田原新町2-10-20	093-473-3330
信託	外両	住構	★小	倉	東	〒800-0255 北九州市小倉南区上葛原1-14-12	093-921-1531

北九州市 八幡東区 八幡西区

信託	外両	住構	★八	幡		〒805-0019 北九州市八幡東区中央2-7-21	093-662-7111
信託	外両	住構	★折	尾		〒807-0825 北九州市八幡西区折尾1-13-6	093-601-0531
信託	外両	住構	★黒	崎		〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-2-2	093-631-6611
信託	外両	住構	★七	条		〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2-2-23	093-651-2733
信託	外両	住構	★相	生		〒806-0044 北九州市八幡西区鉄竜1-4-16	093-621-0436
信託	外両	住構	★小	嶺		〒807-1112 北九州市八幡西区千代1-1-10	093-613-1300
信託	外両	住構	★三	ヶ	森	〒807-0843 北九州市八幡西区三ヶ森4-11-14	093-611-2300

北九州市 戸畑区 若松区 門司区

信託	外両	住構	★戸	畑		〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-8	093-871-3121
信託	外両	住構	★若	松		〒808-0025 北九州市若松区中川町4-1	093-761-5031
信託	外両	住構	★二	島		〒808-0105 北九州市若松区鴨生田2-3-9	093-701-3533
信託	外両	住構	★高	須		〒808-0144 北九州市若松区高須東4-1-43	093-741-0030
信託	外両	住構	★ひびきの			〒808-0131 北九州市若松区塩屋2-1-14	093-741-2531
信託	外両	住構	★門司駅前			〒800-0031 北九州市門司区高田1-1-20	093-381-0937
信託	外両	住構	★門	司		〒801-0863 北九州市門司区栄町2-9	093-321-3981

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(出)：出張所
(駐)：駐在員事務所

外両：外両両替取扱店
住構：住宅金融支援機構業務取扱店（フラット35のお取り扱い可）
信託：信託業務取扱店（取扱商品は店舗によって異なります）
証券：証券仲介業務取扱店
信託：信託業務取扱店（取扱商品は店舗によって異なります）
(証券会社紹介サービスのみ取り扱い)

北九州市近郊

信託 外資 住構 ★ 芦屋	〒807-0131 遠賀郡芦屋町緑ヶ丘1-30	093-222-1355
信託 外資 住構 ★ 岡垣	〒811-4218 遠賀郡岡垣町中央台3-1-1	093-283-2121
信託 外資 住構 ★ 中間	〒809-0013 中間市上蓮花寺1-2-1	093-245-0281

京築地区

信託 外資 住構 ★ 行橋	〒824-0005 行橋市中央3-1-22	0930-22-0290
信託 外資 住構 ★ 苅田	〒800-0351 京都郡苅田町京町1-12-13	093-434-0831
信託 外資 住構 ★ 椎田	〒829-0301 築上郡築上町大字椎田966-5	0930-56-0001
信託 外資 住構 ★ 豊前	〒828-0027 豊前市大字赤熊1361-1	0979-83-3330

筑豊地区

信託 外資 住構 ★ 直方	〒822-0024 直方市須崎町17-12	0949-22-1300
信託 外資 住構 ★ 小竹	〒820-1103 鞍手郡小竹町大字勝野3765-36	09496-2-0611
信託 外資 住構 ★ 宮田	〒823-0011 宮若市宮田59-15	0949-32-0520
信託 外資 住構 ★ 後藤寺	〒826-0026 田川市春日町1-30	0947-42-0800
信託 外資 住構 ★ 伊田	〒825-0015 田川市伊田町15-15	0947-42-0660
信託 外資 住構 ★ 川崎	〒827-0003 田川郡川崎町大字川崎879-1	0947-73-2626
信託 外資 住構 ★ 金田	〒822-1201 田川郡福智町金田1138-1	0947-22-0035
信託 外資 住構 ★ 添田	〒824-0602 田川郡添田町大字添田1179-1	0947-82-1200
信託 外資 住構 ★ 飯塚	〒820-0068 飯塚市片島1-2-25	0948-22-6330
信託 外資 住構 ★ 飯塚本町	〒820-0042 飯塚市本町8-24	0948-22-2900
信託 外資 住構 ★ 稲築	〒820-0206 嘉麻市鴨生242-23	0948-42-1331
信託 外資 住構 ★ 天道	〒820-0075 飯塚市天道413-2	0948-22-1030
信託 外資 住構 ★ 大隈	〒820-0302 嘉麻市大隈町1039-2	0948-57-0001
信託 外資 住構 ★ 山田	〒821-0012 嘉麻市上山田1403-16	0948-52-0831

久留米市とその近郊

信託 外資 住構 ★ 田主丸	〒839-1233 久留米市田主丸町田主丸533-8	0943-72-2141
信託 外資 住構 ★ 久留米	〒830-0017 久留米市日吉町16-18	0942-32-4431
信託 住構 久留米市庁内(出)	〒830-0022 久留米市城南町15-3	0942-35-8710
信託 外資 住構 ★ 東久留米	〒830-0032 久留米市東町37-11	0942-32-5225
信託 外資 住構 ★ 花畑	〒830-0038 久留米市西町935-13	0942-34-4318
信託 外資 住構 ★ 北野	〒830-1113 久留米市北野町中3298-5	0942-78-3111
信託 外資 住構 ★ 小郡	〒838-0144 小郡市祇園1-14-1	0942-72-3121
信託 外資 住構 ★ 善導寺	〒839-0824 久留米市善導寺町飯田631-1	0942-47-1003
信託 外資 住構 ★ 大善寺	〒830-0073 久留米市大善寺町宮本2152	0942-27-2161
信託 外資 住構 ★ 国分	〒839-0863 久留米市国分町1172-7	0942-22-5152

朝倉・うきは地区

信託 外資 住構 ★ 甘木	〒838-0068 朝倉市甘木1842-1	0946-22-2700
信託 外資 住構 ★ 夜須	〒838-0215 朝倉郡筑前町篠隈350-2	0946-42-2002
信託 外資 住構 ★ 朝倉	〒838-1302 朝倉市宮野2044-1	0946-52-2772
信託 外資 住構 ★ 杷木	〒838-1511 朝倉市杷木池田691-1	0946-62-1116
信託 外資 住構 ★ 吉井	〒839-1321 うきは市吉井町1149-1	0943-75-2131

八女地区

信託 外資 住構 ★ 八女	〒834-0063 八女市本村425-38	0943-23-3111
信託 住構 星野(出)	〒834-0201 八女市星野村13089-3	0943-52-2277
信託 住構 ★ 上陽(出)	〒834-1102 八女市上陽町北川内347-3	0943-54-3111
信託 外資 住構 ★ 広川	〒834-0115 八女郡広川町新代1878	0943-32-1171
信託 外資 住構 ★ 筑後	〒833-0031 筑後市山ノ井258-2	0942-52-3151
信託 外資 住構 ★ 黒木	〒834-1217 八女市黒木町黒木130-1	0943-42-1144
住構 矢部(出)	〒834-1401 八女市矢部村北矢部10528	0943-47-2890

柳川・大牟田地区

信託 外両 住構 ★ 柳	川	〒832-0045 柳川市本町14-14	0944-73-1132
信託 外両 住構 ★ 大	川	〒831-0004 大川市大字榎津259-3	0944-86-2111
信託 外両 住構 ★ 大	木	〒830-0416 三瀬郡大木町大字八町牟田255-4	0944-32-0005
信託 外両 住構 ★ 中	島	〒839-0254 柳川市大和町中島886	0944-76-4144
信託 外両 住構 ★ 瀬	高	〒835-0024 みやま市瀬高町下庄1575-1	0944-62-5171
信託 外両 住構 ★ 大牟田	田	〒836-0842 大牟田市有明町1-2-11	0944-52-3211
信託 外両 住構 ★ 三池	池	〒837-0924 大牟田市大字歴木374-2	0944-54-3696
信託 外両 住構 ★ 渡瀬	瀬	〒839-0215 みやま市高田町濃施389-1	0944-22-5831

福岡県外

信託 外両 住構 ★ 唐津	津	〒847-0012 唐津市大名小路310-36	0955-72-5171
信託 外両 住構 ★ 鳥栖	栖	〒841-0033 鳥栖市本通町1-802-11	0942-82-2154
信託 外両 住構 ★ 基山	山	〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦186-59	0942-92-2711
信託 外両 住構 ★ 佐賀	賀	〒840-0816 佐賀市駅南本町5-4 (平成28年3月新店舗)	0952-24-8271
信託 外両 住構 ★ 中津	津	〒871-0038 中津市枝町1700-9	0979-22-1450
信託 外両 住構 ★ 大分	分	〒870-0034 大分市都町3-1-1	097-533-1151
信託 外両 住構 ★ 日田	田	〒877-0015 日田市中央1-3-22	0973-24-4111
信託 外両 住構 ★ 佐世保	保	〒857-0863 佐世保市三浦町1-26	0956-23-4111
信託 外両 住構 ★ 長崎	崎	〒850-0033 長崎市万才町5-17	095-822-8101
信託 外両 住構 ★ 熊本	本	〒860-0806 熊本市中央区花畑町12-3	096-352-4131
信託 外両 住構 ★ 鹿児島	島	〒890-0053 鹿児島市中央町115-23	099-253-1991
信託 外両 住構 ★ 宮崎	崎	〒880-0805 宮崎市橘通東4-1-5	0985-22-4101
外両 住構 東京	京	〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7	03-3242-6821
外両 住構 大阪	阪	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-6-2	06-6261-6951
信託 外両 住構 ★ 下関	関	〒750-0025 下関市竹崎町1-17-6	083-222-8146
信託 外両 住構 ★ 宇部	部	〒755-0029 宇部市新天町2-1-6	0836-31-5911
外両 住構 名古屋	屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-13	052-231-6231
外両 住構 広島	島	〒730-0051 広島市中区大手町2-7-10	082-248-3741

海外

香港 (駐)	Room 404, 4/F, Far East Finance Centre, 16 Harcourt Road, Hong Kong	852-2524-2169
上海 (駐)	中華人民共和国上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心2010号室	86-21-6219-4570
大連 (駐)	中華人民共和国大連市人民路60号 大連富麗華大酒店622号室	86-411-8282-3643
シンガポール(駐)	1 George Street #17-05 Singapore 049145	65-6438-4913
バンコク(駐)	16th Floor Unit 1606, Park Ventures Ecoplex, 57 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand	66-2-256-0695
ニューヨーク(駐)	One Rockefeller Plaza, Suite 1201, New York, NY 10020-2003	1-212-247-2966
台北 (駐)	台湾台北市中山区松江路126号 将捷国際商業大樓6F-1	886-2-2523-8887
ホーチミン(駐)*	Suite 1108, Saigon Tower, 29 Le Duan Street, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam	84-8-3822-2802

※平成28年7月1日開設

その他

信託	営業推進部 セカンドライフサポート室	〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1	092-723-2164
信託	ソリューション営業部	〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3	092-723-2510

店 舗	(平成28年6月30日現在)
福岡県	152 (本店1 支店145 出張所 6)
熊本県	1 (支店1)
長崎県	2 (支店2)
九州域内の 福岡・熊本・長崎県外	9 (支店9)
九州域外	6 (支店6)
合 計	170 (本店1 支店163 出張所 6)
(支店には振込専用支店1、インターネット専用支店1を含む)	
海外駐在員事務所	7

現金自動設備設置台数	
ATM (現金自動預入支払機)	1,278台
うち店舗外	451台
CD (現金自動支払機)	0台
うち店舗外	0台
為替振込機	0台
うち店舗外	0台
合計	1,278台
うち店舗外	451台

(平成28年6月30日現在)

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。

福岡銀行 <http://www.fukuokabank.co.jp/>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(出)：出張所
(駐)：駐在員事務所

外両：外両両替取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)
住構：住宅金融支援機構業務取扱店 (フラット35のお取り扱い可)
信託：住宅金融支援機構業務取扱店 (融資業務は取り扱いません)
証券：証券仲介業務取扱店
信託：信託業務取扱店 (取扱商品は店舗によって異なります)
(証券会社紹介サービスのみ取り扱い)

福岡地区

福岡市中央区	福岡市博多区	福岡市早良区	福岡市南区
★ ふくおかフィナンシャルグループ本社ビル	★ JR博多駅	● 西南学院大学	★ 西鉄大橋駅
★ 西鉄福岡駅	★ JR博多駅阪急百貨店口	★ よかトピア通り	★ サニー向新町店
★ 岩田屋本館	★ 博多駅朝日ビル地下街	● 福岡記念病院	● 九州中央病院
★ 天神地下街	★ 祇園	シーサイドももち	● 福岡女学院
★ 天神地下街南	★ 地下鉄博多駅	★ TNC放送会館	★ レッドキャベツ老司
★ 天神地下街プラザ	★ 地下鉄博多駅筑紫口	★ ボンラバス百道	★ ピア高宮
★ 西鉄グランドホテル	★ 福さ屋ビル	● 福岡山王病院	★ ミスターマックス長住店
★ 新天町プラザ	★ キャナルシティ博多	● 福岡歯科大学	★ ボンラバス花畑
★ ソラリアプラザB1	★ 博多リバレイン	★ サニー重留店	★ 柏原
★ イオンショッピング福岡店	博多区役所	★ イオン原店	★ ダイキョープラザ
福岡市役所	日本タングステン	福岡市西区	★ エル鶴田
中央区役所	博多港センタービル	★ 姪浜駅	★ パセオ野間大池
★ アクロス福岡	● ヒノデビルディング	★ イオンマリナタウン	★ 福岡赤十字病院
● KBCビル	★ 呉服町	★ マリノアシティ福岡	福岡市東区
★ 済生会病院	警察本部	★ 小戸	★ 九州大学病院
★ ヤフオクドーム	★ 国保会館前	★ 福重	★ ゆめタウン博多
★ 鳥飼	★ ワイジェイカードビル	★ サニー下山門店	● 九州大学内
★ イオン笹丘店	福岡合同庁舎	★ イオン福重店	★ 香椎駅前通り
★ サニー小笹店	★ パビヨンプラザ	★ 白十字病院	★ みゆき通り
電気ビル	★ マルショク諸岡店	★ イオンモール福岡伊都	★ イオンモール香椎浜
★ サニー那の川店	金隈病院	★ ハローパーク周船寺	★ JR千早駅
★ 平尾山荘通り	★ 千代町	★ サニー姪浜店	★ サニー舞松原店
★ 西鉄薬院駅	★ 西日本新聞製作センター	★ 木の葉モール橋本	★ 香椎花園前
	★ JR南福岡駅	● 九大伊都キャンパス	● 九州産業大学
	パビヨン24	★ 九大伊都キャンパス第2	● 九産大新1号館
	★ エキサイド博多	福岡市城南区	★ アイランドシティ
	★ フォレオ博多	● 福大バスターミナル	★ 奈多
		★ 福岡大学病院	★ 三苫駅前
		★ サニー茶山店	★ サトー食鮮館和白店
		★ ナフコ堤店	★ 若宮5丁目

●：土曜日もご利用いただけます。（日曜日と祝日は稼働いたしません）
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

北九州地区

★ ミスターマックス土井店

宇美町役場

● 福岡工業大学

★ イオン福岡東店

★ エフコープ新宮店

志免町役場

● 福岡和白病院

● 須恵町役場

★ 名島

★ イオンモール福岡

★ 福岡市立こども病院

★ ミスターマックス粕屋店

★ 福岡女子大学

粕屋町役場

★ 福岡市青果市場

★ トリアス久山

福岡市近郊

★ ザ・モール春日

★ サンリブ古賀

★ ミスターマックス春日SC

古賀市役所

★ サニー宝町

★ 花見

春日市役所

● 宗像市役所

★ イオン大野城店

★ レガネット東郷店

★ イオン下大利店

★ ゆめタウン宗像

★ 白木原駅前

★ サンリブくりえいと宗像

大野城市役所

福岡教育大学

★ 西鉄ストア牛頸店

★ 自由ヶ丘

★ 大野東

宗像水光会総合病院

筑紫女学園

★ 東福岡

★ 五条

★ イオンモール福津

★ マミーズ太宰府西店

★ レガネットガーデン福津

★ ゆめタウン筑紫野

★ サニー前原店

★ シュロアモール筑紫野

糸島市役所本庁舎

★ イオンモール筑紫野

★ 糸島市役所二文庁舎

★ 福岡大学筑紫病院

★ イオンスーパーセンター志摩

★ 筑紫野ベレッサ

★ 西鉄筑紫駅

★ イオン二日市店

筑紫野市役所

● 済生会二日市病院

★ エフコープ那珂川店

小倉北区・小倉南区

★ チャチャタウン小倉

★ 小倉駅

★ モノレール小倉駅前

★ コレット井筒屋

医療センター

★ 小倉西

小倉北区役所

★ リバーウォーク北九州

★ スピナマート中井店

★ サンリブ西小倉

● 九州歯科大学

● 九州労災病院

小倉南区役所

● 北九州市立大学

★ 中曽根

★ サンリブシティ小倉

★ 北九州空港

★ サンリブきふね

★ 上吉田1丁目

★ ハローパーク大手町

戸畑区・若松区

北九州学術・研究都市

★ ショッピングパーク鞘ヶ谷

九州工業大学

北九州テクノセンター

★ イオン戸畑店

★ 戸畑共立病院前

★ 沢見

新日鐵戸畑西門

★ サンリブ若松

若松区役所

★ サンリブ高須

★ イオン若松店

八幡東区・八幡西区

八幡東区役所

● 製鉄記念八幡病院

★ イオンモール八幡東

● 済生会八幡総合病院

九州国際大学

★ スピナ枝光店

★ スピナマートさくら通り店

★ メイト黒崎

★ コムシティ

★ ミスターマックス本城店

★ エフコープ折尾店

★ ミスターマックス八幡西店

福原学園内

産業医科大学病院

★ サンリブ木屋瀬

★ ホームワイド永犬丸店

★ サンリブ三ヶ森

★ イオンタウン黒崎

★ サンリブ折尾

北九州市近郊

★ ショッピングモールなかま

中間市役所

★ 梅ノ木プラザ

★ グランモール水巻

★ 芦屋町役場

★ ゆめタウン遠賀

岡垣町役場

★ イオンスーパーセンター岡垣

京築地区

- ★ マルショク北泉店
- ★ ゆめタウン行橋
- 行橋市役所
- ウィズゆくはし
- ★ コスタ行橋
- 苅田町役場
- ★ サンリブ苅田
- ★ マルショク豊津店
- ★ 犀川駅前
- 築上町役場
- 豊前市役所
- ★ スーパーセンタートライアル豊前店
- 小波瀬病院

筑豊地区

- ★ ミスターマックス飯塚花瀬店
- ★ 飯塚病院
- 九工大情報工学部
- ★ コスモス伊岐須店
- 飯塚市役所
- 飯塚市立病院
- ★ イオン穂波店
- ★ イオン穂波店第2
- ★ 飯塚市役所穂波支所
- 飯塚市役所庄内支所
- ★ 額田
- ★ JR新飯塚駅
- 済生会飯塚嘉穂病院
- 直方市役所
- 直方市役所第2
- 直方南
- ★ イオンモール直方
- ★ ルミエール宮田店
- ★ 若宮駐在所前
- 田川市役所
- 田川市立病院
- ★ サンリブ田川
- 社会保険田川病院
- ★ 一本松
- 川崎町役場
- ★ 桂川駅
- ★ 道の駅うすい
- 嘉麻市役所稲築庁舎

久留米市

- ★ 西鉄久留米駅前
- ★ 西鉄久留米駅ビル
- ★ マミーズ久留米インター店
- 久留米大学医療センター
- 久留米大学病院1階
- 久留米大学病院本館3階
- 久留米大学商学部
- ★ サニーみいまち
- ★ サニー善導寺
- ★ エフコープ久留米店
- ★ サンリブ久留米
- ★ 西久留米
- ★ ゆめタウン久留米
- ★ マックスバリュ田主丸店
- 城島
- ★ 聖マリア病院
- ★ ハローディ国分店
- ★ ゆめタウン八女
- ★ マミーズ西牟田店
- ★ サンリブ筑後店
- 筑後市役所
- 筑後市立病院
- ★ くらかす
- ★ マミーズ船小屋店
- ★ 水田
- ★ ゆめモール筑後
- ★ イオンスーパーセンター大木
- ★ ゆめタウン大川
- 大川市役所
- 高木病院
- 柳川市役所
- ★ マミーズ柳川
- ★ ゆめモール柳川
- ★ 沖端
- みやま市役所
- みやま市役所山川支所
- ★ ヨコクラ病院
- 大牟田市役所
- 大牟田市立病院
- 済生会大牟田病院
- ★ ゆめタウン大牟田
- ★ イオンモール大牟田
- 大牟田天領病院

久留米市以外の 県南地区

- 小郡市役所
- ★ イオン小郡ショッピングセンター
- ★ レガネット美鈴の杜店
- 朝倉市役所
- ★ イオン甘木店
- 朝倉医師会病院
- ★ 三奈木
- うきは市役所
- ★ ゆめマートうきは
- ★ サンビットバリュー浮羽店
- 公立八女総合病院
- 八女市役所
- 福岡県外
- ★ イオンタウン荒尾
- ★ 荒尾中央病院
- ★ フレスポ鳥栖

●：土曜日でも利用いただけます。（日曜日と祝日は稼働いたしません）
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

主なお取扱い内容(当行の通帳・カードおよびFFGグループ銀行の通帳・カード使用の場合)

当行の自動サービスコーナーにて、当行の通帳・カードもしくはFFGグループ銀行(熊本銀行・親和銀行)の通帳・カードを使用される場合のご利用時間と主な手数料は下表のとおりです。また、下表はご利用時間が最も長い自動サービスコーナーの例であり、ご利用時間帯およびサービスの内容は自動サービスコーナーごとに異なります。また、共同サービスコーナーによっては手数料が異なる場合がございます。他行・ゆうちょ銀行のカードを使用される場合や、コンビニATMのご利用時間・手数料などについては、福岡銀行ホームページをご覧ください。

※お振込およびお振込予約には別途所定の振込手数料がかかります。

サービス			ご利用時間帯	時:分	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00	23:00
当行の通帳・カードを使用される場合	平日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン	108円										108円	
			普通・貯蓄・カードローン												
		お預け入れ	当座(当座勘定入金帳)				(口座開設店以外のとき108円)								
			積立式定期・定期・納準												
		積立式定期・定期の解約、一部引き出し					(月末営業日の中途解約・一部引き出しは15:00まで)								
		お振込※	お振込予約												
		お振り替え	普通・貯蓄・カードローン												
		宝くじ購入	普通・貯蓄				抽選日に該当するくじは18:30まで								
		残高照会・通帳記入・暗証番号変更・ペイジーによる払い込み													
	土日祝	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン				108円								
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン												
		お振込予約※													
		宝くじ購入	普通・貯蓄				抽選日に該当するくじは18:30まで								
		残高照会・通帳記入・暗証番号変更・ペイジーによる払い込み													
FFGグループ銀行の通帳・カードを使用される場合	平日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン	108円										108円	
			普通・貯蓄・カードローン												
		お預け入れ	当座(当座勘定入金帳)												
			納準												
		お振込※	お振込												
			お振込予約												
		残高照会・通帳記入													
	土日祝	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン				108円								
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン												
		お振込予約※													
		残高照会・通帳記入													

平成28年6月30日現在(上記手数料は消費税込みの金額です。)

※当行ATM(他行幹事の共同コーナーは対象外)・熊本銀行ATM・親和銀行ATM・イオン銀行ATMの時間外手数料は、マイバンク「三ツ星以上」の方は無料となります。なお、当行カードを他行ATM(ゆうちょ銀行ATMを含む)でご利用される場合、マイバンクの手数料特典は適用されません。

※硬貨を伴うお取引、定期預金のお取引、カードローンの一部お取引、および振込カード・振込通帳を利用したお取引は、当行ATMで当行の通帳・カードを使用される場合のみご利用いただけます。(硬貨を伴うお取引は、平日8:45～18:00に硬貨機能付のATMでのみご利用いただけます。)

- 注) 1. 土曜日、日曜日、祝日はご利用いただけません。2. 「お引き出し」は次のご利用限度額が適用されます。
 ●1日あたりの限度額はカード種類によって異なります。
 ●1回あたりの限度額は紙幣100枚まで、最高で100万円までです。
 3. 1回あたりの「お預け入れ」は、紙幣・硬貨それぞれ100枚までで合計で100万円まで(回数制限なし)のお取り扱いとなります。
 4. 「お振り替え」は、キャッシュカードから別の通帳へ現金を引き出すお預入れサービスです。
 5. 現金での「お振込」「ペイジーによる払い込み」は平日8:45～18:00に硬貨機能付のATMでのみご利用いただけます。
 6. 平日の15時以降・土曜日・日曜日・祝日・振替休日の「お振込」は、「お振込予約(翌営業日扱い)」となりますので、ご了承ください。

通帳やキャッシュカードを紛失されたとき

- すぐにお取引店またはふくぎんの本支店にお電話ください。(平日の時間外や土・日・祝日は右記にお電話ください。)
- 盗難の場合は、警察にもお届けください。
- 電話でのお届けは仮のお届けです。書面での正式の届け出が必要ですので、お早めに次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。
- お届け印 ●本人確認書類(運転免許証・パスポートなど。詳しくは窓口にお尋ねください。)
- 通帳やキャッシュカードの再発行には、1枚につき1,080円(消費税込)の再発行手数料が必要です。
- 通帳またはキャッシュカードを発見されたときは、発見された通帳またはカードとお届け印、および本人確認書類をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。この届け出がないとご利用になれません。

喪失届受付センター

☎ 0120-100-508

●月 6:30～8:45 17:00～24:00
 ●火～金 0:00～8:45 17:00～24:00
 ●土 0:00～21:00
 ●日・祝日 6:30～21:00
 (携帯電話からの届け出もできます。)

※上記時間内でも祝日の翌日の朝0:00～6:30は受付いたしていません。

暗証番号をお忘れになったとき、暗証番号を変更されたいとき

- 暗証番号をお忘れになったときは、暗証番号の変更手続きを行ってください。(暗証番号のご照会とはできません。)
- 暗証番号を変更されたいときは、次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。
- 通帳またはキャッシュカード ●お届け印 ●本人確認書類(運転免許証・パスポートなど。詳しくは窓口にお尋ねください。)
- ふくぎんのATMでも、キャッシュカードまたは通帳を使って暗証番号変更の手続きができます。

福岡銀行ローンセンター・ローンプラザ



福岡銀行では、18ヶ所に設置したローンセンターとローンプラザで、専門スタッフがお客さまの住宅資金等ローンに関するご質問・ご相談にわかりやすくお応えします。

●福岡銀行ローンセンター（平日および第2・第4日曜日 / 福岡ローンセンターと北九州ローンセンターは毎週土・日曜日も営業）

福岡ローンセンター [本店2階]

住所 福岡市中央区天神2-13-1
電話 092-723-2231
FAX 092-725-1540

北九州ローンセンター [小倉支店4階]

住所 北九州市小倉北区船場町2-1
電話 093-541-2720
FAX 093-541-1724

姪浜ローンセンター [姪浜支店2階]

住所 福岡市西区姪浜駅南1-7-1
電話 092-881-2641
FAX 092-881-2675

箱崎ローンセンター [箱崎支店3階]

住所 福岡市東区箱崎1-4-13
電話 092-641-0347
FAX 092-641-2051

大橋ローンセンター [大橋支店2階]

住所 福岡市南区大橋1-20-7
(平成27年9月仮店舗)
電話 092-551-2141
FAX 092-551-2148

二日市ローンセンター [二日市支店2階]

住所 筑紫野市二日市中央2-5-1
電話 092-924-2129
FAX 092-923-4364

古賀ローンセンター [古賀支店]

住所 古賀市天神1-3-35
電話 092-943-7438
FAX 092-943-1764

黒崎ローンセンター [黒崎支店2階]

住所 北九州市八幡西区黒崎3-2-2
電話 093-642-5326
FAX 093-642-5370

久留米ローンセンター [久留米営業部1階]

住所 久留米市日吉町16-18
電話 0942-32-4641
FAX 0942-32-4787

鹿児島ローンセンター [鹿児島営業部2階]

住所 鹿児島市中央町15-23
電話 099-253-2377
FAX 099-253-2379

●福岡銀行ローンプラザ（平日のみ / ひびきのローンプラザは毎週土・日曜日、千早ローンプラザは毎週日曜日も営業）

ひびきのローンプラザ [ひびきの支店]

住所 北九州市若松区塩屋2-1-14
電話 093-741-2533
FAX 093-741-2534

千早ローンプラザ [千早支店]

住所 福岡市東区水谷2-51-10
電話 092-410-9214
FAX 092-672-4174

小倉東ローンプラザ [小倉東支店]

住所 北九州市小倉南区
上葛原1-14-12
電話 093-967-7097
FAX 093-921-1536

行橋ローンプラザ [行橋支店3階]

住所 行橋市中央3-1-22
電話 0930-22-0447
FAX 0930-23-9767

飯塚ローンプラザ [飯塚支店]

住所 飯塚市片島1-2-25
電話 0948-22-5992
FAX 0948-22-7513

甘木ローンプラザ [甘木支店]

住所 朝倉市甘木1842-1
電話 0946-22-2943
FAX 0946-22-9051

大牟田ローンプラザ [大牟田支店2階]

住所 大牟田市有明町1-2-11
電話 0944-52-3225
FAX 0944-52-3217

下関ローンプラザ [下関支店]

住所 山口県下関市竹崎町1-17-6
電話 083-222-8146
FAX 083-232-6349

※ローンセンター・ローンプラザの営業日・営業時間は店舗によって異なりますので、詳しくは当行ホームページをご確認ください。
※ゴールデンウィーク（5/3～5/5）および年末年始（12/31～1/3）はお休みさせていただきます。

●平成28年10月以降の営業体制について
平成28年10月11日より、ローンセンターおよびローンプラザの営業拠点、営業日・営業時間等を変更いたします。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

熊本県

熊本市内

代理 往機 信託 証券	★ 本店	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20	096-385-1112
往機 信託	★ 麻生田	〒861-8081 熊本市北区麻生田3-3-66	096-337-2800
代理 往機 信託	★ 植木	〒861-0132 熊本市北区植木町植木東2-205-1	096-272-0109
代理 往機 信託	★ 薄場	〒861-4131 熊本市南区薄場3-4-5	096-358-3131
代理 往機 信託	★ 大江白川	〒862-0971 熊本市中央区大江3-2-34	096-371-6000
代理 往機 信託	★ 川尻	〒861-4115 熊本市南区川尻4-3-52	096-357-9654
代理 往機 信託	★ 京町台	〒860-0074 熊本市西区出町2-26	096-354-2300
往機 信託	★ 楠	〒861-8003 熊本市北区楠2-1-60	096-338-2211
外画 代理 往機 信託	★ 健軍	〒862-0911 熊本市東区健軍3-48-22	096-368-2161
外画 往機 信託	★ 庁	〒862-0950 熊本市中央区水前寺6-18-1	096-213-6580
代理 往機 信託	★ 子飼橋	〒860-0851 熊本市中央区子飼本町6-25	096-343-5151
往機 信託	★ 桜木	〒861-2118 熊本市東区花立3-15-22	096-367-5711
代理 往機 信託	★ 清水	〒861-8072 熊本市北区室園町10-30	096-343-6111
外画 代理 往機 信託	★ 下通	〒860-0808 熊本市中央区手取本町5-10	096-353-0171
外画 代理 往機 信託	★ 浄行寺	〒860-0863 熊本市中央区坪井4-19-18	096-343-4121
代理 往機 信託	★ 新大江	〒862-0972 熊本市中央区新大江3-19-14	096-384-3222
外画 代理 往機 信託	★ 水前寺	〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園1-1	096-383-3177
代理 往機 信託	★ 西山中学前	〒860-0046 熊本市中央区横手1-2-95	096-353-2288
代理 往機 信託	★ 崇城大学通	〒860-0079 熊本市西区上熊本3-16-6	096-352-9611
代理 往機 信託	★ 第二空港通	〒862-0916 熊本市東区佐土原1-1-23	096-365-7575
代理 往機 信託	★ 託麻	〒861-8035 熊本市東区御領2-7-33 ◆(東託麻支店内にて営業中)	096-382-4530
代理 往機 信託	★ 田崎	〒860-0053 熊本市西区田崎2-2-33	096-354-3531
代理 往機 信託	★ 田迎	〒862-0963 熊本市南区出仲間8-3-1	096-378-1232
代理 往機 信託	★ 近見	〒861-4101 熊本市南区近見1-3-7	096-359-2300
外画 代理 往機 信託	★ 中央	〒860-0806 熊本市中央区花畑町12-24 ◆(花畑支店内にて営業中)	096-356-5111
代理 往機 信託	★ 日赤通	〒862-0920 熊本市東区月出1-8-19	096-381-1211

◆平成28年熊本地震の影響により、仮店舗にて営業しております。

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
●：土曜日にご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
★：土曜日、日曜日と祝日にご利用いただけます。

(出)：出張所
(駐)：駐在員事務所

外画：外貨両替取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)
証券：証券仲介業務取扱店
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店

往機：住宅金融支援機構業務取扱店（融資受付店）
※当行はフラット35のみのお取り扱いとなります。
往機：住宅金融支援機構業務取扱店（融資業務は取り扱いません）
信託：信託業務取扱店（取扱商品は店舗によって異なります）

代理 往機 信託	★ 白山通	〒862-0976 熊本市中央区九品寺5-8-21	096-371-4747
外画 代理 往機 信託	★ 花畑	〒860-0806 熊本市中央区花畑町12-24	096-325-6111
外画 代理 往機 信託	★ 東託麻	〒861-8035 熊本市東区御領2-7-33	096-389-3434
代理 往機 信託	★ 保田達	〒862-0924 熊本市中央区帯山4-55-8	096-381-9291
代理 往機 信託	★ 南熊本	〒860-0831 熊本市中央区八王寺町30-1	096-370-1331
外画 代理 往機 信託	★ 武蔵ヶ丘	〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘3-10-1	096-339-3131

熊本市外

代理 往機 信託	★ 阿蘇	〒869-2301 阿蘇市内牧258	0967-32-0735
外画 代理 往機 信託	★ 天草	〒863-0022 天草市栄町3-7	0969-22-5258
代理 往機 信託	★ 荒尾	〒864-0054 荒尾市大正町1-1-20	0968-62-1151
代理 往機 信託	★ いづわ	〒863-2421 天草市五和町二江4697	0969-33-1121
代理 往機 信託	★ 牛深	〒863-1901 天草市牛深町字新瀬崎73-4	0969-73-2173
外画 代理 往機 信託	★ 宇土	〒869-0433 宇土市新小路町143-2	0964-22-0671
外画 代理 往機 信託	★ 大津	〒869-1235 菊池郡大津町大字室261-7	096-293-3251
代理 往機 信託	★ 大矢野	〒869-3602 上天草市大矢野町上1503-1	0964-56-1301
代理 往機 信託	★ 小国	〒869-2501 阿蘇郡小国町大字宮原1784-1	0967-46-3125
代理 往機 信託	★ 鏡	〒869-4203 八代市鏡町鏡21-1	0965-52-1011
代理 往機 信託	★ 嘉島	〒861-3106 上益城郡嘉島町大字上島2078-5	096-237-5100
外画 代理 往機 信託	★ 菊池	〒861-1331 菊池市隈屋558-10	0968-25-4161
代理 往機 信託	★ 菊南	〒861-1102 合志市須屋672-1	096-345-1121
往機 信託	★ 菊陽	〒869-1101 菊池郡菊陽町大字津久礼2947-2	096-233-0015
代理 往機 信託	★ 合志	〒861-1112 合志市幾久富1758-292	096-248-8121
外画 代理 往機 信託	★ 玉名	〒865-0051 玉名市繁根木91	0968-73-3144
代理 往機 信託	★ 多良木	〒868-0501 球磨郡多良木町大字多良木885-3	0966-42-2019
代理 往機 信託	★ 天水	〒861-5401 玉名市天水町小天6718-2	0968-82-2471
代理 往機 信託	★ 南関	〒861-0803 玉名郡南関町関町1387-6	0968-53-2141
代理 往機 信託	★ 浜町	〒861-3518 上益城郡山都町浜町165-5	0967-72-1125

外資	代理	信託	★	人吉	〒868-0005 人吉市上青井町1-44	0966-22-4115
	代理	信託	★	益城	〒861-2233 上益城郡益城町惣領1440-9	096-286-8181
	代理	信託	★	松江通	〒866-0875 八代市横手新町20-2	0965-35-3303
	代理	信託	★	松島	〒861-6102 上天草市松島町合津4276-291	0969-56-1118
	代理	信託	★	松橋	〒869-0502 宇城市松橋町松橋965-1	0964-32-1010
外資	代理	信託	★	三角	〒869-3207 宇城市三角町三角浦1159-36	0964-52-3131
	代理	信託	★	水俣	〒867-0066 水俣市古賀町1-2-5	0966-63-3171
	代理	信託	★	宮地	〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地1871-5	0967-22-0521
		信託	★	宮原（出）	〒869-4608 八代郡氷川町宮原栄久18-1	0965-62-2411
外資	代理	信託	★	八代	〒866-0844 八代市旭中央通り17-7	0965-32-2103
	代理	信託	★	山鹿	〒861-0501 山鹿市山鹿992-1	0968-43-2108

福岡県

外資	代理	信託	福岡	〒812-0026 福岡市博多区上川端9-166	092-281-0323
	代理	信託	諸岡	〒812-0894 福岡市博多区諸岡3-10-13	092-501-8866
外資	代理	信託	久留米	〒830-0032 久留米市東町36-7	0942-33-1346
	代理	信託	★大牟田	〒836-0807 大牟田市旭町1-1-1	0944-53-3153

福岡県外・熊本県外

外資	代理	信託	鹿児島	〒890-0053 鹿児島市中央町13-1	099-259-6111
		信託	出水	〒899-0202 出水市昭和町11-1	0996-62-0581
外資	代理	信託	川内	〒895-0027 薩摩川内市西向田町3-9	0996-22-4148

その他

信託	営業推進部	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20	096-385-1141
信託	ソリューション営業部	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20	096-385-1280

店 舗	（平成28年6月30日現在）
熊 本 県	63（本店1 支店61 出張所1）
福 岡 県	4（支店4）
九州域内の福岡・熊本県外	3（支店3）
合 計	70（本店1 支店68 出張所1）
海外駐在員事務所	0

現金自動設備設置台数	
ATM（現金自動預入支払機）	241台
うち店舗外	62台
CD（現金自動支払機）	20台
うち店舗外	20台
為替振込機	0台
うち店舗外	0台
合計	261台
うち店舗外	82台

（平成28年6月30日現在）

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。

熊本銀行 <http://www.kumamotobank.co.jp>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
 ●：土曜日でもご利用いただけます。（日曜日と祝日は稼働いたしません）
 ★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

（出）：出張所
 （駐）：駐在員事務所

外資：外貨両替取扱店
 （取扱通貨は店舗によって異なります）

証券：証券仲介業務取扱店
 代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店

信託：住宅金融支援機構業務取扱店（融資受付店）
 ※当行はフラット35のみの取り扱いとなります。

信託：住宅金融支援機構業務取扱店（融資業務は取り扱いしません）
 信託：信託業務取扱店（取扱商品は店舗によって異なります）

熊本市内

- ★ 秋津レークタウン
- ★ ウエッキー
- 帯山
- ★ 上通
- ★ 熊本駅ビル
- 熊本学園
- 熊本県立大学
- 熊本市役所
- 熊本大学
- ★ 熊本大学医学部附属病院
- 熊本地方合同庁舎
- 熊本中央病院
- 県庁新館
- ★ 湖東
- ★ 済生会熊本病院
- ★ 桜十字病院
- ★ サンリブシティくまなん
- ★ 下通ファミリープラザ
- ★ シュロアモール長嶺
- 崇城大学
- ★ 託麻支店駐車場内
- 田崎市場
- ★ 鶴屋
- ★ 日赤病院
- ★ ホームセンターダイキ東バイパス店
- ★ ホームセンターダイキ本山店
- ★ 本店CDコーナー
- ★ ミスターマックス熊本インター店
- ★ ミスターマックス山鹿店
- ★ 御幸田迎

- 迎町
- ★ ゆめタウンサンピアン
- ★ ゆめタウンはません
- ★ ゆめマート清水
- ★ ゆめマート城山
- ★ ゆめマート水前寺駅
- ★ ゆめマート新外

- 嘉島町役場
- 人吉市役所
- 水俣市役所
- ★ 八代市役所鏡支所
- ★ ゆめタウン八代
- ★ ゆめマート松橋

天草地区

- 天草市庁舎別館
- 天草市役所
- ★ イオン天草店
- ★ リンドモール太陽

熊本市外

城北地区

- ★ 阿蘇温泉病院
- ★ 阿蘇市役所
- ★ あらおシティモール
- 荒尾市役所
- ★ イオン大津店
- ★ イオン菊陽店
- ★ 大津町役場
- 菊池市役所
- ★ 熊本県阿蘇総合庁舎
- ★ 山鹿市役所
- ★ ゆめタウン玉名
- ★ ゆめタウン光の森

城南地区

- ★ 阿蘇くまもと空港
- ★ イオン熊本店
- ★ イオン錦店
- ★ イオンモール宇城
- ★ イオンモール熊本
- ★ イオン八代ショッピングセンター
- 宇城市役所
- ★ 宇土シティ

福岡県

- ★ イオンモール大牟田

※平成28年熊本地震の影響により
臨時休業中のATM情報については、
随時ホームページで更新して
おります。

主なお取扱い内容(当行の通帳・カードおよびFFGグループ銀行の通帳・カード使用の場合)

当行の自動サービスコーナーにて、当行の通帳・カードもしくはFFGグループ銀行(福岡銀行・親和銀行)の通帳・カードを使用される場合のご利用時間と主な手数料は下表のとおりです。また、下表はご利用時間が最も長い自動サービスコーナーの例であり、ご利用時間帯およびサービスの内容は自動サービスコーナーごとに異なります。

他行・ゆうちょ銀行のカードを使用される場合や、コンビニATMのご利用時間・手数料などについては、熊本銀行ホームページをご覧ください。

※お振込およびお振込予約には別途所定の振込手数料がかかります。

サービス				ご利用時間帯		時:分	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00	23:00
当行の通帳・カードを使用される場合	平日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン	108円												108円	
			普通・貯蓄・カードローン														
		お預け入れ	当座(当座勘定入金帳)														
			積立式定期・定期・納準														
		積立式定期・定期の解約、一部引き出し															
			(月末営業日の中途解約・一部引き出しは15:00まで)														
		お振込※															
		お振込予約															
		お振り替え	普通・貯蓄・カードローン														
		残高照会・通帳記入・暗証番号変更・ペイジーによる払い込み															
FFGグループ銀行の通帳・カードを使用される場合	平日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン	108円												108円	
			普通・貯蓄・カードローン														
		お預け入れ	当座(当座勘定入金帳)														
			納準														
		お振込※	お振込														
		お振込予約	お振込予約														
		残高照会・通帳記入															
		お引き出し	普通・貯蓄・カードローン													108円	
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン														
		お振込※															
FFGグループ銀行の通帳・カードを使用される場合	土日祝	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン													108円	
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン														
		お振込※															
		お振込予約															
		残高照会・通帳記入															
		お引き出し	普通・貯蓄・カードローン													108円	
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン														
		お振込※															
		お振込予約															
		残高照会・通帳記入															

平成28年6月30日現在(上記手数料は消費税込みの金額です。)

※当行ATM(他行幹事の共同コーナーは対象外)・福岡銀行ATM・親和銀行ATM・イオン銀行ATMの時間外手数料は、マイバンク「三ツ星以上」の方は無料となります。なお、当行カードを他行ATM(ゆうちょ銀行ATMを含む)でご利用される場合、マイバンクの手数料特典は適用されません。

※硬貨を伴うお取引、定期預金のお取引、カードローンの一部お取引、および振込カード・振込通帳を利用したお取引は、当行ATMで当行の通帳・カードを使用される場合のみご利用いただけます。

(硬貨を伴うお取引は、平日8:45～18:00に硬貨機能付のATMでのみご利用いただけます。)

注) 1. 土曜日・日曜日・祝日はご利用いただけないサービスコーナーもございます。

2. 「お引き出し」は次のご利用限度額があります。

- 1日あたりの限度額はカード種類によって異なります。
- 1回あたりの限度額は紙幣100枚まで、最高で100万円までです。

3. 1回あたりの「お預け入れ」は、紙幣・硬貨それぞれ100枚までで合計100万円まで(回数制限なし)のお取り扱いとなります。

4. 「お振り替え」は、キャッシュカードから別の通帳へ現金を引き出さずにお預け入れするサービスです。

5. 現金での「お振込」「ペイジーによる払い込み」は平日8:45～18:00に硬貨機能付のATMでのみご利用いただけます。

6. 平日の15時以降・土曜日・日曜日・祝日・振替休日の「お振り込み」は、「お振込予約(翌営業日扱い)」となりますので、ご了承ください。

通帳やキャッシュカードを紛失されたとき

○すぐにお取引店または熊本銀行の本支店にお電話ください。(平日の時間外や土・日・祝日は右記にお電話ください。)

盗難の場合は、警察にもお届けください。

○電話でのお届けは仮のお届けです。書面での正式な届け出が必要ですので、お早めに次のものをご持参のうえ、お近くの熊本銀行の窓口にお申し出ください。

- お届け印
- 本人確認書類(運転免許証・パスポートなど。詳しくは窓口でお尋ねください。)

○通帳やキャッシュカードの再発行には、1枚につき1,080円(消費税込)の再発行手数料が必要です。

○通帳またはキャッシュカードを発見されたときは、発見された通帳またはキャッシュカードとお届け印、および本人確認書類をご持参のうえ、お近くの熊本銀行の窓口にお申し出ください。この届け出がないとご利用になれません。

喪失届受付センター

0120-153-355

◎月 6:30～8:45 17:00～24:00

◎火～金 0:00～8:45 17:00～24:00

◎土 0:00～21:00

◎日・祝日 6:30～21:00

(携帯電話からのお届けもできます。)

※上記時間内でも祝日の翌日の朝0:00～6:30は受付いたしていません。

暗証番号をお忘れになったとき、暗証番号を変更されたいとき

○暗証番号をお忘れになったときは、暗証番号の変更手続きを行ってください。(暗証番号のご照会はありません。)

○暗証番号を変更されたいときは、次のものをご持参のうえ、お近くの熊本銀行の窓口にお申し出ください。

- 通帳またはキャッシュカード
- お届け印
- 本人確認書類(運転免許証・パスポートなど。詳しくは窓口でお尋ねください。)

○熊本銀行のATMでも、キャッシュカードまたは通帳を使って暗証番号変更の手続きができます。

熊本銀行 ローンセンター

熊本銀行では、平日にご来店できないお客さまのために、土曜日・日曜日でも住宅ローンのほか、各種ローンに関するご相談にお応えするローンセンターを設置しています。

【ローンセンター営業時間】

平日 9:00～17:00、土曜・日曜日 10:00～17:00

休業日 水曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)

※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を営業日とし、振替休日を休業日とします。

くまもとローンセンター【水前寺支店2階】

住所 熊本市中央区水前寺公園1-1

電話 096-385-2424

FAX 096-385-9344

合志ローンセンター【合志支店2階】

住所 合志市幾久富1758-292

電話 096-248-4722

FAX 096-247-4670

荒尾ローンセンター【荒尾支店内】

住所 荒尾市大正町1-1-20

電話 0968-62-7377

FAX 0968-62-4820

八代ローンセンター【八代支店内】

住所 八代市旭中央通り17-7

電話 0965-32-7077

FAX 0965-32-7822



長崎県

佐世保市

外両	代理	住構 証券 信託	★	本	店	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12	0956-24-5115
外両	代理	住構 信託	★	佐世保	保	〒857-0863 佐世保市三浦町1-26	0956-22-4126
	代理	住構 信託	★	大	宮	〒857-0841 佐世保市大宮町3-4	0956-31-2131
外両	代理	住構 信託	★	浜田	町	〒857-0051 佐世保市浜田町2-2	0956-22-8171
		住構 信託	★	宮田	町	〒857-0032 佐世保市宮田町4-2	0956-22-8146
外両	代理	住構 信託	★	大野	野	〒857-0134 佐世保市瀬戸越4-7-19	0956-49-3736
	代理	住構 信託	★	日野	野	〒858-0925 佐世保市椎木町343-1	0956-47-5111
外両	代理	住構 信託	★	卸本	町	〒857-1162 佐世保市卸本町12-1	0956-31-4301
	代理	住構 信託	★	相浦	浦	〒858-0918 佐世保市相浦町1638	0956-47-3181
	代理	住構 信託	★	日宇	宇	〒857-1151 佐世保市日宇町708	0956-31-6101
外両	代理	住構 信託	★	早岐	岐	〒859-3223 佐世保市広田3-1-4	0956-38-2101
		住構 信託	★	花高	高	〒859-3212 佐世保市花高1-4-20	0956-38-1101
		住構 信託	★	黒髪	髪	〒857-1152 佐世保市黒髪町9-22	0956-32-4811
		住構 信託	★	大野中央	央	〒857-0134 佐世保市瀬戸越2-18-9	0956-40-9741
	代理	住構 信託	★	吉井	井	〒859-6326 佐世保市吉井町立石499	0956-64-3131
	代理	住構 信託	★	江迎	迎	〒859-6101 佐世保市江迎町長坂144	0956-66-3161
	代理	住構 信託		宇久	久	〒857-4901 佐世保市宇久町平3033-3	0959-57-3151
		住構 信託		佐世保市役所		〒857-0028 佐世保市八幡町1-10	0956-22-4211

長崎市

外両	代理	住構	★	長	崎	〒850-0876 長崎市賑町6-6	095-824-6111
	証券	信託					
外両	代理	住構	★	大 波 止	〒850-0036 長崎市五島町4-16	095-822-8151	
		信託					
外両	代理	住構	★	浜 町	〒850-0853 長崎市浜町10-16	095-822-7151	
		信託					
外両	代理	住構	★	浦 上	〒852-8105 長崎市目覚町8-3	095-844-1235	
		信託					
外両	代理	住構	★	住 吉	〒852-8154 長崎市住吉町2-22	095-844-3164	
		信託					
外両	代理	住構	★	旭 町	〒852-8003 長崎市旭町6-1	095-861-5235	
		信託					
	代理	住構	★	馬 町	〒850-0022 長崎市馬町84-1	095-824-2500	
		信託					
外両		住構	★	大 浦	〒850-0918 長崎市大浦町2-2	095-821-1125	
		信託					
	代理	住構	★	富 士 見 町	〒852-8022 長崎市富士見町3-21	095-862-3311	
		信託					
	代理	住構	★	本 原	〒852-8132 長崎市扇町2-20	095-847-2412	
		信託					
		住構	★	野 母	〒851-0505 長崎市野母町2152	095-893-1121	
		信託					
	代理	住構	★	滑 石	〒852-8061 長崎市滑石5-2-25	095-856-3711	
		信託					
外両	代理	住構	★	東 長 崎	〒851-0133 長崎市矢上町8-21	095-839-2425	
		信託					
		住構	★	西 町	〒852-8042 長崎市白鳥町3-28	095-846-1132	
		信託					
		住構	★	葉 山	〒852-8053 長崎市葉山1-5-1	095-856-1756	
		信託					
		住構	★	新 戸 町	〒850-0954 長崎市新戸町2-6-17	095-879-2030	
		信託					
		住構	★	平 和 町	〒852-8116 長崎市平和町5-25	095-848-5591	
		信託					
外両	代理	住構	★	深 堀	〒851-0301 長崎市深堀町1-145-24	095-871-0331	
		信託					
	代理	住構	★	長 崎 漁 港	〒851-2211 長崎市京泊3-10-19	095-850-3591	
		信託					
		住構	★	日 見	〒851-0121 長崎市宿町31-1	095-839-3413	
		信託					
		住構	★	チ ト セ ビ ア	〒852-8135 長崎市千歳町5-1	095-848-1011	
		信託					
		住構		県 庁	〒850-0861 長崎市江戸町2-13	095-821-3095	
		信託					
		住構		長 崎 市 役 所	〒850-0031 長崎市桜町2-22	095-825-2522	
		信託					

西海市

外資	代理	住構	★大瀬戸	〒857-2302 西海市大瀬戸町瀬戸巻浦郷2278-28	0959-22-0003
		住構	★大崎	〒857-2427 西海市大島町1850-2	0959-34-2045
	代理	住構	★大串	〒851-3305 西海市西彼町喰場郷130-11	0959-27-1860

西彼杵郡

外資	代理	住構	★時津	〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷260-2	095-882-2111
	代理	住構	★長与	〒851-2126 西彼杵郡長与町吉無田郷412-1	095-883-4111

諫早市

外資	代理	住構	★諫早	〒854-0025 諫早市八坂町2-1	0957-22-0300
	代理	住構	★諫早駅前	〒854-0071 諫早市永昌東町17-1	0957-22-5811
	代理	住構	★多良見	〒859-0401 諫早市多良見町化屋710-1	0957-43-1151
		住構	★西諫早	〒854-0074 諫早市山川町1-5	0957-26-8000
外資		住構	★諫早中核団地	〒854-0065 諫早市津久葉町5-116	0957-26-7000

島原市

外資	代理	住構	★島原	〒855-0805 島原市堀町180	0957-62-4111
		住構	★島原湊	〒855-0822 島原市中組町1	0957-62-3221

雲仙市

	代理	住構	★吾妻	〒859-1107 雲仙市吾妻町牛口名692-1	0957-38-3115
	代理	住構	★国見	〒859-1306 雲仙市国見町神代己352-1	0957-78-3232
		住構	★千々石	〒854-0405 雲仙市千々石町戊237-1	0957-37-3131

南島原市

代理	住構	★深江	〒859-1504 南島原市深江町丁2160-1	0957-72-3511
代理	住構	★南島原	〒859-2206 南島原市有家町中須川155	0957-82-3111
代理	住構	★口之津	〒859-2502 南島原市口之津町甲2162	0957-86-3211

大村市

外資	代理	住構	★大村	〒856-0826 大村市東三城町4-2	0957-52-2111
	代理	住構	★竹松	〒856-0804 大村市大川田町958	0957-55-7104
		住構	★西大村	〒856-0814 大村市松並1-109-1	0957-52-3191

東彼杵郡

代理	住構	★彼杵	〒859-3808 東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1878-1	0957-46-0010
代理	住構	★川棚	〒859-3608 東彼杵郡川棚町栄町56	0956-82-3141
代理	住構	★波佐見	〒859-3715 東彼杵郡波佐見町宿郷字宿632-3	0956-85-3010

平戸市

代理	住構	★平戸	〒859-5112 平戸市宮の町572	0950-23-2121
代理	住構	★田平	〒859-4825 平戸市田平町山内免282	0950-57-0501
代理	住構	★生月	〒859-5703 平戸市生月町里免3021-1	0950-53-2121

松浦市

外資	代理	住構	★松浦	〒859-4502 松浦市志佐町里免栗毛田342-1	0956-72-0131
----	----	----	-----	----------------------------	--------------

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

外資：外貨両替取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店
住構：住宅金融支援機構業務取扱店
信託：信託業務取扱店
(取扱商品は店舗によって異なります)
証券：証券仲介業務取扱店

北松浦郡

代理 住構 ★ 佐々	〒857-0311 北松浦郡佐々町本田原免187-5	0956-62-2111
住構 信託 小値賀	〒857-4701 北松浦郡小値賀町笛吹郷1887	0959-56-3151

五島市

外画 代理 住構 ★ 福江	〒853-0017 五島市武家屋敷3丁目4-1	0959-72-2151
---------------	-------------------------	--------------

南松浦郡

代理 住構 ★ 新上五島	〒857-4404 南松浦郡新上五島町南方郷1110-39	0959-52-2017
--------------	-------------------------------	--------------

壱岐市

外画 代理 住構 ★ 壱岐中央	〒811-5132 壱岐市郷ノ浦町東船643-5	0920-47-1150
-----------------	--------------------------	--------------

対馬市

外画 代理 住構 ★ 対馬	〒817-0021 対馬市厳原町今屋敷681	0920-52-7600
---------------	------------------------	--------------

福岡県

福岡市近郊

外画 代理 住構 ★ 福岡	〒810-8734 福岡市中央区西中洲6-27	092-731-0091
外画 代理 住構 ★ 西新	〒814-0005 福岡市早良区祖原1-9	092-841-2636
代理 住構 ★ 塩原	〒815-0035 福岡市南区向野2-2-15	092-512-3211

久留米市

外画 代理 住構 ★ 久留米	〒830-0031 久留米市六ツ門町2-1	0942-33-8341
----------------	-----------------------	--------------

北九州市

外画 代理 住構 ★ 小倉	〒802-0006 北九州市小倉北区魚町2-6-10	093-521-1481
---------------	----------------------------	--------------

長崎県外・福岡県外

代理 住構 ★ 伊万里	〒848-0047 伊万里市伊万里町甲366	0955-22-2121
代理 住構 ★ 嬉野	〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙928-1	0954-42-1139
外画 代理 住構 ★ 佐賀中央	〒840-0824 佐賀市呉服元町3-12	0952-23-5161
代理 住構 ★ 武雄	〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡7815	0954-23-2161
住構 ★ 鹿島	〒849-1311 鹿島市大字高津原3981-1	0954-62-2181
代理 住構 ★ 唐津	〒847-0054 唐津市米屋町1656	0955-74-4144
代理 住構 東京	〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7 福岡ビル2階	03-3277-2600

その他

代理 代理 ※電話受付センター (浜田町ビル)	〒857-0051 佐世保市浜田町2-2	0956-76-8034
※ 福岡銀行・熊本銀行の受電業務に関する銀行代理業務取扱店		
信託 営業推進部	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12	0956-23-3603
	〒850-0876 長崎市賑町6-6	095-824-6168
信託 ソリューション営業部	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12	0956-23-3607
	〒850-0876 長崎市賑町6-6	095-824-6164

店 舗	(平成28年6月30日現在)
長 崎 県	76 (本店1 支店75)
福 岡 県	5 (支店5)
九州域内の 長崎・福岡県外	6 (支店6)
九 州 域 外	1 (支店1)
合 計	88 (本店1 支店87)
(支店には、振込管理専用支店1を含む)	
現金自動設備設置台数	
ATM (現金自動預入支払機) うち店舗外	532台 271台
CD (現金自動支払機) うち店舗外	0台 0台
為替振込機 うち店舗外	0台 0台
合計 うち店舗外	532台 271台
(平成28年6月30日現在)	

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。
親和銀行 <http://www.shinwabank.co.jp>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

外画：外貨両替取扱店 (取扱通貨は店舗によって異なります)	住構：住宅金融支援機構業務取扱店
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店	信託：信託業務取扱店 (取扱商品は店舗によって異なります)
信託：熊本銀行の銀行代理業務取扱店	信託：証券仲介業務取扱店

長崎県

佐世保市	★ エレナ相浦店	★ レッドキャベツショッピングモール南長崎	★ 長崎大学病院
★ 佐世保玉屋	★ 上相浦	高島	★ 長崎大学
★ 佐世保市総合医療センター	★ マックスバリュ白岳店	★ エレナ上小島店	★ 香焼
佐世保共済病院	★ イオン佐世保白岳店	★ ララブレイス愛宕	★ エレナ三和店
★ 俵町商店街	★ 三川内	★ 浜町商店街	★ がんばランド
★ エレナ山祇店	★ まるたか早岐店	★ 観光通り電停前	★ マックスバリュ琴海店
● トウインクル西沢	★ エレナ早岐店	★ 仲見世8番街	西海市
★ 京坪	★ マックスバリュ早岐店	三菱重工業長崎造船所	● 大島造船所
万津町	★ エレナ広田店	★ 飽の浦	崎戸
★ 京町	★ ハウステンボス入国棟	★ フレスポ福田	★ エレナ西海店
★ 佐世保駅	★ マルキョウ早岐店	三菱電機長崎製作所	★ 西海
★ させぼ五番街	★ 長崎国際大学	★ 稲佐	★ 西彼総合支所
★ 佐世保中央病院	万徳町	★ 新大工町	★ スーパーウエスト本店
★ 天神	小佐々	★ エレナ小江原店	西彼杵郡
★ エレナ名切店	★ まつばや吉井店	★ まるたか小江原店	三菱電機時津工場
赤崎	徳田病院	★ マックスバリュメルクス長崎店	★ イオン時津店
★ エレナminiサンクル店	★ 世知原	★ 城山	長崎百合野病院
★ マックスバリュ池野店	★ まつばや江迎店	★ LaLaなめし	時津町役場
★ ダイレックス・まつばや矢峰店	鹿町	★ 西友道の尾店	★ マルキョウ時津店
長崎労災病院	長崎市	★ 道ノ尾病院	★ 青雲学園
★ エレナ吉岡店	住友生命ビル	★ マックスバリュ矢上団地店	★ ミスターマックス時津店
★ マックスバリュ中里店	★ 浜屋百貨店	★ LaLa矢上	★ 日並
★ エレナ大野店	★ 有川ビル	★ エレナ日見店	★ エレナ長与店
★ ララブレイス佐世保	★ メルカつきまち	★ イオン東長崎店	★ マックスバリュ長与店
★ まるたかもみじが丘店	★ 夢彩都	★ コスモスダイヤランド店	★ LaLaながよ
★ 大塔	★ アミュプラザ長崎	長崎県庁本館内	長与町役場
★ ホームセンターコーナン大塔店	★ ホテルニュー長崎	長崎市役所別館	★ 嬉里
★ イオン大塔店	★ 長崎みなとメディカルセンター市民病院	★ みらい長崎店	
★ まつばや相浦店	活水学院		

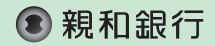
●：土曜日でもご利用いただけます。（日曜日と祝日は稼働いたしません）
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

福岡県

諫早市	大村市	北松浦郡	福岡市近郊
★ 福田町	★ マックスバリュ溝陸店	★ マックスバリュ佐々店	● 九産大新一号館
諫早市役所	★ 長崎空港	佐々町役場	春日市役所共同
★ まるたか幸町店	★ サンスバおおむら	★ エレナ佐々店	糸島市役所共同
★ もみのき村	大村市民病院	佐々ショッピングデパート	★ 天神地下街ブラザ
★ なかよし村有喜店	大村市役所	五島市	★ 天神町
★ エレナ高来店	★ 大村競艇場	五島市役所	★ 渡辺通
諫早総合病院	★ 国立病院長崎医療センター	★ ゲオ福江店	★ 博多駅前
★ エレナアゼリア店	★ エレナ久原店	三井楽	★ イオン福岡伊都店
★ ソニーセミコンダクタ長崎テクノロジーセンター	★ イオン大村店	奈留	★ 姪浜
★ マルキョウウ山台店	★ マックスバリュ大村諏訪店	★ 新栄町通り商店街	★ イオン戸畑店
★ マックスバリュ長崎インター店	★ 市民交流ブラザ	南松浦郡	★ アクロスブラザいとづ
島原市	★ TSUBAKIYA大村店	新上五島町役場 若松支所	★ サンリブもりつね
★ エレナ島原店	★ LaLa 富の原	★ 奈良尾	★ 黒崎
島原市役所	★ まるたか富の原店	★ エレナFC有川店	
★ イオン島原店	★ かとりストアー	上五島病院	
★ 島原ショッピングモールウィルビー	★ マックスバリュ空港通り店	新上五島町役場	
★ エレナ島原栄町店	★ エレナ大村中央店	★ 浦桑ショッピングブラザ	
★ まるたか有明店	東彼杵郡	壱岐市	
雲仙市	★ エレナ川棚店	★ マルエー郷ノ浦店	
★ 雲仙	★ エレナ波佐見店	★ ニューイチャヤマ店	
★ 小浜	平戸市	★ 壱岐ショッピングセンター	
★ 南串山	★ マルセイ中部店	対馬市	
★ エレナ国見店	館浦	★ スーパーサイキ美津島店	
★ 愛野	松浦市		
南島原市	松浦鷹島	佐賀県	
布津	★ ハイマート松浦店	★ エレナ嬉野店	
★ 西有家ショッピングセンターCREA	松浦市役所	伊万里市役所	
★ 有家ツインブラザ	★ 御厨	● 済生会唐津病院	

●：土曜日でも利用いただけます。（日曜日と祝日は稼働いたしません）
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

自動サービスコーナーのご利用時間と手数料



主なお取扱い内容(当行の通帳・カードおよびFFGグループ銀行の通帳・カード使用の場合)

当行の自動サービスコーナーにて、当行の通帳・カードもしくはFFGグループ銀行(福岡銀行・熊本銀行)の通帳・カードを使用される場合のご利用時間と主な手数料は下表のとおりです。また、下表はご利用時間が最も長い自動サービスコーナーの例であり、ご利用時間帯およびサービスの内容は自動サービスコーナーごとに異なります。

他行・ゆうちょ銀行のカードを使用される場合や、コンビニATMのご利用時間・手数料などについては、親和銀行ホームページをご覧ください。

※お振込およびお振込予約には別途所定の振込手数料がかかります。

サービス		ご利用時間帯	時:分	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00	23:00
当行の通帳・カードを使用される場合	平日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン	108円								108円		
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン											
		お預け入れ	当座(当座勘定入金帳)											
		積立式定期・定期・納準												
		積立式定期・定期の解約、一部引き出し												
		お振込												
		お振込予約												
		お振り替え	普通・貯蓄・カードローン											
		残高照会・通帳記入・暗証番号変更・ペイジーによる払い込み												
		お引き出し	普通・貯蓄・カードローン											
FFGグループ銀行の通帳・カードを使用される場合	平日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン	108円								108円		
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン											
		お預け入れ	当座(当座勘定入金帳)											
		お振込												
		お振込予約												
		残高照会・通帳記入												
		お引き出し	普通・貯蓄・カードローン											
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン											
		お振込												
		お振込予約												
FFGグループ銀行の通帳・カードを使用される場合	土曜日・日曜日・祝日	お引き出し	普通・貯蓄・カードローン											
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン											
		お振込												
		お振込予約												
		残高照会・通帳記入												
		お引き出し	普通・貯蓄・カードローン											
		お預け入れ	普通・貯蓄・カードローン											
		お振込												
		お振込予約												
		残高照会・通帳記入												

平成28年6月30日現在(上記手数料は消費税込みの金額です。)

※当行ATM(他行幹事の共同コーナーは対象外)・福岡銀行ATM・熊本銀行ATM・イオン銀行ATMの時間外手数料は、マイバンク「三ツ星以上」の方は無料となります。なお、当行カードを他行ATM(ゆうちょ銀行ATMを含む)でご利用される場合、マイバンクの手数料特典は適用されません。

※硬貨を伴うお取引、定期預金のお取引、カードローンの一部お取引、および振込カード・振込通帳を利用したお取引は、当行ATMで当行の通帳・カードを使用される場合のみご利用いただけます。

(硬貨を伴うお取引は、平日8:45~18:00に硬貨機能付のATMでのみご利用いただけます。)

- 注) 1.土曜日、日曜日、祝日はご利用いただけないサービスコーナーもございます。
 2.「お引き出し」は次のご利用限度額がございます。
 ●1日あたりの限度額はカード種類によって異なります。
 ●1回あたりの限度額は紙幣100枚まで、最高で100万円までです。
 3.1回あたりの「お預け入れ」は紙幣・硬貨それぞれ100枚までで合計で100万円まで(回数制限なし)のお取り扱いとなります。
 4.「お振り替え」は、キャッシュカードから別の通帳へ現金を引き出さずにお預入れするサービスです。
 5.現金での「お振込」「ペイジーによる払い込み」は平日8:45~18:00に硬貨機能付のATMでのみご利用いただけます。
 6.平日の15時以降・土曜日・日曜日・祝日・振替休日の「お振込」は、「お振込予約(翌営業日扱い)」となりますので、ご了承ください。

通帳やキャッシュカードを紛失されたとき

- すぐにお取引店または親和銀行の本支店にお電話ください。(平日の時間外や土・日・祝日は右記にお電話ください。)
- 盗難の場合は、警察にもお届けください。
- 電話でのお届けは仮のお届けです。書面での正式の届け出が必要ですので、お早めに次のものをご持参のうえ、お近くの親和銀行の窓口にお申し出ください。
- お届け印 ●本人確認書類(運転免許証・パスポートなど。詳しくは窓口にお尋ねください。)
- 通帳やキャッシュカードの再発行には、1枚につき1,080円(消費税込)の再発行手数料が必要です。
- 通帳またはキャッシュカードを発見されたときは、発見された通帳またはカードとお届け印、および本人確認書類をご持参のうえ、お近くの親和銀行の窓口にお申し出ください。この届け出がないとご利用になれません。

喪失届受付センター

☎0120-66-5404

月/6:30~8:45 17:00~24:00
 火~金/0:00~8:45 17:00~24:00
 土/0:00~21:00

日・祝日/6:30~21:00

※上記時間内でも祝日の翌日の
 朝0:00~6:30は受付いたしておりません。

暗証番号をお忘れになったとき、暗証番号を変更されたいとき

- 暗証番号をお忘れになったときは、暗証番号の変更手続きを行ってください。(暗証番号のご照会はできません。)
- 暗証番号を変更されたいときは、次のものをご持参のうえ、お近くの親和銀行の窓口にお申し出ください。
- 通帳またはキャッシュカード ●お届け印 ●本人確認書類(運転免許証・パスポートなど。詳しくは窓口にお尋ねください。)
- 親和銀行のATMでも、キャッシュカードまたは通帳を使って暗証番号変更の手続きができます。

親和銀行ローンセンター

ローンセンターでは、豊富な業務知識と経験を持つ専門スタッフが住宅取得に関わる資金計画等のご相談にわかりやすくお応えします。また平日の時間延長や土曜日、日曜日の営業も行っています。

〔ローンセンター営業時間〕

平日および土曜日・日曜日 10:00～18:00

(定休日：祝日、正月3が日および5月3日～5日、12月31日)

佐世保ローンセンター

住所 佐世保市三浦町1-26 (FFG佐世保ビル3F)

TEL 0120-45-4862

FAX 0956-22-4837

長崎ローンセンター

住所 長崎市賑町6-6 (長崎営業部2F)

TEL 0120-74-4862

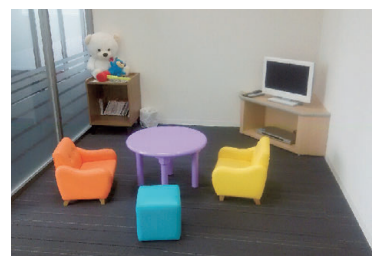
FAX 095-824-3355

県央ローンセンター

住所 大村市東三城町4-2 (大村支店2F)

TEL 0120-48-6279

FAX 0957-53-3153



ふくおかフィナンシャルグループ
Fukuoka Financial Group